



サイジャーナル

月刊
26-5・6
第415号

日本サイ科学会 平成 26 年 5 月 1 日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908-FAX 022 (274) 0097	中 部 〒503-0981 大垣市松町1290 山 田 哲 三 ☎ FAX 0584 (91) 1192	北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	関 西 〒659-0011 芦屋市六麓荘町 (事務局) 9-39 木 村 のり子 ☎ FAX 0797 (22) 6425	九 州 〒862-0976 熊本市九品寺 1-9-7 金 子 輝 夫
---	--	--	--	--

五月本部例会のお知らせ

般若心経とサイ科学

講師 岩根 和郎氏

今回の講演では、拙著「暗号は解読された 般若心経」(献文舎)を中心として、サイ科学との関係にまで言及します。拙著は「般若心経は暗号である」との立場から、深い瞑想により、現代用語によって読み解いたものです。

暗号であるが故に、決して情緒的には書かれて居らず、数学のよりに極めて論理的に緻密に書かれており、262文字に無駄な文字は一つも無く、まったく矛盾無く、見事な全体の整合性を保って読み解くことが出来ました。

解釈の要となる「空」は実体そのものであり、それが人間の精神性の本質と同一となります。さらに生命活動を営む環境としての「空相」が用意され、そこは時間空間を超越し、善悪を超越した絶対価値体系であり、諸行無常の存在の背後にあって、変化変容を超越した存在であることが分かります。

現象の世界は「非実在の世界」であり、空である「実在の世界」とは明確に分離されております。これにより「宇宙モデル」を示し、そこにサイ科学との接点を示したいと思えます。

※「般若心経」を暗号と考え、深く研究した画期的な書籍の内容を、詳しく解説していただく貴重な機会ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加願います。

●岩根和郎氏のプロフィール

昭和十八年(1943年)二月四日 宮城県仙台市生まれ。

大学では物理学を専攻。国立研究機関において、「視覚」「認識」という医学・工学のフロンティア領域の研究に従事。退官後は「人工知能」と「Web上のパラレル・ワールド」を実現すべく起業し現在に至る。科学者でありながら、古今東西の哲学、思想、宗教、歴史に精通するとともに精神宇宙を深く探求・解明された希有なる「文化家」。市井に身を置き企業経営者・家庭人として、徹底して「現実主義」を貫いている。

六月通常総会出欠葉書のご返送のお願い

※来る六月通常総会のための、賛助会員、維持会員、正会員に対する「出欠用」と欠席者のための「委任状」を兼ねたハガキが今回同封されており、必ず6月3日までに投函願います。(忘れないうちにお早めにお願致します。)

今月号の記事

- ◎五月本部例会のお知らせ
- ◎御寄付御礼
- ◎関西サイ科学会五月例会予告
- ◎関西サイ科学会六月例会予告
- ◎関西サイ科学会七月例会予告
- ◎第24回全国大会研究発表募集
- ◎六月通常総会・本部例会予告
- ◎七月本部例会のお知らせ
- ◎第22回宇宙生命研究分科会予告
- ◎平成25年4月本部例会報告
- ◎第三八四回関西サイ科学会報告
- ◎第三八五回関西サイ科学会報告
- ◎「オーブ」の撮影とその性質
- ◎霊姿現象について

天変地異」が予定されておりませんが、会員の皆様には積極的な発表ご参加を期待しております。

会員の研究発表では、テーマは天変地異に関してなくてもOKであり、これまでの研究での新しい発見、現在もしくは近いうちにデータ取りをしてまとめたいこと、偶発現象(UFO、心霊現象等)の目撃と原因の推測・解明、様々なサイ現象の仮説(理論)など「サイ」に関連することなら何でも結構ですので、ご自分の考えや研究成果をまとめて、発表して頂きたいと存じます。

研究発表の予稿集原稿は、後日今年度の論文集「サイ科学」にも掲載されます。

7月末までにタイトルと簡単な内容(200字くらい)をメール、またはFAX、ハガキでお送りいただき、一応審査させていただきます、通りましたら8月31日までに原稿ファイルをメール添付等で戴きたいと思えます。原稿の書式は後でお知らせ致します。

六月通常総会・本部例会予告

※午後一時半から30分の通常総会后、講演会があります。

六月本部例会のお知らせ

気超科学と宇宙生命哲学 新病気学

講師 秦 西平氏

秦西平師は天与の才能と超人的な努力で、少林寺気功を究めましたが、このことは、同時に座禅・瞑想を主軸とする禅宗も修したことを意味します。その他、老子の道教、周易、孔子の儒教を学び、中医(東洋医学)を研鑽し、現代科学も身に付けられました。気功の実践を通じて得られた現象・事実は、現代科学の範疇では説明不可能であることから、「超科学」を提唱し、目には見えない世界を科学的に説明する、「九次元宇宙模型」と陰性物質学」を編み出しました。また、内気功・外気功によって、人体・生命が調和を取り戻し、健康になることも、現代医学の範疇

では説明がつかないことから、中医学を踏まえながらも、それを超えた宇宙生命哲学ともいふべき「新病気学」を提唱されました。

師の理念の根本原則は、

『人の発する「気」の正体は、「意識」であると同時に、「物質」である。電磁波の様に「場」を持ち、「周波数」と「情報」を持った「人間の生命エネルギー」であり、「具体的内容」と「方向性」を持ち、特殊な「物理的効能」を持った、特殊な物質である」ということである。そして、『意識は6層の多層次構造をなしており、「人体」と「意識」と「宇宙」は「全息(ぜんそく)律(りつ)』(部分に全体の情報が含まれている関係)』に対応している』

※中国から日本に來られたトップクラスの気功師の講演会です。で、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加願います。

●秦西平氏プロフィール

1958年中国西安生まれ。千五百年前、禅宗の開祖、達磨大師が面壁9年の座禅を行した名刹、嵩山(すうざん)少林寺で、長

年の想像を絶する修行を継続し28日間の断食、「二〇〇日大閉関(だいひかん)」を達成。若干22歳で第34代最高師範となる。

少林寺武術(硬気功)の達人であり、自身を健康にする内気功はもちろん、他人の病を、直にまたは遠隔で治す(外気功)の達人でもある。中国国家主任中醫師、東洋医学博士でもあり、一方で、西安理工大学出身でもあり、省と市から4つの科学賞を授与され、熱処理学会の副会長を務めた。

1993年中国政府派遣の国費研究員として二度目の来日、東京大学工学部セラミックス研究室で研究。高級工程師資格(教授相当技師)。2000年世界初の気功麻醉による抜歯手術(寺川國秀歯学博士執刀)に成功。医学界・気功界の双方から注目される。全日本少林寺気功協会会長。西安体育大学客員教授。3回の世界気功養生中医学武道総合大会を主催。「少林寺気功理論」など6冊の本を出版する。

日時 平成26年6月8日(日)

午後1時半〜2時 通常総会
午後2時〜5時 講演

会場 北とびあ9階901会議室
交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

七月本部例会のお知らせ

※二月本部例会が大雪のため中止となりましたので、同じ講師・同じ内容で、七月に開催されます。

ラップ現象の究明

ラップとの関連性について

講師 小林 信正氏

(特異能力研究所代表)

日本サイ科学会理事)

何も存在しないと思われる空間から、物を叩く音が発生する現象をラップ音(rap音)と呼び、昔から霊魂が出現するときの音で

心霊現象の一つだといわれてきました。また海外ではポルターガイスト現象だという説もあります。しかし、未だにその音の発生原因は不明であり、正体は定かではありません。

ラップ音にはさまざまな種類があり、割り箸が折れるような音、ハンマーで物体を叩いているような音、ドアをノックする音、足音など多岐にわたっています。

日々、これらラップ音に怯えるさまざまな住人達の訴えにより、テレビ番組の制作を兼ねて、現場に特殊な撮影機器及び物理的測定機器を準備して調査、徹底観測、撮影を敢行しました。

想定される原因の仮説としてしては、①人工電磁波説、②ウォーターハンマー現象説、③建築建材工法説、④低周波による振動、共鳴説、⑤ポルターガイスト現象説、⑥オーブによる心霊現象説、等々。建築家や音響専門家たちに現場の立ち会いを依頼し、家屋の構造調査や建材等の音響実験、音源の分析等による検証を試行しました。さらに住人の心理状態の意識調査も行いました。

検証の結果、ラップ音の発生に

はオーブが介在して霊的な可能性が大であり、しかもオーブが何らかの意思をもっているように考えられます。

百聞は一見に如かず、ラップ現象が頻発しているいくつかの現場の実態をビデオで収録しましたので、その映像をご覧いただきながら、考察を加えたいと思います。また、土地には良し悪しがあり、住居には避けたい土地に関してもお話しできればと思います。

※長年東京キー局のチーフプロデューサーとして、心霊現象や能力者に関して科学的検証も含めた多くの番組を制作してこられた講師なので、興味深いお話が沢山紹介されると思います。会員の皆様はご友人・知人をお誘いしてご参加願います。

●小林信正氏のプロフィール

1938年2月、東京生まれ。東京写真大(現東京工芸大)卒業、慶応大で哲学、心理学を専攻。TV局勤務、チーフプロデューサー、部長として多数の番組制作に永年携わる。定年退職後、TV制作会社の代表取締役として多数の

放送番組やイベントなどを制作。大学や企業研修の講師なども務め、特異能力研究会を主宰して意識とサイの研究を行っています。新著に神社仏閣50選「ご利益さま」縁結び編。

日時 平成26年7月12日(土)
午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室
交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

第22回宇宙生命研究分科会予告

第8回 UFO・ORBシンポジウム

テーマ 第2コペルニクス革命

「地球人一人ぼっち説」から

「宇宙人てんこ盛り説」へ

コペルニクス革命は天動説から地動説への転換にあった!

現在進行形の第2コペルニクス革命とは「地球人一人ぼっち説」から「宇宙人てんこ盛り説」への転換である。ハッブル宇宙望遠鏡、ケプラー宇宙望遠鏡等の発見の数々はこの宇宙にはたくさんさんの銀河があり、たくさんさんの地球型惑星が存在することを示しているのだ。ゾルダノー・ブルーノの復権!? 最新のUFO・オーブ情報を紹介し、さあて、第2コペルニクス革命を論じましょうか!?

日時 平成26年7月21日(月)

10時~17時30分

会場 品川健康センター会議室

品川区北品川3・11・22

03・5782・8507

交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分

JR京浜東北線大井町駅東口から東急バス「渋谷駅」行で「新馬場駅前」下車

一般会費 一〇〇〇円

会員会費 五〇〇円(日本サイ

科学会・サトルエネルギー学会・太陽の会会員)

※会費(会員・非会員)が変更になりました! 宜しく願います。

(世話人 阿久津 淳)

平成25年4月本部例会報告

宇宙図書館(アカシックレコード)から見た世界の仕組みと私たち
—あなたは誰なのか—

講師 大野 百合子氏

今日は、「アカシックレコード」というものから見た私たち人間存在とは何か?」とか、「宇宙はどういう仕組みになっているのか?」とか、そんなお話を前半させていたから、後半は実際に皆さんで呼吸法をやった後、「ブック・オブ・ライフ」といまして、ご自身のアカシックレコード、すなわち過去世に行っていたかどうかについてお話をします。

私は20年前に初めてアメリカ人のゲリー・ポーター氏に会うまで、「アカシックレコード」の「ア

カ」も知りませんでした。私も最初は「アカシックレコード」について懐疑的でしたが、ゲリー・ポーター氏の講演会などの通訳をしながら、びっくりするようなことを体験して、信じるようになりました。個人セッションで参加者がいろいろ質問をしたときに、ゲリー・ポーター氏はその人の過去世や未来のことなど、本人は何も言っていないのに、ズバズバと明確に答えられるのです。



ゲリー・ポーター氏の情報の確かさと、彼の解答によって、相談者の人生が楽になるのを目の前で見ているように、アカシックレコードの存在について、次第に信じるように

なりました。

アカシックレコードとは何か? という質問に対して、今は説明しやすのですが、アカシックレコードはインターネットのようなものとも言えます。宇宙の図書館、情報の貯蔵庫みたいなもので、5次元、6次元あたりにあります、一種のクラウド、すなわち巨大なデータバンクだと思ってください。今はスマホでインターネットからあらゆる情報を得られますが、それと同じことを実は私たち人間の意識もやっています、皆さん一人一人がコンピュータの端末そのものです。そして、今日やった事、そのやった事に関してどんな感情、どんな思いをもったかについて、すべてアカシックレコードに記録され、必要とあれば自分の情報だけでなく、他の人の情報も読めます。

みなさんはアカシックレコードを読めていないと思うかもしれませんが、実は全員が読めておりません。ただそれは無意識に読んでるので気付きませんが、「アカシックレコードを読む」というのは、意識的に顕在意識であの人のこういう情報を得ようというって、アクセ

スして、そのクラウドのデータバンク、すなわちアカシックレコードから情報を得られるというのが「アカシック・リーディング」です。皆さんは夜見る夢の中でアカシックレコードを読んでいます。夢の中でもいろいろな種類がありますが、起承転結がはっきりしているのに時代が今ではない、という夢は、ほとんどの場合、過去世の記録を見たこととなります。

※ここで前世療法、退行療法の短い実験を実施しました。

「目をつむって鼻から息を吸って、口から息を出してください。」
 「そのときの思いは純粹な気を吸い込んで、そして体の中の疲れや緊張を吐きだします。」×3回。

「目の前にドアがあります。」
 「ドアの形状をしつかり見て、ドアを開けて部屋の中に入ります。」
 「ドアは手前に引きますか、向こうに押ししますか？」

「部屋の中に入ったら、中に椅子があると思ってください。」

「それはどんな椅子でしょう?」
 「次第に部屋の様子を感じ始めます。部屋の中にあると思う物を思

い描いてください。」

こんな感じで退行催眠をやりますが、部屋の中にあつた椅子が何か今回の人生で出会つたことのない方が大部分だと思えますが、それはご自身の過去世に入っているのです。と言うように私たちは簡単にアカシックレコードに出たり入ったりしています。

アカシックレコードには集合的無意識にあたる国民、部族から、個人の一人一人の魂と肉体の旅の出来事とそのときの反応まで全部記録されます。それとビッグバンの後の宇宙の歴史まで神秘的なアプローチではありますが、情報を得ることができません。

アカシックレコードから見た私たちはどういう存在なのか?

アカシックレコードによりますと、ビッグバンにより宇宙が生まれたとき、2種類の形態が生まれました。大元は1つであつて、そこから陰陽の2種類のエネルギーに分かれたとなっております。

大元のエネルギーは「エーテル

プラズマ物質」とか「非物質物質」英語で言いますと、「non-matter matter」と呼ばれるエネルギーで、すべてができていて、というのがアカシックレコードの情報です。

物理学の「超ひも理論」の超ひもにあたるものが「エーテルプラズマ物質」であつて、それは物質ではなくて、質量もない大元のエネルギーになります。「ダークマター」「ダークエネルギー」にもあたるもので、「エーテルプラズマ物質」は大きさが様々あつて、その一つの単位は太陽系くらいの巨大なレベルのものもありますし、素粒子レベルの微小なものもあります。

ビッグバンで生まれた2つの物質のうちの1つは魂のエネルギー、一つは進化する物質のエネルギーになったのですが、中国の太極図によりますと、魂のほうは陽のエネルギー、進化する物質のほうは陰のエネルギーとなります。



魂の方は永遠不滅で一貫しています。皆さんお一人お一人の中にその魂のエネルギーが宿つている、それを宗教的に言いますと、神道

でいう分け御魂、仏教でいうところの仏性、キリスト教ではキリスト意識と呼ばれています。

もう一つの進化する物質のエネルギーは、手を摩擦して気を感じる状態にして、例えばホワイトボードに近づけるとホワイトボードの手前で抵抗を感じる場所があり、それがエーテル体のエネルギーであつて、それも進化する物質のエネルギーに入ります。

アカシックレコードでは、魂のほうを「トライアード」、進化する物質のほうを「ダイアード」とゲリー・ポーネル氏が名付けました。「トライ」は3を意味し、「意識」と「エネルギー」と「聖なる衝動 (divine urge)」でできているのが魂のエネルギー、「ダイ」は2を意味し、「身体 (物質)」と「進化し種を保存するエネルギー」でできているのが進化する物質のエネルギーとなります。

アカシックレコードでは、人間というのには魂のエネルギーが地球にやってきて、進化する肉体に宿つた存在だと理解します。「聖なる衝動」とは、一種のカーナビシステムのようなもので、「自宅に帰

る」と設定すると車は自宅に帰るようにガイドされますが、それと同様に魂は源を知っていて、自分が一番先に生まれた大元を知っていて、そこに必ず戻るので。どんな酷いことをした人間でさえも内側には永遠不滅の魂が宿り、その魂はかつての源に戻ることを知っているのです。

アカシックレコードによりまずと、私たち人類はどこから来たかと申しますと、宇宙から似たもの同士がソウルグループとして地球にやってきて、地球体験を観察するために地球に入ります。始めは12個の魂が地球の周りにネットワークを造ります。(写真の手に持っているモデル↓開くと大きな球体モデルとなる。)一人一人は12個のゲートウェイの内の好きなゲートから入ります。

地球の中に入り肉体に宿った後あまりにも地球体験が魅力的だと元に戻れなくなるので、地球に入るときに似た魂同士が男性性、女性性のペアを造ります(ツイソウル)。魂は元々男性性、女性性はないので、役割として、男性性、女性性ができます。

話は変わりますが、2012年の冬至から集合意識が変わっていくとアカシックレコードには書かれています。集合意識がこの時期から分離から統合に、二元から一元に変わって行きます。皆さんはそういう大事な時代に生きておられますので、肉体を大事にしてください。

アカシックレコードでは、「魂の意識は同時存在時間を生きる。」と説明します。ここが難しいところなのですが、同時存在時間というのは、過去から未来への直線時間にはなっていないということです。それは全地球の全転生が(写真の)モデルのようなもので、例えばある人が地球上で8回の転生をする人があります。魂の成長のためそれぞれの人生で避けられない出来事も設定します。またそれぞれが似た人生ではなく、いろいろな人生を設定します。

アカシックレコードで人間の構造を説明しますと、我々人間は、永遠不滅の魂のエネルギー「トライアード」(象徴は逆三角形)が、地球生まれの肉体のエネルギー「ダ

イアード」(象徴は三角形)とドッキングして(象徴として、2つの三角形が上下の位置で一部重なる)、成立していきます。それぞれが輪廻転生していきます。地球上で進化した肉体(「ダイアード」も動物の段階から人間まで進化していく段階で、大いなる智慧をもっています)。

肉体は同じ血族の中で生まれ変わります。例えば私の肉体は母方の祖母の生まれ変わりで、魂の方の直前の生は、ボストン辺りに住んでいたアメリカ人です。だから面白いのは、今生で私はボストンの近郊に留学しております。だからすべての事象はこのモデルのようにつながっております。魂は魂で生まれ変わり、肉体の方はご先祖様の系列で生まれ変わるのが、アカシックレコードからみた人間存在です。そのように私たちの存在は転生も複雑に絡み合った広大な情報の塊です。ですからお一人お一人が宇宙である、という言い方をします。

輪廻転生は様々な形態があるので、3つの魂が合体して一人の人間に入る場合もありますし、

一つの魂が分魂となって同時代に別々の人間に生まれ変わる場合もあります。特に集合的な魂は、何か集合意識に大きな事を起こすような影響力のある方のケースが多いうです。

本当に面白いのですが、宇宙はすべてフラクタル、すなわち相似形の構造になっており、宇宙が陽のエネルギーと陰のエネルギーで出来ているように、人間も陽のエネルギーと陰のエネルギーが一つになって出来ています。父性と母性も陽のエネルギーと陰のエネルギーの象徴となります。

人間は生後7年間は保護してもらわれないと生きていけないので、肉体意識(「ダイアード」が優位に立ちます。その結果、親にどうしたら受け入れてもらえるかが生き残りの最大のポイントとなるので、自分の気持ちはこうだけど、親の言うことを仕方がなく聞く、親の期待に応えようとすると、世間を受け入れてもらえるよう社会意識が生まれます。人間は本当は広大な創造主と同じ宇宙の魂なのだけれども、最初は肉体意識が主導

権を握ってしまおうのです。

例えば自分の意見をぱつと言っ
てしまつて、父親からすごく怒ら
れた子供は、自分の本当に思った
ことを言つてはいけないんだ、と
いうことで黙つてしまつてという戦
略を作つたとしたら、その戦略を
顕在意識にしっかりと浮かび上がら
せない限りは、ずっとそのパター
ンにはまつたまま、六十歳になつ
ても七十歳になつても自分の意見
を人に言つたら生き残れないとい
う思いで生きることになります。
そうなるとなかなか陰と陽が統合
した形になりません。

陰と陽が統合された状態という
のは、「トライアード」の逆三角形
と「ダイアード」の三角形の中心
が一致した六芒星が形成されます。

他の例としては、画家になりた
いと思つても、親から画家なんか
では食べていけないから止めなさい
と言われて、渋々画家を諦めた
人間は、自分のハートの想いがブ
ロックされて、魂と肉体の重なつ
た部分に壁をつくつてしまい、天
からのエネルギーが大地に降りて
こないのです。これが私たちほと
んどの人間の生き方です。

これからは生後7年間で形成さ
れたどうしたら生き残れるかとい
うパターンで生きるのではなく、
自分がどう自分を表現していき
たいのか、自分が一番大切にしてい
るものは何かということに大事に
しながら生きていく時代が、20
12年の冬至以降に始まりまし
た。ですからアカシックレコードに
よりますと今までは二元の世界、
陰と陽、肉体と魂がバラバラでそ
れぞれがそれぞれを体験するとい
う時代から、いよいよ陰と陽が統
合していくというユニティの時代
に、2013年以降入つてきまし
た。

現代は内側と外側がどんどん融
合していつていきますね。だから、
企業もどんどん統合していつてい
ますし、インターネットの発達に
より情報統制が効かなくなつてい
ますし、私たちの潜在意識(肉体
意識)と顕在意識(魂の意識)が乖
離していたものが、潜在意識が我
慢でできなくなつて爆発して、顕在
意識と統合して二元の世界が一元
の世界になっていきます。

これから皆さんはいつでもアカ
シックレコードという大きなクラ
ウドとつながっているコンピュー

タの端末であることが分かるよう
になってきますし、そうすると思
つていことが現実化することが
早くなります。

家族や周囲の人間との確執もそ
ういうことを自覚することにより、
自分が寛容になることで、人生の
テーマをクリアにしていき意識が
拡大して、陰と陽が統合されてい
く方向になるでしょう。

※後半は講師の指導のもと、参加
者全員でアカシックレコードへの
誘導瞑想を実践しました。

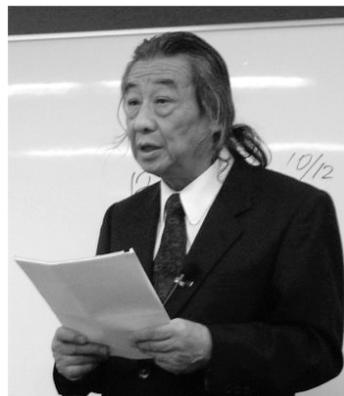
今回から本部例会講演のハイビ
ジョンレベルの録面をUSBメモ
リーで頒布しておりますので、す
べて視聴したい方は御注文願いま
す。詳細は前号の「サイジヤーナ
ル」か公式サイトを参照願います。

第三百八十四回関西日本 サイ科学会研究集会報告

出口王仁三郎の黄金鏡

講師 櫻井 喜美夫氏

とき 平成26年1月18日
ところ 大阪科学技術センター



櫻井氏は1947年愛知県生まれ。発明光房代表。霊能師・シリ
ウスチャネラー・発明家。出口王
仁三郎聖師の霊統を引き継いだ霊
能師として、全国で成仏や場を清
める儀式を始める。30代からは大
本裏神業の追体験を始め、同時に
電磁波や不成仏霊などの波動から
身を守り、正常な波動に整える製
品の開発に力を入れ、オリジナル
のエネルギーグッズを開発。なか
でも鉱石キミオライトは強力なテ
ラヘルツ波を発する。著書『出口
王仁三郎の遺言』『出口王仁三郎
の大復活』(いずれも太陽出版)。
櫻井氏は大病の中で宇宙の根源
(COU)と繋がることのできた。

そうなるかと現界で生きていくうえで多くの幸せにめぐりあえる。日本人は(COU)と繋がりがやすい。今回の著書「出口王仁三郎の黄金鏡」では宇宙の根源(COU)と繋がる方法に迫る。

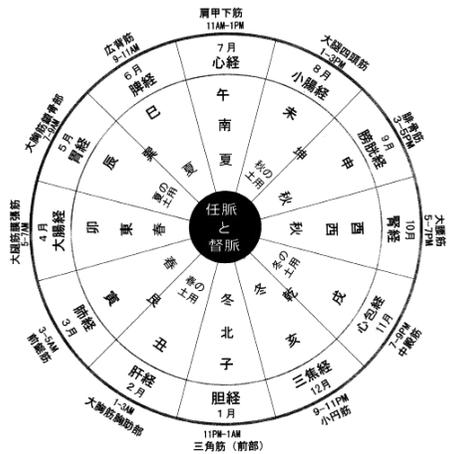
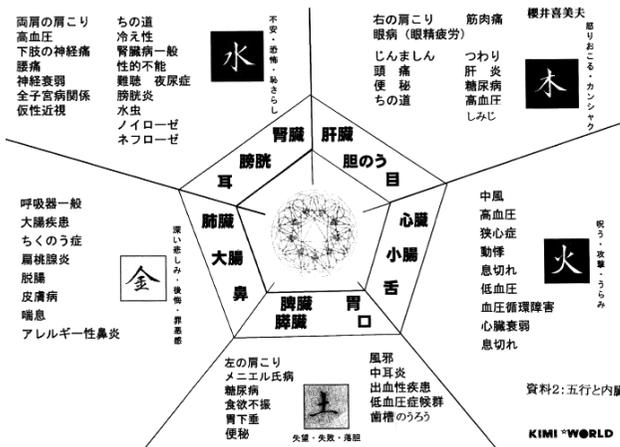
60兆の細胞が喜ぶ魂の生き方

7つの幸福、「有難う」はメッセージです。

1. 頭—頭脳・記憶・顕在意識
2. 心—善悪の判断・潜在意識
3. 魂—霊性・靈魂・深層意識
4. 体—五体・全細胞
5. 家—家族・血統・先祖
6. 財—お金・財力
7. 友—周囲の人々(学校、社会)

・私達はどの様に魂を磨いて7つの幸福に近づく事が出来るか？
 ・日本の神様の原点は、神様の出生の時期は？
 ・先人が想像した神々と私の見たC・O・U(セクターオブユニバース)
 ・すぐに現実化できる奇跡の祈り、シューマン波共鳴とは？

資料1 14経絡の時計図
 資料2 五行と内臓



資料2: 五行と内臓
 KIMI WORLD

私達は先祖から幸福、不幸の遺伝子を連綿と受け継いでいる。

死亡すると魂は何処へ帰るのでしようか？

死亡後、魂がさ迷うと浮遊霊や地縛霊となる。

赤血球のヘモグロビンが先祖の記憶を持っているだろうか？

幸福になる人、不幸になる人は何が違うのだろうか？

手っ取り早く 幸福になる為の方法はあるのだろうか？

川上清ければ、川下清し。

陰陽五行は7つの星から受けているエネルギー

(7光線の虹、7つのチャクラ、7つのボディオーラ、地球のオーラ、7つの音階、七曜日、七草粥、秋の七草)

テラヘルツは生命光線です。生命光線と呼ばれているテラヘルツ光線は、全ての生物、鉱物すなわち原子を持つ物質から放出されています。自然界の物が放射、吸収している波長、分子から発する振動の根幹をなすもので、生命エネルギーと呼ばれるています。生物界においては、新鮮で健康

であるものほどテラヘルツ波を多く放出していて、不健康な人や老人では反対になっています。

自然界のテラヘルツ光線が出ている鉱石を身近に置くと、怪我や傷が早く治る実例が多く報告されています。テラヘルツ光線を当てると細胞の分子構造が整えられ、健康も向上しアンチエイジングに良いと言われています。

テラヘルツ光線を有効に使うと30%若返ると言う報告が業界紙の記事にありました。

自然界のあらゆるものから大なり小なり放出しているテラヘルツ光線は「光と電波の中間域」で、月の光である為いくら浴びても人体に対して害がありません。

星や月から放出される波長域は、テラヘルツ光線と言われ特にテラ波動の強い時期は新月です。人体の内臓は全て月光の影響を受けている為、肝臓、腎臓、脾臓、大腸、膀胱、胃、肺、骨、等の文字は月偏が付きます。

分子と分子を繋ぐことで、新たな物質や生命を作りだせる可能性があり、地球上での生命の進化や誕生に関連して、その波長が生命誕生に関わったという科学者がい

ます。

不安なく安心して成仏できる魂は生まれて来た故郷に速やかに帰る事が出来ます。帰れない地縛霊・浮遊霊は成仏する為に供養や慰霊祭、お祭りが必要です。プラズマの魂はテラヘルツの月光や星の光に同調して宇宙故郷へ還ります。

出口王仁三郎の黄金鏡より

私には全てを可能にする力が有ります。私の夢は叶えられます。願望は必ず達成できます。

私にはそれだけの底力とミラクルパワーが有ります。今、私の偉大な内なる自分の力に気付きました。偉大なる光の力は六十兆の全細胞に備わっています。

チルチルミチルの青い鳥は世界中探しても見つかりません。青い鳥は自分の内なる光の力の中に住んでいます。

自分の目標を具体的に設定し、目標達成のプログラムを作り毎日行動する事です。

私の目標や願望は必ず達成できます。奇跡はすぐそこまでやって来ています。

☆

☆

大事なことは宇宙の根源(COU)に繋がることであり、その底力は自分の細胞の中にあるということである。

当日の参加者は会員19名、非会員37名、学生2名、合計58名であった。今回のカセットテープは2000円(送料込み)です。事務局(0797・22・6425)までご連絡下さい。

(関西日本サイ科学会会長

河野明夫)



第三百八十五回関西日本サイ科学会研究集会報告

巨地上絵発見でわかった世界文明の『起源は日本』だった!

講師 上森 三郎氏

とき 平成26年2月15日
ところ 大阪科学技術センター

上森三郎氏は1954年、熊本

県芦北郡芦北町生まれ。建築業界歴30年で一級建築士。シックハウス(化学物質過敏症)の研究から、水の活性化こそが重要であること突き止め、流体の活性化装置『ネオガイア』『テラファイト』を開発し、日本、アメリカ特許取得。多数特許取得するなど発明家でもある。



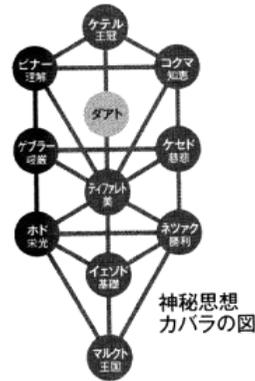
現在は身体そのものに関心を寄せているが、隠された日本と世界の真実を解明すべく、神社仏閣を参拝しながら、兵庫県植丘の里の山々を中心に探索中。『かごめかごめを研究する会』会長。

上森氏は3年ほど前、『テラファイト』という、レアアースや特殊な貴金属などを使った脳波をリラックス時に生じるα波に誘導できる装置を声なき声の指示で作らされたという。それ以来、何者かに操られているような、ワクワクするような、自分が自分でないような不思議な出会いやメッセージが聞こえる経験をするようになった。この装置についての科学的立証を、元九州大学の高尾征治工学博士にして頂いた。

メッセージの相手はこの大宇宙を司っている神・創造主から受けている感じがするという。その神は一生懸命出会いを作ってくれ重要なポイントを指示し、関西から九州の方まで地図上に図形を描かされ、行き先の場所を具体的に示される。

上森氏が描かされた100枚を超える正三角形、二等辺三角形のほか十字架やダビデのマーク、そしてイスラエルの伝統の神秘思想のカバラ(生命の樹)「資料1カバラの図」の図形上に、神社仏閣や山岳信仰として著名な山々の位置が符合する。古代に衛星写真による地図を持っていたかのような正

確さで、これらの所在がピタリ一致してくるのだ。



しかも、この兵庫県を生野町、神戸町を中心に三重県伊勢地方から近畿、中国、四国、九州まで西日本一帯の広大な規模のカバラの巨大図形が浮かび上がった。

こうしたピタゴラスの定理を知り、カバラの秘法を知り尽くしていた民は誰なのか。この三角法で国造りをした民は誰なのか。

一本目の十字架の交点にあたる兵庫県山南町の山頂をGoogleマップで調べたら山が人の顔に造形されておりそれが古代エジプトの女神である『ハトホル』であることがわかった。

次に描かされたのはこのカゴメ紋の中の黄金比の十字架だった。その次が直角二等辺三角形だった。

兵庫県にきれいな十字架が現れた。十字架の交点は、高砂市の群の巨石とされる生石神社の『石の宝殿』である。この十字架の交点があった石の宝殿は平安京のカバラ(生命の樹)の王冠にあたり、巨石の向いている方向はきつちり奈良の神武天皇を祀る橿原神宮を指し、そしてまったく反対側に鳥根県の出雲大社がある。

さらに今でも女人禁制の大峰山山上ヶ岳の大峰山寺、論鶴羽山、善通寺を通って貴峰山を底辺とする直角二等辺三角形も描け、この45度の頂点が生野である。生野から生石神社を通って論鶴羽山、そして徳島の伊島までが縦のラインである。

六甲山の石の宝殿から高砂市の石の宝殿を通って、赤穂市天王山への線が横ラインで、縦と横のラインの比率は黄金比である。

女神ハトホルの巨大地上絵を発見してからは、兵庫県の多可郡多可町から小山を利用した魚の造形、兵庫県朝来市からは全長5mほどの鶴と亀、おなじく兵庫県生野町から龍をかたどった巨大地上絵が見つかった。

これらの巨大地上絵は当初描か

された一本目の十字架のライン上に次々見つかった。いずれもGoogleマップから発見できたものだ。むろんのこと、この巨大地上絵は上空からでしか判別できないのだ。いったい誰が何の目的で作ったのか。

このカゴメの唄を解読すると、籠の中のとりは、鳥の『と』と、籠の『り』で、鳥は鶴である。後ろの正面の向こうには龍が作られている。場所は段ヶ峰の山頂である。

段ヶ峰はダン族のミウネ(お墓)ですね。ダン族はイスラエルの失われた一〇支族と言われ、蛇がシンボルで、『ダン族が王を守護するという決意』を表しているのです。それでダンガミネ……段ヶ峰ですね。

ちなみに千ヶ峰はヘブライ語で、トセー ガド ウイツシュ ミウネで、『殉教者を持ち帰り祀ったガド族のミウネ(お墓)』の意味となるのです。

鶴と亀や、女神ハトホルなどの巨大地上絵の場所を、地図上のベシチマークポイントからキツチリと教えてくれている。

まずは伊勢の青峰山から千ヶ峰トライアングル(千ヶ峰、玉置山、

剣山の正三角形)の千ヶ峰と、その先の段ヶ峰まで線を引く。

次に、奈良県の大峯山山上ヶ岳から淡路三山の最高峰、論鶴羽山へ線を引き、そこから直角に北へ直角二等辺三角形の地点が鶴と亀の巨大地上絵がある生野町となる。

また、大峯山山上ヶ岳から淡路三山で2番目に高い、柏原山へ線を引き、そこから直角に北へ直角二等辺三角形の地点が女神ハトホルの場所、丹波市山南町五ヶ野となる。

さらに、大峯山山上ヶ岳から淡路三山で3番目に高い、先山へ線を引き、そこから北へ線を上げるのと、ハトホルの場所へ行き着く。

再度、大峯山山上ヶ岳から高砂沖の上島(神島)へ線を引き、直角に北へ線を引いて、天橋立にある籠神社まで延ばすと……十字架ができる。十字架の交点に女神ハトホルが見つかる。すべて、大峯山山上ヶ岳から設計されていることがわかる。

そして、伊勢神宮の近隣の青峰山から上島へ線を引き、直角に北へ引くと、生野町へピタリと行き着く。どうして伊勢神宮を現在の場所に決めたのかキツチリと教え

てくれている。

実は、この上島は大正時代、大本教の教祖となった、出口王仁三郎が重要な地点として神事を行った場所だったことがわかった。この上島にも何かあるのかもしれない。

この巨大地上絵の大きさは、2kmから5kmにわたる山を利用し、造形されたものだ。

2011年1月生野町にある鶴と亀がキスしている巨大地上絵がある地点を特定し、穴掘りを開始した。それから数日後、なんと、鶴と亀、いや見る場所によって鶴にも見える、亀にも見える二畳ほどの大きさの不思議な岩の造形が見つかった。岩から突き出た部分が亀の顔になっている。しかも、乾燥しても亀がいつも涙を流しているように作られているのだ。

啓示を受け、魏志倭人伝の記述をベースに邪馬壹国の境界国をネットで調べ、その境界線をなぞったところ、邪馬壹国とは但馬、丹後、丹波、摂津、大和にまたがった国土であることがわかった。

そして、その邪馬壹国の行財政を司る主都は大和の纏向であったが女王卑弥呼がいたところは、『播

磨国風土記』に書き記された埴岡の里、現在の兵庫県神埼郡神河町と朝来市生野町にまたがるエリアであった。



その邪馬壹国の聖地へのルートは、現在の釜山あたりから船で対馬へ、それから壱岐を通って西の鎮の地、鎮西に福の神様を呼び込んで(呼子)、そこから陸路で福吉(前原)、そして福岡、福津(津屋崎)へと宝物を運んでいった。

卑弥呼は埴岡の里を中心に近畿、四国、山陰、山陽を支配していた豪族らに担がれ、邪馬壹国の女王となったことを上森は明らかにした。

邪馬壹国の女王卑弥呼がいた場所は埴岡の里であり、永遠の眠りについている場所もまた埴岡の里である。神埼郡神河町、こここそが倭国のまほろばなのである。

出雲と卑弥呼と伊勢神宮の関係、

そして邪馬壹の真相を、天照主大神様がきつちりと教えているようです。もう天皇家も含めて、このわが国の本当の歴史を、国民に、そして全世界に知らしめなくてはなりません。太古の昔、我が国の天皇が世界のスメラミコト(天皇)だった時代が存在したことを。今後、東経134度に位置する兵庫県の神埼郡神河町や隣接する朝来市生野町にまたがる埴岡の里が世界の聖地となるのです。

☆ ☆

『邪馬壹国』、『邪馬臺国』、『邪馬台国』について

『魏志倭人伝』は三世紀末に西晋の陳壽に書かれ、それには「邪馬壹国」と表記されている。「資料2 魏志倭人伝」このあと五世紀に南北朝時代の南朝宋の時代で編者范曄(はんよう)により書かれた「後漢書」には「邪馬臺国」とある。『邪馬台国』の通称は、「邪馬臺国」の「臺」の字を、「台」をもって代用したものである。現在「邪馬台国」は一般に「やまたいこく」と読まれる。この「やまたいこく」という読みみであるが、これは二種の異なる

「オーブ」の撮影とその性質

佐々木 茂美

1. 「オーブ」の撮影

半導体 (CCD) 内蔵のデジタル・カメラを用いて、電離していると考えられる空間にむけてフラッシュ撮影する。すると乳白色小円状のオーブ (たまゆら) が、ノイズとして写り込んでくる。条件さえ選べば、誰にでも写す事が出来る。

(1-1) 物質的な条件

宇宙線や地表面上の放射線などの影響により、空気構成成分の若干が電離して大気陰イオン、大気陽イオン、電子になっている。さらに、これらが空気中のエアゾール (微細粒子) 等と結合して、大気陰陽イオン・ボールが形成されている。朝方並びに夕方の薄暗く、湿度の高い (陽イオンがある) 空間、並びに人々が集まるエネルギーの高い場所 (祝い事、お祭り、パワースポット等) で写り易い。近赤外線領域 (780nm ~ 1.5 μ m) が写せるデジタル・カメラを用いて、フラッシュ撮影 (1/1000sec) するとよい。写らない場合には、繰り返して撮影するとよい。

(1-2) 意識的な条件

お願いすると写る場合がある。また、オーブは意識と情報交換していると判断出来る場合がある。雑念を捨てて (無心で)、集中して (熱心に) シャッターを押す。予め瞑想法等を試行して、より低周波の脳波 (EEG) が出せるようになった人ほどオーブが写り易い、と判断している。つまり実験系に意識 (ASC、無意識) 加入しているといえる。しかし、どうしても写らない場合もありうる。以上の実験結果の結論として、

(1) オーブの出現は、マクロPK (マクロ念力) 現象である。多くの実験結果から、

(2) 意識と体外にあるオーブ (物質) との間を仲介するのは、サイ (気) {素粒子群} である、と判断できる。さらに、

(3) オーブ出現には、未知の存在 (SG) の助けが必要である、と考えている。

(1-3) 実験結果

一例を写真1~4に示す。写真1~2はオーブの核の生成以前の場合で、オーブ内部に模様が無い場合 (省略)。写真3~4は核成長 (カオス) 以後で、内部に模様 (表情) がある場合 (省略)。

2. オーブの性質

オーブはマクロPKなので、オーブの出現には、撮影者の意識 (ASC、無意識) が関係している。意識とは「気づく」とか「相手に注意を向ける」等を意味しており、時間的、空間的に非局所的である。実は、この意識の母胎には無意識があり、無意識の根底には、さらに個人の心身の作用を超えた集合的、先天的、元型的な層がある (ユング) という。実験から判断すると、マクロPKに関与するのは、変性意識状態 (ASC) や無意識 (集合的、元型的) であり、意識的な努力は、むしろ、出現阻止に作用する傾向がある。

別報で述べたが、オーブの核は、エネルギー一定条件で形成されている。マクロPKの場合に意識と物質の間を仲介するのは「サイ (気) {素粒子群}」である。他方、素粒子は量子力学で記述されており、波動性と粒子性の2面性を併せもっている。つまり、素粒子 (光) は波であると同時に粒子でもある。さらに量子力学の基本には、位置とその運動量は近似的にしか知り得ない、という不確定性原理 (1924、ハイゼンベルグ) がある。

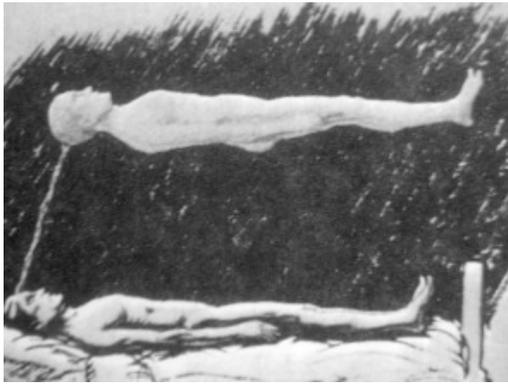


図3 魂の緒

人が亡くなる時に頭頂部から煙のような霧状のモノ(魂の緒)が抜ける“魂断ち”という現象が起きる。魂の緒は命そのもので、この緒が切れると死に至るといわれている。いわば人間の生と死を分けるものが魂の緒でシルバーコードとも呼ばれているものである。

私ごとだが、母親の臨終の際に、娘が母の頭から霧状のモノが抜けるのを見たという場面が印象に深い。この種の霧状のモノもオーブと関連があるように考える。

東日本大災害で壊滅した街や海辺では、時々多数浮遊するオーブが写真に写ることがある。これらのオーブは突然の津波にのみこまれて亡くなった人たちの霊魂だと思われる。



写真6 霧状オーブ

現時点(2014-1/10)での震災による死者・行方不明者は18,524人、さらに震災後関連死した人は2,973人に上り、福島で直接死した人の数を上回るようになった。



写真7 被災地のオーブ

これらの方々の霊魂は早く真の救いと苦しみからの解放を望んでいることだろう。

各地の被災地では慰霊碑が建てられ、故人を鎮魂する行事が行われているが、御魂の成仏安穩を願い、遺された人たちにも一日でも早い心安らかな日々が訪れるよう望まれる。



写真8 被災地での鎮魂と上空のオーブ

犠牲となられた方々の御霊の安らかなるご冥福を心からお祈り申し上げます。(終)

*参考文献

- (A)「脳と心」小野瀬健人 かんき出版
 (B)「脳と心」“無意識と創造性”NHK



写真3 大脳活動の測定

(実験方法)

被験者には写真を見せ、大脳皮質のどの部位に反応が起きるかを測定する。実験に使用する写真は5枚で全て風景写真のように見えるが、その中の1枚に殺人事件の現場跡の今では単なる風景に見える写真を混ぜてある。被験者には1枚ごと写真を見せ、その大脳の血流の働きから、特に後頭葉の視覚野のイメージの動性を測定した。

(実験の結果)

一般の被験者は、特にイメージ反応はさほどの変化を生じないが、霊視能力者では問題の写真を見るなり、後頭葉の視覚野にイメージの顕著な反応があった。やはり能力者には、写真から何らかの情報を得て、連続的にイメージ映像が脳に浮かび、視覚として視えていることが判明した。

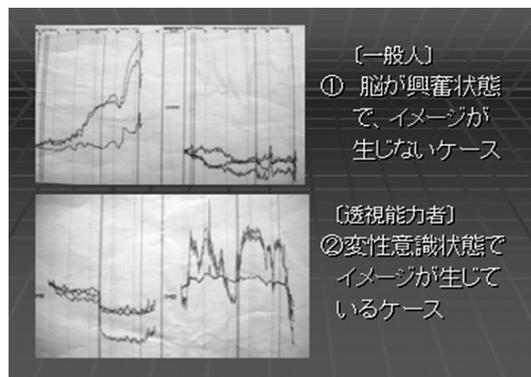


写真4 一般者と能力者とのイメージ測定

優れた霊視能力者の霊視は、五感を越えた外界や内界から意識体(霊)を通して、何らかの情報やメッセージを感受して、イメージ(知覚心像ともいう)に想起が起こり、視覚化されるものとする。時空を超えてイメージによる視覚化から、過去、現在、ときには未来(予知)まで視えることが可能なのかも知れない。

V 霊姿現象とオーブについて

私論だが、オーブは霊体、幽体だと考える。オーブの形状は主に球状のものが多く、球状のオーブが写った場所で、時には瞬時に霧状のモノがしばしば写真に写ることがある。

球状のオーブと霧状のものとは、同じオーブだと考えられる。なぜなら、オーブは通常、人の目では見えないが、フラッシュを照射した写真には、霧状のものと同じ空間に球状のオーブが混交して写ることがあるからである。

私は(財)日本心霊科学協会内で「鏡視」という実験室を設け、愛しい故人との再会を希望する人たちが、他界した懐かしい人と会えることが出来るのか、という実験を行った。方法は6畳ほどの薄暗い部屋(15W)に大きな鏡を設け、その鏡をジーっと見つめていると鏡にその故人が現れるというものである。約30名ほど実験を試みたが、その内の約半数の人が、煙のような霧状のモノとか、球体のもの、時には光を視たとの証言もある。中には亡き母親と再会でき、言葉を交わして涙ぐんだ人さえいた。その様子は暗視ビデオで撮影した。オーブや霧状、光なども写真に撮れた。やはりオーブは意識体という印象を持つ。



写真5 鏡視とオーブ

一方、「亡き人に一日会いたい」という強い人の想念が霊の念の波動と同調した時、霊姿を目撃するケースがある。また優しい人柄や慈悲深い人なども霊に感じ易いとか。霊姿を見たり、声を聞いたりすることがあるようだが、霊に頼られ易い。何時までもあまり悲しみの想いを持ち続けていると、霊は現世に未練を残し幽界に残留して、先の霊界に進めないこともあるので、亡き人たちへの追慕の念もほどほどが大事だと言われている。

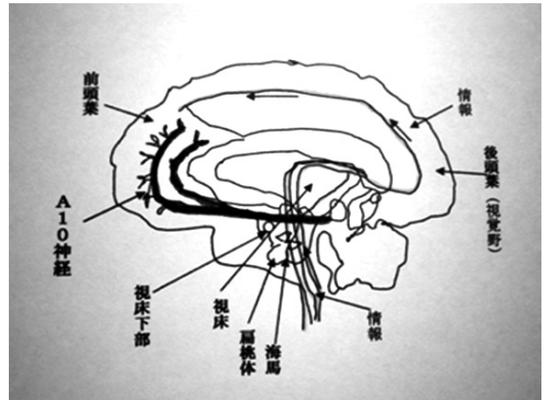


図2 脳内のA10神経

Ⅲ 霊視のメカニズム

(通常の視覚情報伝達のシステム)

人が外界のものを目で見た情報は水晶体というレンズを通して網膜に映し出される。ここには視細胞があり、その情報は電気信号に変えられ視神経を通して、右視野の信号は左半球に、左視野の信号は右半球の脳に送られる。次に視床というところで情報は整理され大脳皮質の視覚野へと入り、色、形、明度などの情報を分析してモノを認識している。(A)

(霊視能力者の視覚システム)

スピリチュアル研究の立場でいえば、霊姿現象は脳内の錯覚や幻視ばかりではなく、外界の情報(霊=意識)を超感覚的知覚(ESP)あるいは霊的能力によって脳内で視覚化されると考える。

霊視能力者は肉眼でも閉眼でも霊視できるというが、多くは外界の情報を両眉の間の“第三の眼”(チャクラ)でキャッチされるようだ。その情報は電気信号に変えられ光波、磁力を感知する松果体という器官(透視能力の関連器官?)に入り、情報の関所といわれる視床に送られ、脳神経の回路(A=10神経)を通過して伝達物質であるドーパミンを放出する。そして連合記憶領域から後頭葉の視覚野に送られ電気信号に変えられた情報があたかもバーチャル・リアリティ(仮想擬似映像)のように次々イメージ像として想起される。松果体は思春期以降に退化するが、人により退化せず直観、予知、透視能力が授かる人もいる。

最近の脳内機器の急速な進歩により、今までブラックボックスだった脳の働きにも光が当てられるようになった。特に特異能力で注目するのは、古い皮質から延びている快感中枢にある「A10神経」である。

「A10神経」はドーパミンの流れを制御する働きがあり、薬物や過度の脳内刺激を受け制御が外れると、「A10神経」からドーパミンが多量に放出され常軌を逸した行動をとるようになる。

極度の苦痛や生死をさ迷った体験者とか、重篤の病気や災害や事故で意識を失い臨死体験をした人などは、その際に脳内の制御がはずれ苦痛を和らげるために「A10神経」から自動的に大量のドーパミンという脳内麻薬物質が放出され、それが一種の刺激剤となり、深い意識から特異能力が授けられるとの説もある。(B)

Ⅳ 大脳皮質の活動について

内外の霊視能力者、瞑想者、霊媒者や一般者等の大脳活動について、病院の脳神経外科の協力を得て「光トポグラフィー」測定機を使用し、1年余(23回)実験測定を行った。「光トポグラフィー」は、視覚、運動などの神経を司る大脳皮質の活動を頭皮の外から赤外線を照射し、血流のヘモグロビンによる神経活動をリアルタイムで計測、コンピュータと連動した測定機器である。

(3) 磁力による幻覚説

鉱物には岩石磁力 (rock magnetism) という、主に残留磁気を含む岩石があるという。

火山が噴火して地上で固まった溶岩や海底に沈殿した土砂の中には磁気を帯びた粒子があり、磁鉄鉱を含む花崗岩などもその類である。これらの岩石から発生する磁力の乱れが、人間の脳の神経回路を流れるイオンの微弱な電流に作用して、思考に乱れを生じさせ幻覚を引き起こすという説である。だが、この説も被災地の浜辺では、人に幻覚を及ぼすほど強い磁力の影響があるとは思えない。海岸の補修作業をしている人たちは、いつも幻覚を引き起こさねばならない理屈になるだろう。

(4) 電圧効果幻覚説

カナダのローレンシア大学のマイケル・パーシガー博士の実験によると、脳に電気刺激を与えると、右脳左脳の役割分担が崩れ、体外離脱や神秘体験、幻覚などが起きるといふ説がある。

あるテレビ番組では、幽霊の目撃者が多いという兵庫県の六甲山で実地実験を行った。その結果、地下深くに密集する断層の「圧電効果」による地磁気の乱れから、脳の側頭葉の神経細胞に異常な電圧が生じて、幻覚、幻像が生じたという。いわば自然界で生じる磁気干渉が、あたかも霊姿目撃の幻像を起こすという論拠である。この説は一見科学的根拠を示しているかのように思われる。

この東北の巨大地震は、確かに海底の活断層の変動により、地磁気が乱れ脳に幻覚を生じ霊姿目撃者が多いと考えられ無くはない。とは言え、被災地では、誰しものが幻覚を見る訳ではない。霊姿目撃の要因は他にあると考えている。

その他に幻覚、幻視は統合失調症や薬物中毒者にも見られるが、被災地における霊姿目撃には、それを除外する。

II 霊姿現象についての考察

目撃証言は次のように様々である。

- ・日没頃に瓦礫の中で小さな女の子が親を探しているような姿が視えた。(瓦礫撤去の作業員)
 - ・夜に津波で瓦礫となった車の中を覗いて歩く子供連れの女性が現れた。(宗教家)
 - ・死んだ従兄弟が焼け跡にいた。(会社員)
 - ・夜に老夫婦の亡霊が歩道に立っていた。(警備員)
 - ・夜に仮設住宅でおじさんを視た。(親族を津波で亡くした10代の女の子)
 - ・夜中に一人の女性が手を挙げるので車に乗せて走り始め、しばらくして後を振り向くと誰もいなかった。(タクシー運転士)
- 等々、まだまだ目撃談も様々ある。

(霊姿の目撃場所)

- ・津波の被害があった浜辺
- ・津波にあった家や車の瓦礫の中
- ・津波で流された墓地
- ・非難場所の丘の途中道路
- ・仮設住宅
- ・市街地の銀行、商店街 等々

(場所での因果関係)

筆者は、優れた霊視能力者の同行を得て、関東近県の20か所で霊姿目撃と場所との因果関係の調査、検証を行ったことがある。

自殺、心中、殺人現場、墓地跡、処刑場跡、ダム、トンネル、沼地、湖、他に戦災地、震災地などである。いずれも非業の死を遂げた場所である。不条理に死んだ人々の無念さは、その場に霊の念が残留すると言われている。成仏できない自縛霊や浮遊霊という未浄化霊が幽界に留まるという。成仏できない霊が供養成仏を願って出没したり、また魔の踏切、魔の交差点と呼ばれる事故多発地点では、人を引き込む邪霊などが霊視できるという。

被災地で霊姿現象を考察すると、突然の事態で未だ死を自覚できずにいる犠牲者の霊(意識体)が供養成仏を願って、その場にいる人の波動と同調したとき、霊姿を見せるのではないともいわれる。

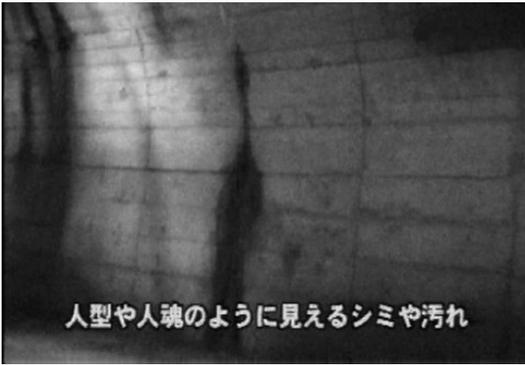


写真1 パレイドリア (pareidolia)

被災者の肉親が津波で亡くなり、家の中で愛する肉親の霊姿を目撃するケースなどは、会いたいという感情が募って何らかの陰影に錯覚することはあり得ない話ではない。だが、愛する家族と再会したいと念じて、仮にその人の姿が視えたとするならば、恐怖心による目の錯覚とは考え難い。

(2) 暗示幻覚説

肉親が臨終の際に枕元に立つという話はよく耳にする。眠気を催し微睡状態になると非暗示性が亢進する。半分目が覚めて周囲の状況を大体把握しているのに、生々しい現実感、恐怖感がともなった夢を見ると、幻視や幻覚が生じるという説がある。

催眠暗示による霊視の再現実験を試みた。霊姿目撃のない被験者(女性)に催眠をかけ、術者が「霊が見えます」と暗示を与え、再び後催眠暗示により目を開けさせ「目の前に霊姿が見えるか」という実験である。



写真2 催眠暗示幻覚実験

その結果、確かに実在しないのに「霊姿が見える」という。いわば夢見の浅い意識低下状態(トランス)では、普段は意識に上らない潜在意識の記憶情報が幻視を生じさせるのだという。従って、脳内の潜在意識がつくり出した暗示幻覚説はあり得ないことでもない。

とは言え、この説だけで全ての霊姿目撃が論証できるとは思えない。

さらなる検証として、霊視能力があると思う一般女性(40代の主婦)による霊視実験も試みた。場所はある公園の広場であるが、女性はその場の因果を知る由もない。実は鎌倉時代の“合戦の場”で、今は自殺者の霊が出るという噂高い場所である。ここで視えたこと、感じたことを報告してもらった。だが意外にも被験者は「ここは合戦に負けた武士の処刑場で、いま群衆が木立から覗き込んで見ている」という。視える状況を絵に描いてもらったのが下図である。



図1 処刑を取り囲んで見る群衆

後日、郷土史家に訊くと、まさに女性の霊視通りであった。因みに、その場所の案内書には昔の事実は何も記載されていない。霊視は時空を超えている。

先のように、嫁ぎ先の娘の夢枕に父親が現れたケースは、まさに臨終時と同時刻だったという話もあり、全て幻覚説だとする論拠にも無理がある。



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

霊姿現象について

小林 信正

多数の命を奪った東日本大震災から三年目。突然大切な人を失った人々の悲しみの思いは、今も変わりなく募らせる。被災地では、「霊を見た」「行方不明の母さんと再会した」「浜辺で歩く大勢の亡霊を見た」、さらには行方不明の肉親が「早く見つけてくれ、埋葬してくれ」と枕元に現れたという。今も2,636人が行方不明になっており、その家族の心の中では、生き続けていることだろう。こうした被災地での様々な声をテレビ、新聞が報じた。

2013年夏、NHKスペシャル「亡き人との“再会”」では、生々しい霊姿の目撃証言などの声を放送、大きな反響を呼んだ。好意的意見も多く寄せられたが、それとは裏腹に怪談や迷信、オカルトだとか、科学的に実証されていないものをなぜ取り上げるのか、との批判的な声も聞かれた。唯物論的な思考しかできない偏狭な人たちは、霊姿目撃などあり得ず非科学的なことと一笑に伏されるであろう。

しかし霊姿目撃の事例は、国籍、人種、宗教、教育、年齢を問わず多数報告されている。

現実を直視せず非科学的だと頭から否定することこそ思考停止と言わざるを得ない。

人は誰でも必ず死ぬ運命にある。然るに“死後の存続”の究明は“生と死”の意義を考える証ともなる。災害をきっかけに事実を収集して真実を究明し、亡き人の声に耳を澄まして、遺族の方々の“心のケア”について考えるのも意義ある事だと思う。

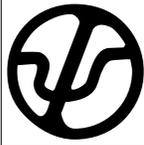
I 霊姿現象の諸説について

霊姿現象とは、生霊や死霊および近似死状態、臨死体験において霊の姿を目撃する、いわゆる幽霊譚に見られる広義のゴースト現象をいう。

地震、津波で突然最愛の人を失った家族にとってはその事態を受け難く、その人々の悲痛な感情は今も計り知れないものがある。心の中で処理されない多くのさまざまな感情は霊の投影との見方もできよう。だが霊姿の目撃者は被災者とは限らない。地域以外の人たちの中にも目撃者は存在する。ただし、現実に見たモノが事実であっても、事実と真実とは違う。錯覚や幻覚、幻視などもあり得る。霊姿目撃は真実なのか。死後も霊魂は存続するのか…霊姿現象に関する様々な仮説から考えてみたい。

(1) 目の錯覚説

“幽霊を見たり枯れ尾花”といわれるように、心理的な恐怖感からの誤認や錯覚する事を精神医学用語ではパレイドリア(変像機能性幻覚)という。古壁のしみや木陰が顔や姿に見えたりするように見間違ふことだが、対象物に対して誤った感覚や認識を得るのが錯覚であり、存在しない対象物を存在すると見なしてしまう幻覚とは区別される。



サイジャーナル

月刊
26-7・8
第416号

日本サイ科学会 平成 26 年 7 月 1 日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサノビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908 FAX 022 (274) 0097	中 部 〒503-0981 大垣市松町1290 山 田 哲 三 ☎ FAX 0584 (91) 1192	北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	関 西 〒659-0011 芦屋市六麓荘町 (事務局) 9-39 木 村 のり子 ☎ FAX 0797 (22) 6425	九 州 〒862-0976 熊本市九品寺 1-9-7 金 子 輝 夫
---	--	--	--	--

七月本部例会のお知らせ

ラップ現象の究明

ラップ音との関連性について

講師 小林 信正氏
(特異能力研究所代表
日本サイ科学会理事)

何も存在しないと思われる空間から、物を叩く音が発生する現象をラップ音 (rap 叩音) と呼び、昔から霊魂が出現するときの音で心霊現象の一つだといわれてきました。また海外ではポルターガイスト現象だという説もあります。しかし、未だにその音の発生原因は不明であり、正体は定かではありません。

ラップ音にはさまざまな種類があり、割り箸が折れるような音、ハンマーで物体を叩いているような音、ドアをノックする音、足音など多岐にわたっています。

日々、これらラップ音に怯えるさまざまな住人達の訴えにより、テレビ番組の制作を兼ねて、現場に特殊な撮影機器及び物理的測定機器を準備して調査、徹底観測、

撮影を敢行しました。

想定される原因の仮説としては、①人工電磁波説、②ウォーターハンマー現象説、③建築建材工法説、④低周波による振動、共鳴説、⑤ポルターガイスト現象説、⑥オーブによる心霊現象説、等々。建築家や音響専門家たちに現場の立ち会いを依頼し、家屋の構造調査や建材等の音響実験、音源の分析等による検証を試行しました。さらに住人の心理状態の意識調査も行いました。

検証の結果、ラップ音の発生にはオーブが介在して霊的な可能性が大であり、しかもオーブが何らかの意思をもっているように考えられます。

百聞は一見に如かず、ラップ現象が頻発しているいくつかの現場の実態をビデオで収録しましたので、その映像をご覧いただきながら、考察を加えたいと思います。また、土地には良し悪しがあり、住居には避けたい土地に関してもお話しできればと思います。

※長年東京キー局のチーフプロデューサーとして、心霊現象や能力者に関して科学的検証も含めた多

今月号の記事

- ◎ 七月本部例会のお知らせ
- ◎ 御寄付御礼
- ◎ 第22回宇宙生命研究分科会予告
- ◎ 第24回全国大会研究発表募集
- ◎ 関西サイ科学会 七月、九月研究集会予告
- ◎ 九州サイ科学会 七月、九月研究集会予告
- ◎ 中部サイ科学会九月例会予告
- ◎ 新役員のご挨拶
名誉会長 佐々木 茂美
会長 浪平 博人
理事長 久保田 昌治
副理事長 小林 信正
中部日本サイ科学会会長 眞野 博英
九州日本サイ科学会会長 森安 政仁
- ◎ 平成25年五月本部例会報告
- ◎ 第三八六回関西サイ科学会報告
- ◎ 第三八七回関西サイ科学会報告
- ◎ 本部例会ビデオ映像の販売
- ◎ 関英男先生関連書籍の販売
- ◎ オーブ出現に及ぼすカメラと光と水滴の影響
- ◎ 科学と再現性 そしてサイエネルギー

くの番組を制作してこられた講師なので、興味深いお話が沢山紹介されると思います。会員の皆様はご友人・知人をお誘いしてご参加願います。

●小林信正氏のプロフィール

1938年2月、東京生まれ。東京写真大(現東京工芸大)卒業、慶応大で哲学、心理学を専攻。

TV局勤務、チーフプロデューサー、部長として多数の番組制作に永年携わる。定年退社後、TV制作会社の代表取締役として多数の放送番組やイベントなどを制作。大学や企業研修の講師なども務め、特異能力研究会を主宰して意識とサイの研究を行っています。
 ◆ 新著に神社仏閣50選「ご利益さま」縁結び編。

日時 平成26年7月12日(土)

午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室
 交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル
 会費 会員二千円 一般三千円
 学生 一千円

※8月の本部例会はお休みです。

※9月本部例会の講師は、現在交渉中です。決定しましたら、7月の本部例会終了後、公式サイトに掲載しますので、チェック願います。

「心を科学する博物館」と一般の御寄付御礼 (6/8受領分まで)

◆ ◆
 金二万二千円也 森安 政仁 様
 金三千三百円也 吉田 一美 様
 金一千円也 飯見 勇 様
 金一千円也 占部 浩一 様
 金一千円也 赤松 洋一 様

第22回宇宙生命研究分科会予告

第8回 UFO・ORBシンポジウム
 テーマ 第2コペルニクス革命

「地球人一人ぼっち説」から「宇宙人てんこ盛り説」へ

コペルニクス革命は天動説から地動説への転換にあった!

現在進行形の第2コペルニクス革命とは「地球人一人ぼっち説」から「宇宙人てんこ盛り説」への転換である。ハッブル宇宙望遠鏡、ケプラー宇宙望遠鏡等の発見の数々はこの宇宙にはたくさん銀河があり、たくさん地球型惑星が存在することを示しているのだ。ジョルダノ・ブルーノの復権!? 最新のUFO・オーブ情報を紹介し、さて、第2コペルニクス革命を論じましょうか!?

日時 平成26年7月21日(月)

10時～17時30分

会場 品川健康センター会議室
 品川区北品川3・11・22

交通 03・5782・8507
 京浜急行新馬場駅徒歩2分

JR京浜東北線大井町駅東口から東急バス渋谷駅行で「新馬場駅前」下車

一般会費 一〇〇〇円
 会員会費 五〇〇円(日本サイ科学会・サトルエネルギー学会・太陽の会会員)

◆ ◆ (世話人 阿久津 淳)

平成26年日本サイ科学会第24回全国大会発表募集

毎年重要な行事である全国大会が、今年も10月12日(日)に北とびあにて、開催されます。会員の研究発表+シンポジウム(テーマは「サイと天変地異」)が予定されておりませんが、会員の皆様には積極的な発表ご参加を期待しております。

◆ ◆ 会員の研究発表では、テーマは天変地異に関してなくてもOKであり、これまでの研究での新しい発見、現在もしくは近いうちにデータ取りをしてまとめたこと、偶発現象(UFO、心霊現象等)の目撃と原因の推測・解明、様々なサイ現象の仮説(理論など「サイ」に関連することなら何でも結構ですので、ご自分の考えや研究成果をまとめて、発表して頂きたいと存じます。

◆ ◆ 研究発表の予稿集原稿は、後日今年度の論文集「サイ科学」にも掲載されます。

◆ ◆ 7月末までにタイトルと簡単な内容(200字くらい)をメール、またはFAX、ハガキでお送りい

ただき、一応審査させていただいて、通りましたら8月31日までに原稿ファイルをメール添付等で戴きたいと思えます。原稿の書式は後でお知らせ致します。

関西日本サイ科学会
七月例会のお知らせ

放射能分解理論の発見と可能技術の数々

講師 高尾 征治氏

日時 平成26年7月19日(土)
午後1時半～5時
会場 大阪科学技術センター
七〇一号室
交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 韮公園内
会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円
問合せ0797・22・6425
関西日本サイ科学会事務局まで

関西日本サイ科学会
九月例会のお知らせ

セドナメソッド「人生を変え
る一番シンプルな方法」

講師 安藤 理(おさむ)氏

日時 平成26年9月20日(土)
午後1時半～5時
会場 大阪科学技術センター
六〇五号室
交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 韮公園内
会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円
問合せ0797・22・6425
関西日本サイ科学会事務局まで

九州日本サイ科学会
七月研究集会のお知らせ

生霊について

講師 森安 政仁氏

日時 平成26年7月6日(日)
午後1時～4時
会場 森安商店
長崎県西彼杵郡長与町本川内166
問合せ095・883・6048

交通 JR長与駅下車徒歩20分
長崎バス 洗切小学校前
下車徒歩2分
会費 無料
※人生相談も伺います
※会員以外の方の参加も大歓迎

九州日本サイ科学会
九月研究集会のお知らせ

心の調和について

講師 森安 政仁氏

日時 平成26年9月7日(日)
午後1時～4時
会場 森安商店
長崎県西彼杵郡長与町本川内166
問合せ095・883・6048
交通 JR長与駅下車徒歩20分
長崎バス 洗切小学校前
下車徒歩2分

会費 無料
※人生相談も伺います
※会員以外の方の参加も大歓迎

中部日本サイ科学会
九月研究集会のお知らせ

会員数名の研究・体験発表

日時 平成26年9月20日(土)
午後1時半～5時
会場 眞野接骨院ホール
名古屋市昭和区御器所3・4・21
052・871・9060
交通 地下鉄鶴舞線荒畑駅下車
3番出口から徒歩1分
会費 無料
※会員以外の方の参加も大歓迎

☆新役員のご挨拶

六月八日の通常総会において、平成26年からの新役員が承認されましたのでご挨拶を掲載致します。

会長退任のご挨拶

新日本サイ科学会名誉会長

佐々木 茂美



皆様のご指導とご協力によりまして、長い間会長職を勤めさせていただきました。どうも有り難うございます。年齢を重ねて現在84才、あたまの回転もおそくなり、少々ぼけてきて、迷惑をお掛けする事が多くなりました。

皆様方もご存じのとおり、サイ科学会も危機的な状態を脱して、やっと、隆盛の機運が巡ってききました。会員数も増えて来て、論文数もまし、有識者がよく連絡してくる様になってきました。そういう意味で、明るい兆しがでて来たと思うのです。

この際、会長を交代して、マンネリを打破して、新しい方向に進歩しなければならぬ、と思いません。

私の希望として、日本サイ科学会として、定款を変えないで欲しい、と言う事があります。宜敷く、御願いたします。

☆ ☆

新日本サイ科学会会長

浪平 博人



このたび会長の任を承ることになりました浪平博人です。初代の関英男先生およびそれを継ぐ佐々木茂美先生という大変立派な会長を戴いて、サイ科学会は「心と心」ならびに「心と物」の間の相互作用は確かにあるという立場に立つて、

これができるだけ科学的に解明することに努力してまいりました。

当初の茫漠としていたこの分野は、その全貌が整理されさらに俯瞰的に体系化されました。そして、科学的な方法論に沿って深く考究されて、論文という誰もが内容を確認できる形で記述されるに至り、当会は質を伴って発展しつつあります。これは、両会長の長年にわたる卓越したご指導の賜物であります。

サイ科学会を量の面から眺めますと、少し前の社会の不況のあおりを受けた会員数の減少傾向への対処に苦慮いたしました。一番苦しい時は過ぎわずかながら回復傾向にあります。次の発展の予兆として誠に喜ばしいことでもあります。

さて、人の歴史を振り返りますと、これですべてわかったとされる時代は後世からみると結果として偏った停滞の時代でした。翻って今日を眺めると、いまは量であらわされないものは無視され、いわゆる科学万能とされております。その中であって我々は不思議なことを正面から欺かれぬ眼で見つめ健全な疑問を抱き、それを

解明しようとする者の集いであります。時代の先端を歩むものでありろうと確信する次第です。皆様のご協力を得て、会の発展に尽力する所存であります。

☆ ☆

新日本サイ科学会理事長

久保田 昌治



私は生来好奇心旺盛な方で、水を主要研究テーマにしていることもあり現在日本化学会を始め10前後の学会に加入しているがほとんどの学会で会員が減少している。かつ若い人の参加が少なく高齢化が進んでいる。当サイ科学会も最盛期といつか会員数が最も多かった時期に比べ半減している。この現象は出生率が低下してきている

ことだけでは説明できない。現に会員が増加している学会も数少ないがある。知る範囲では例えば日本医療・環境オゾン学会など。

学会の存在価値は会員数だけでなくは出来ないが現に会員数が増えているか減っているかは重要な意味を持つと考える。

このような会員が現に増えている学会を分析して見ると今の時代が喫緊に求めているものに答えられるはつきりしたものがあるといふこと。すなわち今の社会に夢を与える役立つものがあるということ。このような視点でサイ心理学を見直して見るとサイ心理学の守備範囲には今の社会であり時代が求めているものに答えられる可能性を持つものが幾つもある。

具体的にはいわゆる超常現象等の解明、今の科学的といわれる捜査手法では中々犯人に辿り着かない通り魔的事件の解決、病気の治療はもちろんのことこれから益々重要性が増す予防医学分野、さらに画期的な省エネ省資源技術などが上げられる。それにもかかわらず会員が減っているのは学会や学会活動が正しく評価されていないからではないか？ サイ心理学お

よび会員はもっと一般の人に活動内容を分かってもらうような努力が必要なのではないか？ このよ様な地道な活動・努力が会員増になると考える。

学会の使命としては真理の探究という重要な役割があるがそれと同時に実際の社会に役立つということが特に現在では重要になってきている。会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

☆ ☆

新日本サイ心理学会副理事長

小林 信正



「魂の究明と向上のために」

近年、私たちは合理的な科学的

思考の恩恵から便利さや快適で文明的生活を享受するようになりました。しかし他方では、原因不明の病氣、貧富の拡大、文化と精神の崩壊、凶悪犯罪、自殺など、さらには異常気象とか食品の有害化学物質や原発事故の放射線問題等々、一歩間違えば人類が危機に晒される深刻な問題が投げかけられています。

この物質文明と精神文明の溝を埋めるのは、心と心、心と物質をつなぐ命を重視した未知 (Psi) 現象を科学的に研究し、その成果を人類に貢献することが「日本サイ心理学会」に課せられた使命だと思います。

心霊現象に惹かれて約50年。私は現役時にテレビで「霊々恐怖」という図式の悪いイメージを世の中に流した事への後悔から、今その払拭における私自身の使命としても、世のため人のために微力ながら正しい知識を提供して人々のお役に立ちたいと思っています。

このたび、私は本学会にて「スピリチュアル研究分科会」を立ち上げます。

「靈魂＝命、精神の源」であり、魂は生と死を何度も繰り返し、私

たちはいま再びこの世に生かされて、いま生きる意味とは何なのか？ その課題を解いていきたいと思っています。

スピリチュアルに関心がある有志と親睦を図りながら、お互いに学び合っていきませんか。魂の向上に目覚めるのは、今です！ 会員以外の方でも大歓迎です。お誘いの上、ぜひご参加ください。

☆ ☆

新中部日本サイ心理学会会長

眞野 博英



今般、荣誉ある「中部日本サイ心理学会」を担当させて頂くことになりました眞野博英でございます。

私のような者を推薦してくださいました前会長の山田哲三先生、

あたたかい声をかけてくださいました小林泰樹事務局長、他、受け入れてくださいました、諸兄諸姉に感謝申し上げます。

私は還暦まで30年以上、接骨院を通して、医療に携わってききましたが、還暦の年に思いもよらず、厳しい状況に置かれました。その後66歳の今日まで、いろいろ状況を改善すべく努力しております。

これから山田会長の築いてこられた中部日本サイ科学会の活動を受け継いで、日本サイ科学会の一員として、参加者の皆様と共に明るい未来のために努力をさせていただきます。よろしくお願い致します。

☆ ☆

新九州日本サイ科学会会長

森安 政仁



「九州会を受け継ぐにあたって」

この度、金子輝夫会長の後任として九州日本サイ科学会の会長を務めさせて頂くことになりました。長崎の森安政仁でございます。

心霊の世界に出会ったのは、40歳の時でした。これまでは正直、霊というとなく胡散臭さを感じていました。ところが、長崎在住の志岐先生(故人)という方が全国から電話で遠隔治療の無料奉仕をされていることを知り、折しも私は腰痛、肩こりなど身体の不調のため伺いました。ところが不思議にも身体が見事軽くなり、目に見えない力(サイ現象)の不思議な働きに驚嘆したのです。

以来、心霊の世界に目覚め、先生と共に研鑽を積み、4～5年経ってから私も他人を癒すことができるようになり、今では実践活動と研究を兼ねて、全国から縁ある人々の無料奉仕に努めています。人々が素直な気持ちで、感謝、愛、奉仕といったものに目覚めると、心身に変化が生じることは事実です。中でも最も大切なことは、いま生かされている命の尊さに目覚め、先祖を敬い、父母に孝養を尽

くし、家庭では慈しみの心を育て、社会では人間関係の調和をはかる事だと思っています。

33年間学んだ目に見えない力について、さらに縁ある人々と共に学び合い、少しでも世の中に広めてお役に立ちたいと決心、九州会を引き受けた次第です。

よろしくご指導のほどお願いいたします。

平成25年5月本部例会報告

イメージによる瞬間教育

講師 浪平 博人氏

ロザノフの暗示学習法「サジェストベディア」というのがありました。これは「暗示により心の束縛を取り、潜在能力を自由に使う」方法で、主に語学の学習に適用され、一日一千語を覚えさせたという記録が残っております。日本では関英男先生が「加速学習法」として、東海大学で実施されておりました。

これは感性に重きを置く右脳教育とも関連するものであります。今回私がお話しするのは、論

理的な内容を対象にしておりまして、意味を瞬間的に伝達することをコンピュータを使って達成したものであります。

物事というのはなかなか伝えにくいのですが、伝言ゲームというのがあります。最初の一人からある内容を、例えば20人くらい順番に小さな声でひそひそと伝えるゲームですが、最初の人と最後の人ではその内容がとんでもなく違って、またそこに面白さを見いだすのですが。

つい最近のことですが、ある高校生が「うさぎ追いつし かの山」と歌詞を「うさぎ美味し かの山」とついで、「なせうさぎは美味しいのだろう? かの山とは何だろう?」と思つていたということです。もっと面白いのは昔の話ですが、教育勅語の「夫婦相和し」を魚屋のお兄さんが「ふうふはいわし」とついで、天皇陛下は我々に「ずいぶん気を遣つておられるのだな、と思つたそうです。

要するに物事は「自分の理解できるように理解する」ということ

なので。だから知識の伝達においては客観性が大切だというので、形式的になり、手順に分解したり、抽象化したり、数式・記号を使用することになります。しかし意味が分からない、何のことを言っているのか分からないというのが、実際のところですよ。

特に論理的かつ複雑な事柄の伝達においては、対処法として「分割統治法」というものに基づいて、①全体をいくつかの部分に分割し、②部分を説明する。部分自体に高い理解を要求されるものは沢山あります。③部分を集めれば全体になる、という方法です。

しかし、部分を集めたものが全体だろうか？という疑問が出てきます。従って実感としては、生きた全体にはなりにくいのですね。「分かるとは何か？」ということに対して、数学者の岡潔先生は「理解の内容には度合いがある」と述べられて、「形式的理解」と「情緒的理解」があると言われました。「形式的理解」というのは、手順として分かる、「情緒的理解」というのは、腑に落ちた、ということ、この両者は違うのです。

その上に「クオリア」というの

があります。「クオリア」とは震えるような感動、それを聞いただけでパーッと人生全部が変わるということが実際にあるわけです。



意味とは何か、というのを考えてみます。たとえ話とか都々逸はなぜ判りやすいのか。「百合のようなお嬢さん」「竹を割ったような男」この表現は日本人には判りますが、外人には判らないでしょう。「こぼれ松葉をあれ見やしゃんせ 枯れて落ちてても 二人連れ」

夫婦は仲良くしなければいかんぞという事です。これも日本人なら判ります。それは背景がよく判っているからです。我々は同一の空間を共有しているからです。外人には何のことか判らないのです。

意味とは自分の価値座標で測った値です。座標軸は各々異なるので、自分にとつての意味は人によって違います。だから、伝達においては、まず、意味を共有するところが大切になるわけです。その後、細部の手順を伝えます。そうすると、どの部分の詳細か関連が判るわけです。

ここで人の認識について、考えてみます。

見えるものは何か？一人一人のもつ価値観というようなものがあります。「見えるもの」とは、ある実体があつて、それをその人の価値平面で切り取る断面です。その断面は人によって変わるので、見えるものは変わるのですが、みな真実なのです。

従つて価値平面というのは、偏見の塊なのです。ここで面白いのは、偏見はそれを強めるように事実を解釈するのです。実はどのようにして、自分の疑り固まった見方を変えるのかということが、創造性そのものなのです。

現代の教育に目を転じますと、普遍性を重んじて、形式的になら

ざるを得ないのです。すなわち、形式智に偏るわけです。学校教育において、学ぶということは記憶することです。何でもいいから、この解法を覚えるということになるわけです。特に日本は根本を思索するという伝統が薄いから、独創的なものは出にくいのです。同形式の延長の改善は得意なのです。だから時代ががらつと変わり、形式が大幅に変わると、大損をするわけです。

科学の発祥を考えてみます。真理というものは、あるがままではなく、何か美しい原理があるはずだという信念をもつて捜すとき、見つかるのです。一神教としての神の存在を前提に、美しいものがあるはずだと考えます。合理性を仮定し、美しい原理を仮定し、○○とは何か？という姿勢があつて、科学というものが生まれるのです。

さて、意味の伝達の新しい工夫について考えてみます。多くの人々に伝えることでは、教育空間とでもいふべき、意味の共有というところがまずできなければなりません。

せん。多様な解釈軸があることを理解しなければなりません。従って発信方法に冗長性が必要になります。冗長度が高いものは何か？それは視覚です。なぜ高いか？窓の外に見た景色を、中の人に説明するとき言葉ではなかなか伝わりますが、写真ならパッと伝わってしまいます。

さらにIT技術がどんどん発展しています。考えてみれば、人間の認識の度合いというのは、その時代に使えるメディアに依存します。望遠鏡のない時代はどうだったか？それは目で見るしかないのですが、どんなに目のいい人でもある限度を超えることはできません。だから、天体は神の世界になり、確かめる術はなかったのです。ところがレンズが発明され、望遠鏡ができて、いろいろなことが判ってきました。太陽は黒点があり、フレアもあって、今までの認識とは違う、近い星、遠い星もあるし、無限の彼方にある星もあることを知り、初めて無限というのが認識できました。

あるいは、その後蒸気機関が発明され、人間の認識が変わってきて、自然というものは征服しうる

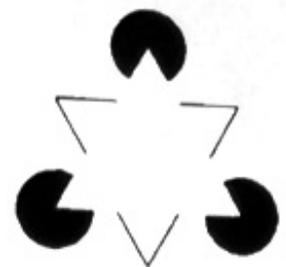
ものだという実感がわいてきました。そのように、人間の認識というものは、何が使えるかによって決まるのです。

そして今はIT技術です。あれは化け物です。ところが、まだまだITの使い方というのは単純にしか使っていません。本質的に速さやメモリーというものしか使っていないくて、智慧を入れるということをやっておりません。だからそこに非常に大きなブレイクスルーがあるはずです。

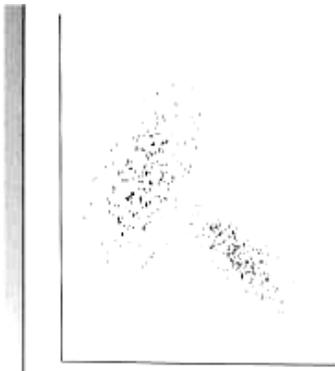
さて視覚の特徴について考えてみます。

量的特徴は、情報量が非常に大である。質的特徴は①異なったものの中に統一的なものを見る、統一的なものを見るときは、意味を見る、②図の中に、規則性、シンメトリ、簡単な要素を見る、③複雑さの中に単純さを見る、④変化に敏感、強度の二次導関数を感じする↓境界を察知する

下図は、「カニツツアの三角形」といって、マツハバンド・境界に一つの境界線があるように感じ、実際にはない境界を見ます。↓上向き三角形

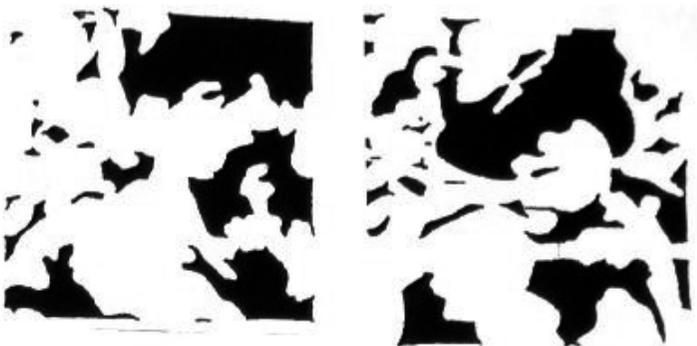


左図は多数の(x, yデータ…図の左側)が数値で与えられていて、それらの点を座標軸にプロットすると、2つの群に分かれるということが、パッと判ります。数値だけ見えていても、これらのグループは見えます。



縦軸
横軸
データ
カニツツア
境界線
マツハバンド

「目は意味を探す」一例として、左図の右側には帽子姿の「貴婦人の上半身」が見え、左側には髭をはやした「コサック騎兵の顔」が見えます。最初に見えなくても、一旦見えたら、それ以外には見えなくなります。



新しい教育方法論について考えてみます。

時間の順序に並んだいくつつかの

画像データを見ただけで、我々は因果関係をパッと取り出して、その意味をくみ取ることができません。それは我々の「悟性」というものがやるのですが、どのようにやるのかはよく判りません。これは本当は大変な能力です。

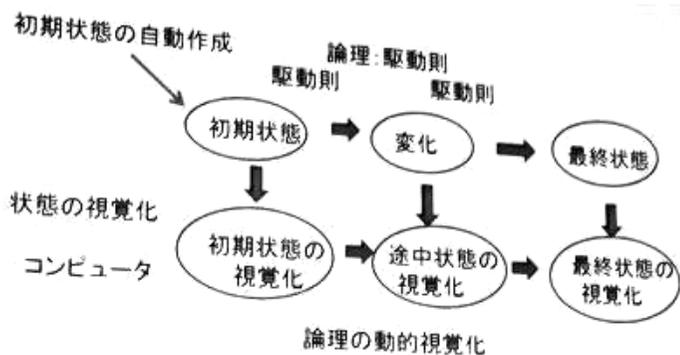
我々は意味の伝達を中心にした教育を作ろうとしています。それはまず悟性の活用をしよう、それは何かというと、論理の動的視覚化を行う、そのための電子黒板などを使うということです。

具体的方法論としては、目的・論理的内容の本質をイメージとして学ぶ者の生の感覚（クオリア）に直接伝達し、学生の感動を引き出す教育方法

方法・論理的内容の、コンピュータを使った動的な視覚化を行う（従来の視覚化は、結果の視覚化）

機能・意味の瞬間伝達（説明に先立って、概念の共有）と疑似経験（あの場合、この場合を自動的に発生）から、創造的發展に対応可能にする

論理とは何かというと、ある状



態があつて、その状態を変えるような駆動則が論理となります。初期状態から変化して、最終状態まで、論理をすべて視覚化することができますので、非常に面白いわけです。

Education（引き出す）の実現
身近な話題から入って、それらに対し「なぜ？」という疑問を問
いかけ、学生の興味を引き出し、

対話により「なぜ？」の問いを深化させ、適切に誘導することにより、解答を考えさせ、討議により一般的な理論の理解へ至らしめるような教育の工夫をしたい。これを、分野ごとに作り上げる

これにより何が変わるか？

不可能が可能となり、効率率が桁外れとなり、教育技術がソフトの中に組み込まれるので、伝承可能となります。すべて数理的な対象のイメージですので、タイトルをその国の言葉に翻訳すれば、ソフトはそのまま世界で使えます。

それでは今あるコンテンツをご紹介しましょう！

※この後、動的視覚化の多数の教材が紹介されましたが、お話の通り文字では表現できませんので、日本サイ科学会公式サイト
<http://homepage3.nifty.com/PSI/>
トップ頁にある「浪平博人氏 動
画集」のリンクから、YouTubeの
動画を視聴願います。

第三百八十六回関西日本 サイ科学会研究集会報告

今ガンを見直す

講師 土橋 重隆氏

とき 平成26年3月15日
ところ 大阪科学技術センター

土橋重隆氏は外科医・医学博士
1952年和歌山県生まれ。19
78年和歌山県立医科大学卒業。
1981年西日本で最初の食道静
脈瘤内視鏡的栓塞療法を手がけ、
その後2000例の食道静脈瘤症
例に内視鏡的治療を施行する。

1991年、和歌山県で最初の
腹腔鏡下胆嚢摘出手術を行う。2
000年、帯津三敬病院にて終末
医療を経験、現在は三多摩医療生
協・国分寺診療所で外来診療を行
っている。ガンや生活習慣病には
「治療の主役は医者ではなく患者さ
んと説き、全国各地で講演を展開。
著書に『ガンを作る心 治す心』
（主婦と生活社）『ガンを超える生
き方』（徳間書店）『突き抜ける生
き方』（あうん／藤原直哉氏との

共著)、『50歳を超えてガンにならない生き方』(講談社)、玄侑宗久氏と共著『生きる。死ぬ。』(デイスカバートウエンティワンなど多数。

なぜ病気になるのか?病気の本质とは何か、生きるとは何か。自分の体の変化に対応しようとして頑張っているのがガンである。自分を酷使した生き方を変えようと末期であっても治ってしまうことがある。治るものは少し後押しすれば治っていく。病気はその「意味と関係」を我々に伝えるために現れたもの。その役割とは……。

健康について考えたい

サイ科学会では生前の関先生に話を聞いており、サイ科学会とは長いつきあいである。

私は外科医で先端的な手術を専門に行っていた。今の医者は数値と画像がよりどころである。そういうやり方をしているうちに病気とは何か、治らない人はなぜかと疑問を持つようになった。

現在の医学はたまたま病気になるからその病気を排除するということなので、何故病気になるのか

という考え方はない。

私はこの問題を追究するため、統合医療を行っている関東の病院へ行った。しかしその病院でも病気は殆ど治らない。病気に苦しんでいる患者は「家庭の医学」などを読んで病院へくるのだが、結果は苦しんで死んでいく。今の病院では疑問を持ってはいけない。何故かと考えては駄目。

病院では診断され、病名がついたら対症療法が決まってしまう。つまり現代医学は、原因を取り除くということに興味を持っていない。

病気という起きた事実が問題であってその原因をまったく無視している。

実際は病気になっても治る人は治る。治らない人は治らない。ある患者の話。同居人との関係で潰瘍になった。やがて考え方が変わり、目の色が変わって元気になった。

抗がん剤は大きく分けて三つの使い方があり。ひとつは、手術する前に抗ガン剤を使って、小さく

してから取りましようというもの。次は、手術して取ったけれども、まだ残っているかもしれないから、画像も数値も問題ないけれど、予防的にやりましたよというもの。三つ目が問題で、手術できない、手術しても再発してどうにもできないという患者さんに、抗ガン剤を使おうというもの。



医者は身内ではなく他人だから薬が出せる

国民保険は実は国民のためのものではない。国家資格とは厚労省の下請け、これは山分けシステムである。

「これが基本である」と厚労省が決めており、これしか出来ない。これ以外の方法を行うと医師の資

格をはく奪されることもある。このシステムでは平均値の治療しかできず、これでは病気は治らない。

本来病気は長生きするためにある。何事も長所半分である。つまり病気は視点を変えれば幸運をもたらすものである。今の医者は国民皆保険により治しているからそのような観点がない。実は病気は必然的になるのである。

例えば、おかしなものを食べて下痢という病気になりそして正常に戻る。

また風邪をひいて熱を出し、これにより正常になる。

病気に心当たりのある人ない人がいるが必ず原因がある。

乳ガンになった人の場合、医学的には病気(ガン)が見つかったところからスタートしており手術、放射線、抗がん剤と進んでいく。実際は治る人は治り、治らない人は治らないのだが。

関東の病院に行ったとき乳がんの患者があふれていた。情報にあふれており訳が分からなくなっていた。そのような患者たちから生活歴を聞いた。そうしているうち

にヒントが出てきた。それは右か左かということである。これで原因が見えてきた。

もちろん環境、食べ物にも原因がある。また胃がん、大腸がんの場合も原因がある。

乳ガンの場合、右の乳ガンの方は夫婦仲が悪いとか親との関係で心理的なストレスのある人が多い。一方左の乳ガンの人は。人の依頼に従うタイプで親の介護などで肉体的に過剰な負担を抱えた人が多い。

これを避けるには生活を変えればよい。これまで、不自然な生活をしてきたことを認めればよい。病気になることは実はその人の病歴、生活史が問われているのである。

健康だけが大事なわけじゃない。病気をしながらさらに健康になっていく。一般的には、病気を敵対視して、それを克服する、闘病するといった形でとらえることが多いが、生命の視点で考えると、そこらも必要なものである。

ガンになる臓器とその人の性格や生き方は対応していることが多い。

胃ガンの人は、とにかく生真面目である。

私が診てきたのはガンの患者さんが中心であるが、胃、十二指腸を病む方というのは、何事も真面目で、言われたことに対して、平均以上に真面目に取り組む。それでバランスを崩してしまふ。肺ガンの人は、病気を怖れ、シヨックを受け、そのシヨックが免疫力を落として、ガタガタになりやすい。

インフルエンザについては予防接種はすすめられない。

マスコミ（NHK、新聞等）が言っていることにまどわされてはならない。

ガンになる人は真面目で常識的な人、皆と同じルールの人で社会的に結果を残した人に多い。

食事療法とか〇〇療法では治らない。療法ではなく自分の生活史の方を治すことである。お金のある人がそのような療法に拘るケースが多いが、そのうち療法にこだわって自分の金がなくなつて治す努力をやめたら治っていく。

病気は自分自身も周囲の人もよくする要素を持っている。ガンになることで学べる。ガンには力が

ある。家族が集まるとか。

ガンは自分の過去である。人は因果律で生きている。過去を断ち切れれば自由律である。ガンは（死をイメージさせるような病気は）生き方を変えなさいとのメッセージである。

病気は日常生活から発生する。非常識、非日常になるとガンである必然性がなくなる。

私は自在な自我を持つ医師になりたい。皆と同じでは天分を生かすとは言えない。

それぞれがこの時代に合う能力がある筈である。

薬は病状を抑えるだけのもので治すものではない。現在の医学は修理と管理をするだけであるが、これを治療と言っている。病気は必然で数字や画像には現れない意味と価値がある。早期診断、早期治療と言われるが、これは病人をつくるだけである。

一度「この風邪にはどんな意味と価値があるのか」と考えることが必要なのである。

西洋医学も代替医療も意味と価値を認めない点では同じである。すべてに意味と価値があるのだ。

これが分かれば生きている価値が見えてくる。

病気が存在しているのは必然性があるからである。

今我々（日本人）には哲学がない。幹、枝がなくて情報の葉っぱのみ。そういう教育が行われている。葉っぱだけ見ていては、病気の場合も問題は解決しない。

今日の話は枝と幹の話である。

病気は治そうとしても治せない。治るものは少し後押ししてあげれば治っていく。病気はその「意味と関係」を我々に伝えるために必然的に現れたものであり、その役割が終われば消えていくものなのだ。

善悪、浄穢、正邪、真偽……これらの対立する概念がこだわりを生じさせ、我々に苦の世界を体験させる。これが、私たちが味わっている常識の世界だ。常識的な人は分別のある人、立派な人とみなされるが、つねに何かと戦っている。

「これでいい」という答えが見いだせないまま、たえず葛藤して

いるだろう。

これに対し、無分別は時として解決できない問題をも解決に導く。この無分別こそ「不二」の世界にほかならない。不二は、今日のよくな出口の見えない暗闇の社会を新しい明るい社会に変えていくキーワードに違いない。

☆ ☆

ガン・病気など悪とみなされて
いるものには意味と価値があると
いう。我々はものの見方を根本か
ら見直すことを求められているの
かも知れない。

そこに達した時こそ病のない世
界になるのであろう。

当日の参加者は会員14名、非会
員23名、合計37名であった。

今回のカセットテープは200
0円(送料込み)です。

事務局(0797・22・64
25)までご連絡下さい。

(関西日本サイ科学会会長

河野明夫)

第三百八十七回関西日本 サイ科学会研究集会報告

靈感・霊能力について

講師 小林 信正氏

とき 平成26年4月19日

ところ 大阪科学技術センター

○小林信正のプロフィール

1938年2月、東京生まれ。
東京写真大(現東京工芸大)卒業、
慶応大では哲学、心理学専攻。T
V局勤務、チーフプロデューサー、
部長として多数の番組制作に携わ
る。定年退社後、TV制作会社の
代表取締役として放送番組や各種
イベントを企画制作。大学や企業
研修の講師などを務める。その傍
ら特異能力研究所を主宰して意識
とサイの研究を行う。日本サイ科
学会理事。前(財)日本心霊科学
協会常任理事。新著に神社仏閣50
選「利益さま」がある。

靈感とは、霊的なモノを受動的
に感じる、いわゆるインスピレー
ションのことを指すのに対して、

霊能力は霊的なモノを自発的に感
知し、その事柄は何であるかを解
釈できる能力を言います。通常の
人間では知りえない事柄を見たり、
聴いたり、霊言したり、除霊、浄
霊、心霊的治療能力を行使する者
を総称して霊能者とか霊能力者と
いいますが、霊能師、浄霊師とか
チャネラーなどという呼び方もあ
ります。



小林氏は1960年頃から、こ
れらの霊的能力に興味を抱き、現
在までに国内のみならず外国の霊
感、霊能力者と称する人たち約3
20人余りを取材してきました。

アンケート調査、霊視や除霊など
の実験検証、さらには海外の能力

開発研究所や心霊治療の養成機関
などの取材や霊能力者の脳内の「光
トポグラフ」による血流活動の比
較測定を試みてきました。これら
の映像を試写しながら、霊能力者
の実態と能力開発法及びそのメカ
ニズム研究の一端をお話しして頂
きました。

靈感・霊能力について

- I 灵感・霊能力・霊媒とは
- II インスピレーションテスト
- III 霊能力者列伝
- IV 心霊現象と心霊能力
- V 霊能力の発現について
- VI 霊能力開発法
- VII 霊能力のメカニズム
- VIII 霊能力者の資質
- IX 悪徳霊能力者の見分け方
- X 預言者のメッセージ

意識の主体は

「唯物論」 脳神経科学 脳意
識を生み出す 心

「唯心的二元論」哲学、宗教、心
霊 脳は魂が身体運動するため
の媒介装置 靈魂↔不死↔輪廻
転生

「普遍的唯心論」 量子力学の素
粒子論 宇宙意識↔素粒子

靈魂とは

霊(れい、たま)は、すぐれて神妙なもの、神、こころ魂(こん、たましい)精神をつかさどる精气

I 靈感・霊能・霊媒

天才と靈感

詩人・文学者／石川啄木、宮沢賢治、夏目漱石、土井晩翠、芥川龍之介、太宰治、川端康成、三島由紀夫、ゲーテ、トルストイ、コナンドイール

発明家／レオナルド・ダ・ヴィンチ、ニュートン

音楽家／モーツアルト、ベートーベン、ブラームス、ショパン、チャイコフスキー、ヴィヴァルディ

画家／ゴッホ、ルノワール、セザンヌ、ミレー

学者／湯川秀樹、岡潔、デカルト、ベンゼン、ダーウイン、

靈感／スエーデンボルグ
II インスピレーションテスト
霊能力者のタイプ

III 日本の霊能力者列伝

卑弥呼、役小角、空海、安倍清明、日蓮、祐天、中山みき、出口なお、出口王仁三郎、長南年恵、

御船千鶴子、長尾郁子、三田光一、亀井三郎、小谷喜美、

IV 心靈現象と心靈能力とは

霊能力

(1) 精神的心靈現象

霊能力、霊視、霊言、人体透視、心靈鑑定、降霊会

(2) 物理的的心灵現象

物品出現、物品引き寄せ、物質化霊、エクトプラズムとは、自動書記、死者の肖像画、自動描画、霊界の画家が描かせたという絵画、自動演奏イギリスの音楽霊媒師、オーブは靈魂？ オーブの変形？ 鏡視 臨死体験の研究者レイモンド・ムーディ博士が行った研究で実験では、かなりの確率で個人と再会したという。

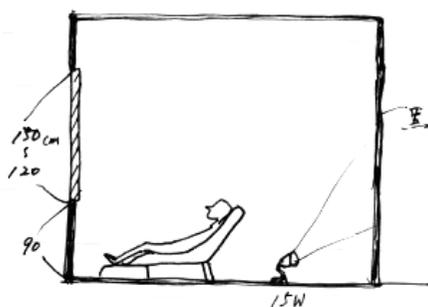


図1 鏡視状況

実験方法は六畳ほどの部屋に四方を暗幕で囲い、正面の壁に縦1・2 m×横1 mの鏡を設置し、

その鏡の前にリクライニング・チェアを用意、背後に15Wの電球を置く。そのチェアに横たわり故人の思い出などを思い浮かべながら鏡の奥を見つめる(図1参照)。

(3) 心靈治療

直接治療・遠隔治療、イギリスの心靈治療、ヒーリング

憑依現象、除霊、浄霊、加持祈祷、ブラジルの心靈手術

世界的に注目される特異能力者
ジョン オブ ゴッド

過去世療法、転生した勝五郎、
ダライ・ラマ法王と転生

日本に馴染みの食文化 日本文化の源流

光との遭遇、体外離脱現象(OBE)、霊界テレビ映像

V 霊能力の発現について

(I) 先天的能力、(II) 後天的能力、(III) 自発的体得
宗教的修法・行法

VI 霊能力開発法
能力発現法 サイコサイバネティクス、サジェストロロジー

サイコ・オリエントロロジー
応用科学として

イメージトレーニングメソッド
応用編トリーニング
科学的方法論とは

VII 霊能力のメカニズム
一般者と霊能力者の脳内比較
第3の目

A10 神経

VIII 霊能力者の資質
霊能相談の心得

霊能力者も得意不得意の分野もある。
霊能者は当て物ではない
霊格の高低レベルが重要

IX 悪徳霊能者の見分け方
魂の向上を説き、感謝、謙虚、寛容、無償の愛ある人物

優れた心靈鑑定では
因果の法則
「シルバーバーチの霊言集」の遺訓

「語りかける霊がいかなる高級霊であっても、その語る内容に反感を感じ霊性が納得しない時は、かまわず拒絶するがよろしい。

人間には自由意志が与えられており、自由な選択が許されています。」

X 地震予知について

(「ある超能力者によると、地震発生の予測の時期は、2015年

1月～4月頃、伊豆半島の南方のトラフ付近が震源地で、東海地方では大きな地震が起き、それが東南海地震へと連鎖を引き起こし、近畿、四国、九州の海岸など津波による甚大な被害が予想されること(図2参照)。



図2 地震予知

名言1
考えかたが変われば行動が変わる
行動が変われば習慣が変わる
習慣が変われば性格が変わる
性格が変われば人格が変わる
人格が変われば人生が変わる

名言2

人生でどれだけのことを達成したかより、どれだけの人に役に立ったか、どれだけ多くの人に感動を与えたかが重要です。

あなたがどれだけ大きな夢を持っているかより、どれだけ笑顔が輝いているかが大切なのです。

☆

☆

サイ科学全般の問題について洋の東西の人物、種々の現象などについて詳しく説明して頂き、関連することの膨大さを改めて認識した。

そして、大事なことは自分自身よりも多くの人に役に立ち、感動を与えることだと教えられた。

鏡視についてレイモンド・ムーディ博士の実験では300名中約半数が死者と再会したという。

小林氏の心霊現象研究会での実験では28名中11名に人物らしきものとの再会があったとのことである(サイジャーナル2014.5.6 No.415 P16参照)。関西日本サイ科学会でも実験を検討中である地震について特に関西在住の者と

しては気になる予言であり、とにかく準備しておくことが大事である。

当日の参加者は会員18名、非会員26名、合計44名であった。

講演のカセットテープは2000円(送料込み)です。

事務局(0797・22・6425)までご連絡下さい。

(関西日本サイ科学会会長

河野明夫)



本部例会ビデオ映像販売のお知らせ

ハイビジョン映像・音声ファイル(約3時間)を記録したUSBメモリーでお送りしますので、ほとんどのデスクトップあるいはノート型のウインドウズ・パソコンで見ることが出来ます。

価格 1本につき 三五〇〇円
(送料含む)

以下日本のビデオ映像から、御注文願います。

◎2013年4月本部例会
講師 大野百合子氏

「宇宙図書館(アカシツクレコード)から見た世界の仕組みと私たち—あなたは誰なのか—」

◎2013年5月本部例会
講師 浪平博人氏

「イメージによる瞬間教育」
◎2013年6月本部例会
講師 松原秀樹氏

「アレルギーを治す秘訣」
◎2013年7月本部例会
講師 酒向猛氏

「千鳥学説を知るために」
◎2013年9月本部例会
講師 奥野節子氏

「ブラジルの奇跡のヒーロー
ジョン・オブ・ゴッド」
◎2013年10月第23回全国大会
シンポジウムテーマ

「サイと自然治癒力」
◎2013年11月本部例会
講師 小久保秀之氏

「生体センサによるサイ研究—超能力研究の最前線」
◎2014年1月本部例会
講師 小川博章氏

「魂の発見」
◎2014年4月本部例会
講師 西川真知子氏

「生命の智慧 アーユルヴェーダ

「アーユルヴェーダから見る生命のすばらしさ」

◎2014年5月本部例会

講師 岩根和郎氏

「般若心経とサイ科学」

◎2014年6月本部例会

講師 秦西平氏

「気超科学と宇宙生命哲学
新病気学」

メールまたはFAXで左記に掲載のメールアドレス（またはFAX番号）に、「2010年〇月〇〇氏ビデオ購入希望」と記して、郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、御注文願います。
2週間以内に発送致します。

E-mail office21@psi.mail-box.ne.jp
FAX 047・330・4091

お支払いは、到着後同封の郵便
振替用紙で8日以内にお振り込み
いただければ、結構です。



故 関英男先生のサイ関係 (+ α) の主要な御著書 (在庫のあるもの)

	定価	送料
加速教育法 (1990: 加速学園出版部)	2,100 円	(300 円)
加速学習法 (1995: 加速学園出版部)	2,550 円	(200 円)
サイ科学の全貌 (1991: 工作舎)	1,995 円	(200 円)
グラビトニックス (2000: 加速学園出版部)	1,000 円	(160 円)
念波 (1990: 加速学園出版部)	800 円	(160 円)
CD: 生命と宇宙 [講演録 72 分] (1998: 船井メディア)	3,000 円	(160 円)
電気磁気学 [加速教育用] (1983: 加速学園出版部)	1,340 円	(160 円)
謎のオズマ計画 - UFO との関連 - (1976: USL)	190 円	(80 円)
FIVE DIMENSIONAL WORLD (1974: 英語版)	1,000 円	(160 円)

※「深宇宙探訪記」は大幅に値下げしました。

以下オスカー・マゴッチ著、関英男先生監修

深宇宙探訪記 (上) (1991: 加速学園出版部)	1,000 円	(200 円)
深宇宙探訪記 (中) (1992: 加速学園出版部)	1,000 円	(200 円)
深宇宙探訪記 (下) (1992: 加速学園出版部)	1,000 円	(200 円)
VHS ビデオ: オスカー・マゴッチ氏の講演 (2h40m)	3,000 円	(200 円)
VHS ビデオ: ティモシー・ワイリー氏の講演 (2h45m)	3,000 円	(200 円)

※ビデオは日本語逐次通訳付きです。

お問合せ、御注文は先に下記の E-mail、または FAX 宛にお願い致します。

その際、書籍名と送り先の郵便番号、住所、氏名、電話番号もご記入願います。

ご返事で送料を含めた代金やお振り込み方法等のご連絡を致します。

※正式な御注文から2週間以内に発送致します。

※1種類で沢山の部数を御注文の場合は、事前に在庫を下記のE-mailまたはFAX、電話で確認して頂いてから、お願い致します。

※以上の書籍は今後増刷がありませんので、在庫が無くなりましたら、ご容赦願います。

<お問い合わせ>

日本サイ科学会事務局 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506

TEL 047-347-3546 FAX 047-330-4091

E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

コボコ状のオーブが写されている。つまり、「フラッシュ光禁止」、なのに、効果が継続して、オーブが写されている。しかも、それぞれのオーブは成長している様に見える(省略)。

以上は、見方を変えると、「スプレー水」噴射によりキリ(モヤ)が生じ、これが消える頃にオーブが発生し、次第に変化・成長する、この傾向は継続しているらしい、が記録されていると考えることが出来よう。

(B) カシオZ-2000(1610万画素数)を用いて上の(A)と同一の実験を行った。初めは「フラッシュ光有り」、「スプレー水無し」である。結果を見る。最初の3枚には、ニコンの場合と同様に、何も写らなかった(写真添付せず)。次の(一例としての)3枚中の2枚、No.0774とNo.0775は「スプレー水有り」「強制フラッシュ光有り」である。No.0774を見る。キリ(モヤ)の中に、混ざって、大小のオーブが写っている。No.0775には、それらが成長したと思える様な中、大径のオーブ(核、又は穴有り)が、全面に、写されている。最後は「スプレー水有り」、「強制フラッシュ光無し」である。一例としての3枚には、最初の3枚の場合と同様に、何も写っていない。つまり高画素数のカシオの場合には、「フラッシュ光無し」の場合には、「スプレー水有り」の条件でも写らない事が判った(省略)。

8. オーブのカオス解析

オーブ内部の平面的並びに立体的な濃度変化を調べている。一例としてNo.774とNo.775を見る(省略)。同一テスト条件で、約6~10秒後に写されているが、結果は別の値が得られた。フラクタル次元Dは、前者が2.42(4個の山)後者が2.38(1個の山)である。これらの実験結果には、素粒子の性質(非局所、ランダム等)が表れている考えられる。

9. 纏めと検討・考察

(1) オーブがすぐ傍まで来ても、高画素数カメラ(1610万画素数)では認知出来ない(写らない)場合がある。しかし低画素数カメラ(220万画素数)には写る傾向が有る。(2) 小雨の降りはじめやスプレー噴霧水があると、出現しやすい。水の蒸発はオーブの誘発になっていると考えられる。しかしオーブと水滴とは異なる。(3) 近赤外線燈の光ではなくて、カメラからインパクト的に放射される光により、オーブは出現してくる。これより、原子内電子の量子飛躍時の緩和エネルギー(近赤外線光)がオーブ形成に必要な、と判断できる。(4) オーブの円内の模様(表情)を知る為に、カオス解析(濃度分布)を試みた。結果には、素粒子の性質が色濃く表れていることが判った。

撮影された写真No.1883 (通常に得られる) を示す(省略)。オーブは円形であり、円の内側に沢山の点状の凹凸を含み、ハイロー (halo) の小さな、やや金属的な輝きを持つオーブ (たまゆら) が写っている。

4. 小雨の降り始め

画素数が多いカメラは、オーブ (たまゆら) は写り難いが、詳細 (円内の表情等) が判断し易い傾向がある。つまり、小雨の影響を調べるのに便利なので、画素数の多いカシオ Z-2000 (1610万画素数) を用いた。測定は2014年5月15日 (木)、夜、小雨の降り始め、オーブが写りやすい福島市飯坂温泉駅付近の橋。最初に、6~10秒間隔で、毎回「フラッシュ光ON」で、5回テストした。一例としてのNo.0756を示す(省略)。橋の上に、乳白色発光状で中円径、円周外側にハイロー (halo) を伴い、円内部に表情を持つオーブが一個、他に、微小な点状の水滴群が写されている。No.0761は (橋の下に)、No.0756とほぼ同様のオーブと水滴が写っている(省略)。

次に「フラッシュ光OFF」で5回テストした。結果をみると、5枚とも、オーブは全く写っていない。画素数が多いカメラでは、小雨でフラッシュ光が無い場合には、全く写らない場合がある。

5. スプレー噴霧(キリ)放射

「ハンド・スプレー」を用いて水(キリ、噴霧)を放射すると、キリが消える頃に、オーブが写りやすい(共同研究者、川崎利男)ので、これをK式スプレー法と仮称して、実験を行う。実験結果は本稿の実験の様々の場面で記述してある。結論としてオーブ撮影には、ハンド・スプレーを用いて水(キリ、噴霧)を放射する方法が良いと言える。

6. 「近赤外線照射」の有無

オーブ(たまゆら)は近赤外線域にいますので、近赤外線ランプを照射して、その効果・意味を調べる。上記と同じ理由(表情を調べ

る)から、カシオ・カメラ(1610万画素)を用いた。場所はオーブの出やすい福島市実験室西側空き地。上記と同様に、「晴れ」で「夜間」にテストを実施した。2014年5月1日(木)、「フラッシュ光禁止」、「近赤外線照射」、「スプレー水有り」で4枚撮影した。4枚ともキリ(モヤ)が写っている。この一例をNo.0727に示す(省略)。図の左上にスプレーが写り、中央に「モヤ」がでている。オーブが出現しないので、念の為に、2014年5月5日(月)、再度、同様に、4枚のテストを実施した。しかし4枚とも、「モヤ」は出ているが、オーブは写らなかった。単なる近赤外線照射では、オーブが出現しにくい事が判った。

7. カメラの画素数の差異

カメラの画素数と「スプレー水効果」を調べた。オーブの出やすい福島市実験室西側空き地、2014年5月22日(木)、晴れ、時間は19:40~20:30。

(A) ニコン E-2200 (220万画素数) を用いて、約6~10秒間隔で、一枚毎に「強制フラッシュ光」撮影を試みた。最初は「スプレー水無し」、で3枚撮影し、ひき続き「スプレー水有り」で3枚撮影。最後の3枚は「フラッシュ光禁止」、「スプレー水有り」である。結果をみると、最初の3枚(スプレー水無し)はオーブらしいものは、何も写っていなかった(写真添付せず)。次の3枚は「スプレー水有り」であるが、これにはキリ(水滴)とオーブらしい混合画像が写っているが、全体としては、「ぼけ状写真」である。この一例をNo.1930、No.1932に示した(省略)。No.1930を見る。画面の右上にスプレーのボトルが映り、画面ぜんたいに乳白色の水滴粒が写されている。No.1032には、より小粒の水滴(キリ状)とこれの集合体(中粒)と思われる像が写っている。最後の3枚は「スプレー水有り」、「フラッシュ光禁止」、の場合である。この一例としてのNo.1934には、キリ(モヤ状)の中に大、中径のオーブが画面の右際半分に写されている。上部の2個のオーブは、乳白色発光状であり、また右上端には茶色でデ

オーブ出現に及ぼすカメラと光と水滴の影響

佐々木 茂美 苗 鉄軍 川崎 利男

習熟した撮影者の意見として「オーブ撮影はカメラ、光、雨(キリ)に注意すべき」がある。しかし具体的にどの様に判断したら良いかは不明であった。そこで今回は、この問題等について初歩的・実験的な検討を試みることにした。

1. 実験内容(実験条件)

デジタル・カメラの画素数の多少(又はフィルターの有無)が、オーブ(たまゆら)像撮影の可否や画質に影響する事が推定されている。しかし確かめられてはいない。そこで、画素数の異なるカメラを用いて撮影する。画素数の少ないデジタル・カメラ、ニコンE-2200(220万画素数)では(カメラ側の)光と人工的な霧(キリ、水滴)の関係を調べる。画素数の多いカシオEX-Z-2000(1610万画素数)では、主として、光、小雨(水滴)、近赤外線燈の関係を調べる。つぎに、カメラの画素数と撮影され易さ、オーブ表情のカオス解析等を検討する。

撮影条件として、露出モードをオート撮影(P)に合せる。これは絞りとシャッターの組み合わせを、カメラが自動的に選定して撮影する方式である。撮影時間は、夜間の20:00~21:30の間。場所は、既知(オーブが出易い)の福島市実験室西側空き地、飯坂温泉の駅付近、別に未知(出現が未知)の上野寛永寺西側道路を選んだ。

オーブ(たまゆら)は近赤外線領域に潜っており、目には見えない(活性化エネルギー、約1.4eV)。また、小雨の降り始めに写り易い。そこで、「晴れ」で「近赤外線燈に通電した時」。並びに、「スプレー水放射時」も検討する事にした。なお、撮影に際しては、次の諸項目を組み合わせで実施した。

ストロボ光(フラッシュ光)禁止。さらに黒遮光布でカメラのフラッシュ光発射部を遮蔽した時。強制発光(フラッシュ光ON、色温度

約6000度K)。近赤外線電灯(TOKI赤外線家畜用電球100V-185W、約3300度K、IR100)照射の時。天候は晴れ、または小雨の降り始め。晴れでスプレー水(キリ、噴霧)を放射したとき。

2. 光をほぼ遮断する場合

(1)「フラッシュ光禁止」

「晴れ」の夜間の写真撮影である。ニコンE-2200使用、「ストロボ光(フラッシュ光)禁止」なので、カメラ側からは光放出はない筈であるが、構造上、シャッターボタン半押しと全押し時に近赤外線が放出される。さらに、「シャッターON」時に僅かながらストロボ光(フラッシュ光)が放出されてしまう。一例として写真No.1910と写真No.1912を示す(省略)。これらの写真を見ると、背景が薄暗いのはっきりしないが、樹木の葉、建物の壁、屋根のみが写されている。その他は真黒でオーブは写っていない。

(2)フラッシュ光除去(黒遮光布使用)

上の(1)と同一時間帯、同一カメラ、並びに同一場所で撮影した。「シャッターON(ボタン押し)」に伴う近赤外線照射は防ぎようが無いが黒遮光布を使用して、フラッシュ光を完全に除去している(カメラからは光は出していない)。この一例として写真No.1913と写真No.1915を示す(省略)。画面を見ると、今度は完全に真黒で、何も写っていない。

3. 「フラッシュ光有り」

オーブ像撮影時の通常の方法。つまり、暗い夜空に向けて、「フラッシュ光ON」で撮影する場合である。画素数と性能の異なる4台のカメラを用いて、場所と時間を様々に変えて撮影し、多数のオーブ(たまゆら)写真を得た。ここには、一例として、上の(1)と同一条件で

これまでこの(1)反応は γ 線のような強いエネルギーでないと起こらないといわれてきたが近年は超音波処理その他でも容易に起こることが明らかになってきた。

古くから我が国には「病は気から」という言葉があるにもかかわらず気とかストレスというようなエネルギーについてはその存在をなかなか認めない風潮があった。天下のNHKが「気」とか「気功」のようなものを取り上げるようになったのは旧科学技術庁が「稲葉生物フォトンプロジェクト」(1986~1991)を実施して以降でありまだ日が浅いのである。

ところでここでは生体に関係するエネルギーを総称してサイエネルギーとしたが、具体的には気エネルギー、生命エネルギー、生体エネルギー、意識エネルギー、ストレスエネルギー等々でありこれらは同種のエネルギーなのかそれとも異種のエネルギーなのかあるいは幾つかに分類出来るものなのか大変興味深いものであるとともにこの辺を先ず明らかにすることが極めて重要と思われる。その理由は近年最新の検査機器を用いていくら検査しても原因が分からない病気や病的症状を訴える患者が増えていることである。新しいタイプの胸焼け、血尿、せき、血便等々いくら調べても現在の医学では病的原因が見つからないのである。そうすると第1に考えられることは精神的なものが原因しているのではないかということになってくる。

医学分野ではプラシーボ(偽薬)効果がダブルブラインドテストでも明確に有意差が認められているにもかかわらずどういう訳か一般化されていない。大変不思議なことである。これは薬の売れ行きに関わるためか……。

今から20年以上も前になるが(株)日立製作所にいた時日立研究所で日立返仁会(本当は変人会で日立グループの博士号取得者の会)が開催され佐々木茂美先生と清田益章青年に講演とスプーン曲げの実演をお願いしたことがあった。歴代の研究所長3人に最前列に並んでもらい、さらに一般の所員にも開放しての講演会だったため会場の講堂は人で溢れた。清田

青年は1時間の持ち時間が終わりに近付いてきてもなかなか実演に入ってくれなくひやひやした記憶が蘇る。これは場が場ただだけに実演するのに気分が乗ってくるまで時間を要したと言うことだと考えられる。その後の2回の実演は共に成功した。これはたまたま時間が許されたから成功したと言える。テレビなどでの実況・実演では当然時間的な制約があり時間内であるということになった場合、成功しない場合が十分にあり得ることである。

その後興味深かったのは事務局の一人が機関紙に載せた文章だった。当日は事務局で用意したスプーンで実演してもらったにもかかわらずスプーンを途中で取り換えたのではないかということだった。信じない人は何処までも信じないということ。このようなことに対する清田青年の反応は「それでいいのだ」ということだった(実演で折れたスプーンを研究所の材料の専門家が早速分析したとのことだった)。清田青年のスプーン曲げでありスプーン折りのようなサイ現象に対する世の中の認識・評価は20年以上も経過した現在でも当時とほとんど変わっていないと筆者には思われるのである。

このような人体が関わるサイ現象でありサイエネルギーの世界に入ってくると再現性というものが場や環境の影響を強く受けると言うこと。したがって現代科学でいう再現性の意味を広げるかあるいは再現性に対する考えを変えないと再現性がないとか得られないと言うことになってしまう可能性が多分にある。そのためサイエネルギーが関わる研究結果は正当に評価され難くなりまたなかなか信じて貰えない結果になったりする。このことはサイ科学の前進のためばかりではなく科学技術立国を目指す我が国の将来のために極めて残念かつ勿体ないことである。



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

科学と再現性 そしてサイエネルギー

久保田 昌治

我が国には再現性のないもの、あるいは再現性の悪いものは科学 (Science) のテーブルに上らないとか科学の研究対象にならないということ平気でいう学者や研究者が珍しくない。確かに科学的な研究を進める上で再現性が重要であることは間違いない。しかしこの考えは正しいだろうか？ 筆者は再現性がないとか悪いからこそ科学の研究対象になるのだと考える。十分な再現性が得られればそれはもう技術 (Technology) のフェイズに移ったと考える。

今を時めくLSIの元のトランジスターはたまたま出来たものであり当初は極めて再現性が悪かった。初期のLSIの量産化も歩留まりが10%前後で実用化に進んだ。技術においては再現性は極めて重要である。再現性の悪いものは実用化は無理である。成田を飛び立った飛行機は毎回予定通りに目的地に無事到着してくれなくては困るのである。飛び立つたびに落ちていたのでは怖くて乗れないのである。

ところでサイ科学の分野は再現性がないとか悪いとか得難いという特性を本質的に持つ分野である。そのため現代科学のテーブルに極めて乗り難い面が強いのである。その結果サイ科学の成果がなかなか実社会に受け入れて貰い難く、役立てて貰えないだけでなく時にはせせら笑われたりすることがあるのである。これは現代科学で言う再現性の問題と密接な関係があるのではないかとと思われる。

我が国で再現性のないものは科学のテーブルに乗らないというような考えが常識化してしまった原因を探っていくと第二次世界大戦後の我が国の置かれた状態に辿り着く。戦後我が国が米国を中心に外国から輸入した技術、すなわち Technology を我が国では科学技術と翻訳した。戦後我が国が外国から輸入した各種技術は紛れもなく Technology であった。それを科学技術と翻訳してしまったために再現性のないものは科学のテーブルに乗らないというようなことになってしまったのではないかと推測する。いずれにせよ再現性のないものは科学のテーブルに乗らないとか科学の研究対象にならないという考えはサイ科学分野を中心に現在大きな弊害をもたらしていると考えざるを得ないのである。

最近病気の90%は活性酸素が原因していると言われている。そしてストレスが活性酸素の発生源になっているということが盛んに言われている。しかしどうしてストレスが活性酸素の発生源になるのかそのメカニズムについての説明を聞いたことがない。何故なのか不思議に思ってきた。筆者は体内の水がストレスエネルギーにより次の(1)反応が起こり活性酸素のヒドロキシルラジカル($\cdot\text{OH}$)が生成するのではないかと考えている。





サイジャーナル

月刊
26・9・10
第417号

日本サイ科学会 平成 26 年 9 月 1 日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサノビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	中 部 〒466-0051 名古屋市昭和区 御器所3-4-21 眞 野 博 英 ☎・FAX 052 (871) 9060	北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	関 西 〒659-0011 芦屋市六龜荘町9-39 (事務局) 木村のり子 河 野 明 夫 ☎・FAX 0797 (22) 6425	九 州 〒851-2122 長崎県西彼杵郡 長与町本川内16-6 森 安 政 仁 ☎ 095 (883) 6048・FAX (095) (883) 6159
---	---	--	---	---

九月本部例会のお知らせ

死後の世界と輪廻転生についての一考察

講師 石川 允朗氏
(獣医師)

古代日本における、死者に対しての埋葬方法では、屈葬を行っていた事例があり、その理由としては胎児の姿をとることによる再生を祈る、死者の霊が生者へ災いを及ぼすのを防ぐため等様々な説があります。

日本における、最初の歴史書である古事記には、黄泉の国についての記述があること、また近世において、人間の肉体には魂が存在し、永遠に生まれ変わりが繰り返されるのではないかと科学的に研究され、医学の領域からは臨死体験説も唱えられています。

また、宗教におけるあの世は、地獄、極楽があり、輪廻転生することがあると説明がなされています。ところが、現代におけるアカデミズムでは魂の転生はない、人間は死ねば無であるとの説が主流

をなしております。

そこで、死後の世界と人は転生するののかということについて、ダライラマの転生、エドガー・ケイシーの催眠状態における転生解説、また日本における平田篤胤による「勝五郎再生記聞」などの文書等を比較検討し、古代から現代に至る歴史的、宗教的、心霊的分野等からの解析により、死後も人は生きており霊魂として存続するのか、また転生をするのかということについて徹底的な検証を行いました。知れば知るほど驚くべき輪廻転生の事例をできるだけ分かりやすく紹介し、その仕組みを考察致します。

※獣医師をされながら、心霊科学に興味を持たれて長年研究されてきた石川氏ですので、動物の特殊な能力エピソードも含めて、興味深いお話が聞ける貴重な機会です。輪廻転生等興味のある皆様は、ご友人、知人をお誘いして、是非ご参加願います。

●石川允朗氏のプロフィール
昭和22年4月19日生まれで香川県出身、現在千葉市にご在住。

今月号の記事

- ◎ 九月本部例会のお知らせ
- ◎ 御寄付御礼
- ◎ 計報
- ◎ 年会費未了の方へのお願い
- ◎ 事務局からのお知らせとお願い
- ◎ 九州・関西・中部サイ科学会九月研究会予告
- ☆ 10月全国大会プログラム
- ◎ 関西サイ科学会十月例会予告
- ◎ 関西サイ科学会十一月例会予告
- ◎ 九州サイ科学会十一月例会予告
- ◎ 六月通常総会報告
- ◎ 平成25年6月本部例会報告
- ◎ 第三八八回関西サイ科学会報告
- ◎ 本部例会ビデオ映像の販売
- ◎ サトルエネルギー学会秋の大会
- ◎ 本部門例会講演録の販売
- ◎ 関英男先生関連書籍の販売
- ◎ 近赤外線光、水分、歓心がオーブの出現に与える影響

日本獣医生命科学大学卒業後、現在まで千葉県や千葉市職員も含めて、獣医師をされています。前公益財団法人日本心霊科学協会監事、財団法人市原学園講師、吉田動物病院在籍。

日時 平成26年9月13日(土)
午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室
交通 J R京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤
羽寄り)の階段を下り改札
口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

◆ ◆

「心を科学する博物館」と
一般の御寄付御礼
(8/4受領分まで)

金二万円也 森安 政仁 様
金一千元也 信太 民久 様

計 報

本年6月まで長年、中部日本サイ
科学会会長を務められた山田哲三
先生が、7月12日永眠されました。
心からご冥福をお祈りいたします。

年会費未了の方へのお願い

本年3月1日発行の「サイジャ
ーナル」とともに、「年会費納入の
お願い」と郵便振替用紙を同封致
しましたが、まだお振り込みでな
い方は、以下の郵便振替口座にお
振り込み願います。郵便振替用紙
は郵便局にあります。

00100・2・15344

加入者名 日本サイ科学会

●年会費一年度分

維持会員 二万円(一口)

正会員 九千円 学生会員 六千円

準会員 五千円

◆ ◆

◎事務局からのお知らせと お願い

☆本部例会や大会等での運営ボラ
ンティア募集中

受付での資料配付、講演者スラ
イド発表時の電灯操作、コンピュ
ータ操作などのお手伝いをしてい
ただけませんか。当日の参加費が
無料になります。

●左記にご連絡願います。

E-mail office21@psj.mail-box.ne.jp

九州日本サイ科学会 九月研究集会のお知らせ

心の調和について

講師 森安 政仁氏

日時 平成26年9月7日(日)

午後1時～4時

会場 森安商店

長崎県西彼杵郡長与町本川内16・6

問合せ 095・883・6048

交通 J R長与駅下車徒歩20分

長崎バス 洗切小学校前

下車徒歩2分

会費 無料

※人生相談も伺います

※会員以外の方の参加も大歓迎

◆ ◆

関西日本サイ科学会 九月例会のお知らせ

セドナメソッド「人生を変え
る一番シンプルな方法」

講師 安藤 理氏
おさむ

日時 平成26年9月20日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 鞆公園内

会費 会員 二千元 一般 三千元

学生 一千元

問合せ 0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

◆ ◆

中部日本サイ科学会 九月研究集会のお知らせ

会員数名の研究・体験発表

日時 平成26年9月20日(土)

午後1時半～5時

会場 眞野接骨院ホール

名古屋市昭和区御器所3・4・21

052・871・9060

交通 地下鉄鶴舞線荒畑駅下車

3番出口から徒歩1分

会費 無料

※会員以外の方の参加も大歓迎

◆ ◆

★日本サイ科学会 第24回全国大会プログラム★

(特別協賛：サトルエネルギー学会)

(日時) 2014年10月12日(日) 10:00～16:50

(会場) 北とびあ7階第2研修室

(交通) JR京浜東北線王子駅下車徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)
の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

(会費) 会員 ¥2,000 一般 ¥3,000 学生 ¥1,000

※サトルエネルギー学会会員は会員会費となります。

<プログラム> (敬称略)

9:30 開場

10:00～10:10 開会のご挨拶 小林 正典 大会委員長

◎会員の研究発表(5名)(20分発表5分質疑応答/1人)

10:10～10:35 りんあん 「病と魂の関連性」

10:35～11:00 ロン 薄葉 「銀河活動と天変地異」

11:00～11:25 斎藤 斎霊 「植物による霊障害について」

11:25～11:50 小林 信正 「予感・直観についての考察」

11:50～13:00 昼休み

13:00～13:25 山根 真 「カタカムナから、宇宙へ」

13:25～13:35 休憩

◎シンポジウム テーマ「サイと天変地異」

13:35～15:15 パネラー5名の発表(1人20分)

15:15～15:30 休憩

15:30～16:40 シンポジウム パネルディスカッション

大会シンポジウム委員長 小林 正典(日本サイ科学会理事)

司会進行 阿久津 淳(日本サイ科学会理事)

パネリスト

阿久津 淳 「予知と持続：天変地異は超能力で予知可能なのか？」

小林 信正 「関東大地震の前兆」

小林 正典 「予知できた2014年浜岡原発の放射能事故」

瀬尾 泰範 「大地震の起きやすい太陽・月・惑星配置の統計的解析」

橋本 和哉 「気の共鳴反応で天候天変地異を読み取る」

16:40～16:45 優秀研究賞 表彰式 浪平 博人 会長

16:45～16:50 閉会のご挨拶 小林 正典 大会委員長

17:30～19:30 懇親会(希望者：当日受付)

関西日本サイ科学会 十月例会のお知らせ

潜在意識と習慣

講師 水口 清一氏

日時 平成26年10月18日(土)
午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター
六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 韮公園内

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで



関西日本サイ科学会 十一月例会のお知らせ

いま脳波が面白い！ ～右脳
と左脳との脳波共鳴、人と人
との脳波共鳴で場に何かが起
きる！

講師 志賀 一雅氏

日時 平成26年11月15日(土)
午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター
六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 韮公園内

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで



九州日本サイ科学会 十一月研究集会のお知らせ

心の調和についてII

講師 森安 政仁氏

日時 平成26年11月2日(日)
午後1時～4時

会場 森安商店

長崎県西彼杵郡長与町木川内16・6
問合せ095・883・6048

交通 JR長与駅下車徒歩20分
長崎バス 洗切小学校前

下車徒歩2分

会費 無料

※人生相談も伺います

※会員以外の方の参加も大歓迎

◎お知らせ

九州日本サイ科学会は、10月12日(日)に講演会を外部の会場で開催する予定しておりますが、会場がまだ確定しておりません。9月に入ってから、日本サイ科学会の公式サイトでお知らせしますので、チェック願います。

六月通常総会報告

日本サイ科学会

会長 佐々木茂美(平成25年度)

新会長 浪平博人(平成26年度)

◎平成25年度本部事業報告

1. 会員の現状

(平成26年5月末現在)

名誉会員	1名
維持会員	4名

正会員 195名

学生会員 27名

準会員 65名

合計 292名

2. 講演会、研究集会

本部は10月の「第23回全国大会」を含み、計12回の例会・分科会を開催した。

◎本部例会・大会(敬称略)

平成25年

4月13日(土) 大野百合子氏

「宇宙図書館(アカシックレコード)から見た世界の仕組みと私たち ―あなたは誰なのか―」

5月11日(土) 浪平博人氏

「イメージによる瞬間教育」

6月9日(日) 松原秀樹氏

「アレルギーを治す秘訣」

7月13日(土) 酒向猛氏

「千鳥学説を知るために」

9月14日(土) 奥野節子氏

「ブラジルの奇跡のヒーラー
ジョン・オブ・ゴッド」

10月13日(日) 第23回全国大会

テーマ「サイと自然治癒力」

11月9日(土) 小久保秀之氏

「生体センサによるサイ研究
―超能力研究の最前線―」

12月14日(土)忘年会も兼ねた
会員の体験意見発表と討論の会

平成26年

1月11日(土)小川博章氏
「魂の発見」

2月15日(土)小林信正氏

大雪のため中止

◎分科会

●宇宙生命研究分科会

テーマ

平成25年

7月28日(日)第19回「第7回

UFO&オーブシンポジウム」

12月1日(日)第20回「第1回

異能科学会議」

平成26年

3月30日(日)第21回「第6回

ヒポクラテス・シンポジウム」

3. 総会

平成25年6月9日

北とびあ901会議室で開催

4. 全国理事会・評議員会

平成25年6月9日

北とびあ901会議室で開催

5. 本部理事会(第177回〜第

183回)を4月、5月、7月、

9月、11月、12月、1月と7回

開催した。

6. 出版物

「サイ科学」第35巻第1号を発
行した。

「サイジャーナル」第409号
から第414号までを発行した。

◎平成26年度本部事業計画

・10月12日(日)に全国大会(シン
ポジウムテーマ「サイと天変地
異」)を開催する。

・月例会を9回(4、5、6、7、

9、11、12、1、2月)開催する。

・宇宙生命研究分科会を3回(7、

12、3月)開催する。

・新しく「スピリチュアル研究分

科会」(世話役 小林信正副理

事長)を立ち上げ、年に数回の

分科会を開催する。

・本部理事会、全国理事会評議員

会を開催する。

・「サイジャーナル」を6回発行する。

・「サイ科学」を発行する。

・公式サイトを運営する。

・「心を科学する博物館」の資料を

整備する。

・その他

◎活動方針として

・刊行物に種々の分野の解説・応

用や新鮮な情報を増やす。

・会の活性化を図るため、例会等

でアンケートを実施、活用する。

・インターネットの公式サイトや

メールマガジンを活用する。

・雑誌等の告知欄やメールマガジ

ンに行事の予告を載せていく。

・地方日本サイ科学会との連携を

深める。

・地方からも講師を招く。

・理事や若手の幹事(理事候補、

評議員を増やす。

・その他

◎地方日本サイ科学会

東北日本サイ科学会

会長 佐佐木康二

◎平成25年度事業報告(敬称略)

平成25年

4月13日 第188回研究会総会

「平成24年度事業報告、平成25

年度事業計画」

「意識の科学としての名言と名

言対」 佐佐木康二

6月8日 第189回研究会

「霊能発揮をブロックしている

者たちがいる!」 佐佐木康二

8月10日 第190回研究会

「ハイアーセルフにアプローチ

する科学機器的な実験」 佐佐

木康二

8月14日 三田光一出生の地探訪

(福来心理学研究所、仙台瞑想

研究会と共催)

10月12日 第191回研究会

「年収一千万円未満の人はサイ

能力発現できない?」 佐佐木

康二

12月14日 第192回研究会

「すべてをよい方向に導く超強

力パワーグッズの作り方と使い

方」 佐佐木康二

平成26年

2月8日 第193回研究会

「願望達成の真実」 佐佐木康二

◎平成26年度事業計画

東北日本サイ科学会は、創始者

岡田幸千生が掲げた目的、「聖人及

び超能力者の先人たちの出来るだ

け深く探求して、誰でも本来的に

持っているはずの超能力を万人に

成長させて人類の活動能力を本質

的に高めること」を今後も目指し、

次の事業を行う。

1. 定例研究会の開催

定例研究会を偶数月第2土曜日に開催する。先人や研究者の成果を学び、また各人の知恵と知識を持ち寄る。サイ科学関係の著名人の講演会等は計画としては準備せず、機会がある折りに考慮する。

2. 「東北日本サイ科学会研究抄録」の編集

3. 長期研究テーマの推進

サイ現象の観測量化―「スカラ―波カメラ」等の開発、気・意識の種類の見分け方、「念写」写真・「オーブ」画像等の分析・検証（福来心理学研究所との共同研究）、意識純化・宇宙意識への目覚め、地震予知、数秘術・秘数の科学性の研究、フリー・エネルギー装置の研究、過去世・霊性・霊能の研究

4. 講演会等の開催

「スカラ―波」「念写実験」等のテーマで5月、8月に講演会を開催する（福来心理学研究所と共催）

5. 会推進スタッフの充実、本部会員・会員の勧誘

6. 「岡田文庫」（福来心理学研究所との共同事業）及びビデオ資

料等の閲覧サービス・管理

中部日本サイ科学会

会長 山田哲三(平成25年度)

新会長 眞野博英(平成26年度)

◎平成25年度事業報告

研究集会Ⅰ

日程 平成25年5月11日(土)

会場 つるまい会館

会員数名の研究・体験発表

研究集会Ⅱ

会長が体調を崩されたため中止

◎平成26年度事業計画

研究集会を2回開催する

内容 会員数名の研究・体験発表を中心に出席者で勉強会を行う。

第1回 平成26年9月予定

会場 眞野接骨院ホール

第2回 平成27年3月予定

会場 眞野接骨院ホール

北陸日本サイ科学会

会長 佐藤 禎花

◎平成25年度事業報告(敬称略)

平成25年4月28日(日)

テーマ「気エナジーヒーリング」

「アロマと気エナジー」田村由美子(ホリスティック健康科学研究所講師)

「皮膚と気エナジー」丸谷恵子(ホリスティック健康科学研究所講師)

所講師)

平成25年9月22日(日)

「世界史上でも第一級の人物

空海の修行と世界観、密教超能力の原理」瀬尾泰範(才能開発研究所代表、占星学研究者)

◎平成26年度事業計画

平成26年6月29日(日)

北陸日本サイ科学会定例会開催

平成26年9月28日(日)予定

(内容、詳細は未定)

◎分科会「氣の健康研究会」は長野県伊那市、静岡県磐田市にて活動予定

◎平成25年度事業報告(敬称略)

平成25年度は8月12月を除き、

25年4月(377回)から26年3

月386回)の10回開催した。

参加者は390名で、24年度より72名増加し、この8年間では最大となった。

研究集会

平成25年

4月20日 伊藤一夫「根源の音声

に出して歌う和歌」

5月18日 和田高幸「ダウジング

の現代」

6月15日 村上晋一「人類の進化

のターニングポイント・アセン

ション」

7月27日 池田邦吉「神様がいる

ぞ・続編」

9月21日 大峰かず子「音の魅力

に挑戦」

10月19日 中野瑞樹「フルーツの精々からのメッセージ」

11月16日 松尾みどり「宇宙意識文明の幕開け」

平成26年

1月18日 櫻井喜美夫「出口王仁三郎の黄金鏡」

2月15日 上森三郎「巨大地上絵発見でわかった世界文明の『起源は日本』だった!」

3月15日 土橋重隆「今ガンを見直す」

◎平成26年度事業計画(敬称略)

平成26年度は左記のように8月12月を除き、26年4月(387回)から27年3月(396回)の10回開催する予定である。

平成26年

4月 小林信正「靈感・霊能力について」

5月 橋本和哉「気で読みとる鬱積感情、霊障とその治療」

6月 平岡憲人「よみがえるやまと古事記以前の日本」

7月 高尾征治「放射能分解理論の発見と可能技術の数々」

9月 安藤理「人生を変える一番シンプルな方法」

10月 水口清一「潜在意識と習慣」

11月 志賀一雅「いま脳波が面白い!」
「右脳と左脳との脳波共鳴、人と人との脳波共鳴で場い何かが起きる」

九州日本サイ科学会

会長 金子輝夫(平成25年度)

新会長 森安政仁(平成26年度)

◎平成25年度事業報告

九州部会としての事業は行いま

せんでした。

◎平成26年度事業計画

九州日本サイ科学会では、目に見えない超常的な諸現象、中でも心(精神)と身体の関係、魂や霊性心といった自己の内的なものに目覚めることの大切さについて勉強していきます。さらに会員同士が互いに実践的、客観的な研鑽を積み、その正しい知識と研究の成果を世の中に普及して、人々の新しい生き方のために役立てていきたいと思っています。

○講演会は年に2〜3回、講師を招き、市内の会場を借りて開催する予定です。

(日時、会場、講演者などは、目下検討中)

○研究会は会員相互の勉強会を開催して研鑽を積んでいきます。

(日時、場所などは、目下検討中)

*テーマとして…生霊、死霊、霊障、邪霊と高級霊、カルマと先祖の因縁、除霊、浄霊、癒し、ヒーリング、感謝、無償の愛、奉仕、心の調和、魂の向上とは…等々。

●平成26年度日本サイ科学会役員構成(*印は新任または改選)

名誉会長 佐々木茂美

会長 浪平博人

理事長 久保田昌治*

副理事長 小林信正*

顧問 窪田啓次郎*

品川次郎*

西條一止*

地方会長兼理事

東北日本サイ科学会会長

佐々木康二*

中部日本サイ科学会会長

眞野博英*

北陸日本サイ科学会会長

佐藤禎花*

関西サイ科学会会長、副理事長

河野明夫*

九州日本サイ科学会会長

森安政仁*

理事(常任理事を含む)

阿久津淳*、大木高伸*、大谷宗司、小林泰樹、

小林正典*、小牧昭一郎*、

志賀一雅、志村則夫*、

徳永康夫、中島敏樹、

鯉江勇、本間修二*、

前田知則*、苗鉄軍、
渡辺宙明

幹事

飯見勇*、吉田一美*

評議員

薄葉達夫、占部浩一*、

瓜生昌代司、大西章、

奥村八郎、加納愛信*、

鴨川裕司、小久保孝行、

小林隆文、佐藤ひろ子、

杉立繁*、高橋至誠、

谷口五月、飛田洋子*、

三浦良江、屋敷益男*

監事

和田守央

(1) 本部役員・理事会は会長、理事長、副理事長、顧問、常任理事、幹事によって構成される。
(2) 常任理事は月1回開催される本部理事会に出席できる理事を示す。
(3) 常任理事の選出は、理事の自己申告による。

◎基幹研究賞・功労賞表彰

基幹研究賞

東京都 小林 信正 殿

本会は定款細則第18条により総会の議を経て、貴下の研究活動に対し基幹研究賞を贈り、感謝の意を表します

平成26年6月8日

日本サイ科学会

会長 浪平 博人

研究活動「オーブ（たまゆら）測定・解析の先覚的な基礎研究」最新の映像撮影技術をもちいてオーブの存在を確かめた

学会賞

(1) 目的…本会の理念にふさわしい学術研究、実践活動に対して授与する。

(2) 対象…論文、著書並びに実践活動にたいして。

(3) 選考方法…

(3・1) 自薦または他薦とする。

(3・2) 顧問、会長、理事、専門家で審査の上、理事会で受賞予定者をきめる。

(4) 表彰…年次大会時の総会で受賞者を決定する。

功労賞

佐々木 茂美 殿

あなたは日本サイ科学会会員（日本サイ科学会会長、日本サイ科学会理事長、理事）として、永年にわたり、研究と啓蒙活動にご尽力されました

本学会の輝かしい発展はあなたのご努力におう所が大でありますよって日本サイ科学会功労賞を贈り表彰し感謝致します

平成26年6月8日

日本サイ科学会

会長 浪平 博人

〔平成25年度決算報告〕

収入			
項目	予算	項目	決算
会費	2,000,000	会費(正)	1,389,000
例会	400,000	会費(学生)	208,000
寄付	500,000	会費(準)	342,500
本・他	100,000	会費(維持)	80,000
繰越金	2,202,302	会費(賛助)	0
合計	5,202,302	入会費	51,000
		例会収入	541,000
		本会寄付	729,000
		本・他	243,935
		広告料	0
		前年度繰越金	2,202,302
		合計	5,786,737

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
会費	2,000,000	ジャーナル発行	600,000
例会	400,000	会誌発行	300,000
寄付	500,000	人件費	1,530,000
本・他	100,000	例会会場費	120,000
繰越金	2,451,346	講師謝礼	200,000
合計	5,451,346	事務用品	100,000
		郵送・配送料	50,000
		通信費	80,000
		会議・打合せ	70,000
		交通費	40,000
		事務所維持費	140,000
		郵便・銀行振込料	10,000
		予備	100,000
		来期繰越金	2,111,346
		合計	5,451,346

支出		
項目	予算	決算
ジャーナル発行	600,000	594,030
会誌発行	300,000	309,750
人件費	1,530,000	1,534,000
例会会場費	120,000	111,780
講師謝礼	200,000	220,440
事務用品	100,000	85,149
郵送・配送料	50,000	40,541
通信費	70,000	80,067
会議・打合せ	70,000	70,210
交通費	40,000	8,400
事務所維持費	140,000	140,269
郵便・銀行振込料	10,000	4,380
予備(予稿集印刷代)	100,000	136,375
来期繰越金	1,872,302	2,451,346
合計	5,202,302	5,786,737

〔平成26年度予算〕

平成25年6月本部例会報告

アレルギーを治す秘訣

講師 松原 秀樹氏
(体質研究所)

今日はアレルギーに関してお話しさせていただきますが、私自身がアレルギー（鼻炎・咽喉炎・目がかゆい、頭がぼーとする、耳鳴り、身体がだるい等）で40年悩まされてきました。何をやっても治らなかつたアレルギーが、つい最近ポンツと治りました。この一、二ヶ月のことです。

だいたい小学校1、2年生で毎週耳鼻科に通っていました。小学校6年までずっと通い続けましたが、最後に医者から「あなたの体質だから治らないよ。」と言われてきました。小学生の頃ですから、そんなに気にしないで、まあ大人になればそのうち治るのかな、と考えていたのですが、中学から高校に進むにつれて、だんだん悪くなってきまして、高校生くらいで症状がピークに達しまして、最悪の状態がだいたい10年くらい続き

ました。

それで体質改善しようかな、と思いき、玄米菜食とか漢方薬とか鍼灸とか西式健康法とかヨーガとかいろいろやりましたし、また肌を鍛えるといいということで水泳もせつせと泳ぎました。しかし結局治らないので、これはどうとう断食をするしかないかな、ということ、高校卒業後に断食道場に一ヶ月もって、本格的な断食をやってきました。

宿便を出せばすっかり体質は変わるということにかけたわけです。一ヶ月間道場にこもって、本断食一週間、普通の食事に戻す復食を三週間やって帰ってきました、どうなったかという、何も変わらなかったのです。あつという間に元通りです。変わった事と言えば、体重が10キロ痩せてげそつとしただけです。もう一つは野菜が好きになったことです。

あまりにも痩せてしまったので、今度は逆にウエイトトレーニングで鍛えなければ、ということでごダガン鍛えていきました。ウエイトトレーニングして、栄養療法の本を読んで、栄養を沢山とっていただくという方に切り替えたわけです。

体を鍛えて丈夫にすれば治るかなということ、極真空手を五年位一生懸命にやって、初段を取って体質がどうなったかという、それでも変わらないのです。

何なんだろうこれは？ よっぽど前世で自分は何が悪いことをしたのではないか？ これは前世の罰なのか？ と思いました。ずーっと何をやっても10年間は変わらなかったのですが、あるときにエドガー・ケイシーのオイルマッサージを勧めてくれた方がいました。



オイルマッサージが体を劇的に楽にしてくれましたので、それからエドガー・ケイシーの資料をどんどん読んでいきました。そうしたら、今まで体にいいと思っていたこととか、みんながやっている

から当たり前だ、と思っていた事の中に、体を悪くしている要因がいっぱいあることにだんだん気が付いて行きました。一つ気付いたものに生活を変えていきましたら、何年かかけて、症状が最悪時から半分くらいに下がりました。

30代の半ばに、歯の詰め物のアマルガムがアレルギーの大きな原因になることを知り、歯医者で13本の歯からアマルガムをはずしてもらいました。それをはずしてもらったら、また症状がストンと下がり、症状が最悪時の10パーセントまで下がりました。大分楽になりました。アマルガムを入れられたのは、だいたい幼稚園から小学校一年生の頃で、13本バッチリ入れられて、それ以来水銀が歯の中に約30年間入りっぱなしだったわけですね。まあ、水銀中毒、でしょうね。

食事が悪かったと思います。症状が最悪時の後半の頃、パンが好きなので自分でパンが作れたらいいなと思ってパン教室に行きました。そしてクロワッサンの作り方を知って、びっくりしました。パン生地と油が全く同じ量なのです。しかもパン教室で使っていた油は

シヨートニングで、身体に有害とされるトランス脂肪酸だったので。こんなものを毎日食べていたらいかなんと思ひ、知らないということに恐ろしいことでぞつとしました。

私は20代の前半に冷えて悩んでいましたので、毎日職場にあったゲルマニウム風呂と遠赤外線サウナ、水風呂に五年間くらい入っておりました。ところが冷えて冷えてしようがなくて、真夏でもジャンパーが必要なくらいで、手も冷たかったのです。

その後皮膚科学を学んで、風呂が悪いんだ、風呂に入るのを止めようと思ひ、それ以来入浴は一週間に一度くらいになりました。風呂は入らない方が冷えにくくなり、皮膚もきれいになるのです。そういうようにいろいろな事を見直して、玄米菜食も止めました。

最近栄養療法も見直して、サプリメントも安心して長く飲み続けられる添加物のない自社ブランドのものを出しました。それを飲むようになり、自分の症状も数パーセントまで下がりました。それでもアレルギー症状が0にはならなかったのですが、今年の3月に

「LPS（リポポリサッカライド）」の入ったサプリメントを開発し、それを飲むようになってから、一、二ヶ月でアレルギー症状がストンと0になったのです。

そういうふうには自分で段階的にいろいろやってきて、要するにアレルギーが起きる仕組みがこうで、こうすれば治るんだということがあらかじめ分かりましたので、今日そのエッセンスをお話ししたいと思います。

主に免疫の話になりますが、免疫は血管の内側で起きている世界の話なので、見えないから分かりにくいと思います。免疫力は「高いー低い」の尺度（縦軸）と「正常ー異常」の尺度（横軸）があります。免疫力は高くても異常であれば困るわけで、アレルギーやアトピー性皮膚炎、リウマチのような自己免疫疾患は病院に行くと、ステロイド系の薬で症状を抑えます。これは免疫力を下げる方向なので、感染症にかかる率が上がったたりして良くないことも起こるので、理想を言えば免疫力を正常な方向に向けることです。その方法を紹介します。

1. アレルギー症状の軽減法

アレルギーには4つの型があり、I型・花粉症、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、アナフィラキシーショック等で、主にこちらのお話になります。II型とIII型は自己免疫性疾患（自己抗体）と呼ばれるもので、II型は主に溶血性貧血等、III型はリウマチ、小児性糖尿病を始めとする様々な自己免疫性疾患、IV型は臓器移植後に起こる拒絶反応ですので、今日はお話ししません。

アレルギーの起こる仕組みは、肥満細胞にY型のものが一杯突き刺さっておりませんが、これが「IgE抗体」でここに花粉だとかダニだとかのアレルゲンになるものが飛んでくるとくっついて、その刺激が肥満細胞の内部に伝わって爆発します。内部から飛び散ったものの一つがヒスタミンでこれではアレルギー炎症が起こり、もう一つがロイコトリエンでこれはヒスタミンの千倍くらい炎症を起こす力があり、血管や気管支を強く収縮させます。炎症が進むと「アラキドン酸カスケード」の反応が起こり、炎症がさらに進みます。リノール酸や砂糖の多い食事

をしていると、アラキドン酸カスケードの炎症が起こりやすくなります。

アラキドン酸カスケードを抑える物質が、ルテオリンやビタミンCで、これらを摂るとヒスタミンが減少し、アレルギー症状が軽減します。ルテオリンが沢山含まれている代表的な食品が、シソの実エキスで、ヒスタミン遊離抑制作用があります。

「紅花油・大豆油・コーン油・ヒマワリ油・綿実油・菜種油・パーム油・ゴマ油・グレープシード油」等に入っているリノール酸が過剰になると、細胞膜リン脂質からプロスタグランジンができて痛みを増強し、ロイコトリエンは炎症を悪化し、気管支喘息や鼻づまりが起こります。

シソの実エキスは①ヒスタミンの遊離抑制作用②ロイコトリエンの生成抑制作用③炎症性サイトカインの抑制作用があり、シソ油（ α リノレン酸）はアラキドン酸カスケードの抑制作用があります。

自社ブランドの「シソの実エキス α 」はシソの実エキス100mg、乳酸菌66・6mg、小麦発酵抽出物（LPSを含む）40mgを成分とし

ています。

2. アレルギー体質の改善法

IgE・自己抗体を減らすことでアレルギー体質を改善します。

（1）衛生仮説

血液は血球と血漿に分けられ、血球は赤血球、白血球、血小板に分けられます。1mm立方の血液中に四、五百万個の赤血球と四、五千個の白血球、15〜20万個の血小板があります。免疫はその中の白血球のお話です。

白血球は単球と顆粒球とリンパ球があります。単球はマクロファージや樹状細胞等に分化し、顆粒球は好中球、好酸球、好塩基球があり、リンパ球はNK（ナチュラルキラー）細胞、T細胞、B細胞があります。T細胞は、キラーT細胞（異物に侵入して毒を注入して溶かす）とヘルパーT細胞（免疫の司令役）に分かれます。

免疫には「自然免疫」と「獲得免疫」の2つがあります。自然免疫には好中球、マクロファージ、樹状細胞、NK細胞が異物をまず食べる役割と、マクロファージと樹状細胞はヘルパーT細胞にこんな異物が入っていると抗原を提示します。

そうするとヘルパーT細胞はこれが大変だということで、一部はキラーT細胞に変身して異物を攻撃し、またB細胞にもっと抗体(抗原専用のミサイル)を作れと指令します。

したがって、最初的好中球、マクロファージ、樹状細胞、NK細胞を元氣よくさせると、免疫力が強くなります。

ヘルパーT細胞は「Th1」「Th2」になつたりしますが「Th1」が細菌に対応し、「Th2」が吸血ダニ・寄生虫・花粉・ハウスダストに対応します。「Th2」が増えるとアレルギー体質になります。最近「Treg」、「Th17」が発見され、「Treg」は免疫の制御役であり、「Th17」はガンに対応するヘルパーT細胞です。

LPS(リポポリサッカライド)に触れる機会が少ないと花粉症の発症率が高くなり、LPSに触れる機会が多いと花粉症の発症率は低くなります。

LPS(リポポリサッカライド)は、グラム陰性菌細胞壁外膜の構成成分であつて、脂質及び多糖から構成される物質(糖脂質)です。グラム陰性菌を体内に入れるので

はなくて、その表皮成分だけを体に入れると、免疫系は菌が入ってきたと勘違いして、「Th1」の方が優性となり、アレルギー体質が改善されます。その仕組みはLPSがマクロファージの受容体(TLR4)に付いて、マクロファージを活性化させ、アレルギー体質を改善させます。

「リーキー・ガット(=漏れやすい腸)」

本来は、タンパク質↓ペプチド↓アミノ酸の順で消化吸収されますが、「リーキー・ガット」の人は、ペプチドの状態で吸収されるので、異種タンパク質が体内に入ってしまうのが問題です。これによりIgE・自己抗体を作る原因になります。食べ物アレルギーはこれでしか説明がつかないです。ではなぜ「リーキー・ガット」になるのか？

一つの原因は薬です。「NSAIDs(非ステロイドの痛み止め)・抗生物質・経口避妊薬・長期点滴」等です。もう一つは食物です。「砂糖・牛乳・冷食・サボニン・レクチン・グルテン・タンニン・タウマチン様物質・カプサイシン・ア

ルコール」等です。また「外傷・熱傷・尻餅・ムチウチ・激しい運動」等も「リーキー・ガット」になります。

「リーキー・ガット」の修復法は、乳酸菌と野菜↓植物繊維(水溶性・不溶性)↓2・1)を沢山摂ることが重要です。こんにゃくとか海藻が水溶性です。

「Treg」&「TNF」活性化

「化学物質・重金属・ウイルス・異種タンパク」により、マクロファージが大量のサイトカインを分泌し、ヘルパーT細胞が暴走、自己抗体を作らせて、自己免疫性疾患を起こします。

それを防ぐためには、ビタミンDが「Treg」を活性化し、免疫系の暴走を抑制します。ビタミンDはUVB(紫外線のB波)が皮膚に当たること、ビタミンDの前駆体を作られます。

LPSは「TNF」をα活性化(胎児炎症)し、細胞障害性T細胞を死滅させ、腫瘍細胞も壊死します。

以上、アレルギー体質の改善には、サプリメント等で、一日についてビタミンCを4〜6g、ビタ

ミンDを4000IU、LPSは400〜800μg摂取し、乳酸菌や食物繊維も摂ることです。

3. アトピック・スキンの改善法
(1) 過剰入浴&石鹸&精油を避ける

石鹸等に含まれる界面活性剤は、皮脂膜を薄弱化し、皮膚常在菌を減少させ、皮膚を乾燥させるので、歳をとるほど皮膚膜の回復の遅くなることから、入浴は減らす方がよい。

(2) オイルマッサージでときどきホホバオイルを身体に塗り、LPS配合保湿クリームや高酸化水ゲルで保湿力をアップして、美肌を保ちます。

(質疑応答)

・シソ油とエゴマ油は同じものですか。

・洗髪に関してはシャンプーしていいですが、界面活性剤がないものなど、品質の良いものを使ってください。

・肉は食べていいですが、野菜と一緒に食べて、バランスをとるようにしてください。



第三百八十八回関西日本 サイ科学会研究集会報告

気で読みとる鬱積感情、 霊障とその治療

講師 橋本 和哉氏

とき 平成26年5月17日
ところ 大阪科学技術センター

講師プロフィール

祖母が霊能者で不思議体験をする家系に育った。大阪大学医学部大学院卒業後、気功、オリンピックテスト、ダウジング、催眠を学ぶ。病院勤務後開業。「はしもと内科外科クリニック」NPO「癒しと健康ネットワーク」理事長、「医療ヨガ」指導、「気当て診断法」「天賜気功」を開発し応用する。医学博士、神経学会・東洋医学会専門医・内科学会認定医・温泉療法医・アロマアドバイザー。講演、雑誌掲載多数。テレビ出演、スピリチュアルTVにも出演。著書、「治りにくい病気が治る、DVDブック」(マキノ出版)「健康と若さを取り戻す医療ヨガ」(春秋社)霊障に関する

本を近々出版予定(創芸社)

講座会場では、蓄積感情、人から受けた感情、トラウマ、霊障を気エネルギーとして捉え診断するだけでなく、目の前で、しかも即効でその症状を改善させるなどの実演を、前に出て来てくださった方のおかげでデモンストレーションすることができました。また詰め詰め席で、最初は立ち見までであったのに頑張って聞いてくださった参加者に、先ずは心から感謝の気持ちをお伝えいたします。

講演内容は以下のような流れでした。

1. 気の感知練習をした上で、気当ての診断法の紹介と実習
2. 鬱積感情、トラウマ、人から受けた感情エネルギーの解説
3. 気当て診断で鬱積感情、トラウマ、人から受けた感情エネルギーをチェックする。
4. 鬱積感情、トラウマ、人から受けた感情エネルギーを数分という短時間で改善させる実演
5. 霊と霊障の解説
6. 霊障を気当て診断でチェックする。

7. 霊障を浄霊する実演
8. 霊障の予防、人と家に関して
9. 亡くなった人の霊以外の憑依
10. 霊界の階層
11. 先祖供養
12. 憑依体質を改善するには
13. 質疑応答も活発に30分ほど行われました。

気当て診断法を体感してもらう前に、最初は気の流れを良くし、気の感知練習から始めました。クリニックで行っている医療ヨガをベースとした動きを行ってもらいました。医療ヨガは伝統的なヨガの動きを患者さんや動きの悪い人にもできるようにアレンジした動きですが、3つの目的のために動きます。1つ目は、動脈を末梢までしっかりと流す。2つ目は、鬱滞している静脈、リンパ液を戻す。3つ目は、歪んだ脊髄を矯正する。

一回の医療ヨガをするだけで外気功と気の感知が8割の人ができるようにになります。医療ヨガの動きで特に上半身と手の動きを参加者に行い、気を流す練習をしました。指先の先端は気のルートである経絡がターンするところなので、特にしっかりと動かす必要があります。

す。肩、胸背も日常的にあまり動かしておらず、気の滞りができやすいところなので、そこを特にしっかりと動かします。気エネルギー入り音楽CDを聞いてもらい、気功が一段とできるのも体感してもらいました。

気の感知練習と外気功ができるようになったら次は気当て診断法の練習です。気当て診断法では、検索したいあるものを意識して手指に気を集め、対象物に当てます。対象物に意識したものがあれば共鳴して気が当たり(共鳴)、それによって対象物に何があるかを知ります。参加された方の大半が気当て診断法が出来、自分の臓器などに気を当てて共鳴反応を取る練習をしました。

次は感情の話です。ときどきに湧き上がる感情を発散させずにいると身体に蓄積されます。

怒りや悲しみは特に蓄積されやすい感情です。胸に悲しみ、腰に怒りの感情が蓄積されやすい傾向にあります。気当て診断法を用いると蓄積感情、人から受けた感情がどこにどれくらい広がりをもち存在するかがわかります。そ

れぞれ蓄積感情、人から受けた感情と思いがけながら気を当てます。気が当たるところが、その感情のあつるところです。その感情を気当て診断で、どこにどれくらいどの範囲であるかをチェックし、そのエネルギーを消すレメディーや漢方薬をうまく選ぶと数分で蓄積感情エネルギーは消えて、症状も改善します。

デモンストレーションでは希望者に前に出て来てもらいました。胸のあたりが詰まると訴えるなどの感情蓄積の方は、その感情エネルギーを消す漢方薬を気当てで選び、飲んでもらったところ、2分程度で改善しました。

人から受けた感情は強いものはいわゆる生き霊と呼ばれるもので、人が怒りや妬みなどの宜しくない感情だけでなく、頼るや好きといった感情であっても、それが強い場合は、人に付いて悪影響を与えます。そうした人から受けた感情は最初、受けた人の周辺のオーラ層にありますが、次第に身体内に入り込んでいきます。

デモンストレーションに出て来られた方は、肩こりなどが強かつ

たのですが、気当て診断で人からの感情がどこにあるかチェックし、その感情を消すアスプレーを撒いたところ数秒で改善しました。さらに身体に深く入り込んだ人から受けた感情には、気入りオイルを塗り、1分程で改善しました。



トラウマに関して該当者は会場にはおらず、デモンストレーションなしで解説だけにとどまりました。トラウマのケースでも気当て診断でその感情の存在をチェックし、的確にレメディーや漢方薬を使うと3分程度で改善します。

さらに症例紹介では、電車に乗ると動悸が激しくなるパニック障害やかけた鍵を何度も見に行く脅

迫神経症のケースでも、その気エネルギーをチェックし、適格なレメディーや漢方薬を気当て診断で選ぶと数分で改善した例を報告しました。

第2部は霊障の講義です。霊障の講義が始まる前に、憑依されやすい人には、予防のためキラキラしたメタルテープを配り身に付けるよう指導しました。

成仏していかない霊が憑依すると良くないことが起こりますが、それを霊障と言います。霊障があるかどうかも気当て診断法でチェックします。不成仏霊と意識して気を当て、気が当たるところにそれが居ると判定します。ただし霊的プロテクトなしにこの診断をするとは憑依霊の影響や憑依を受けて危険です。もっともお勧めしているプロテクトが、橋本が選んだアイヌの帯です。

浄霊法はアマテラスオオミカミなど高次元の神様のエネルギーを天から降ろして霊が上がる道を作り、彷徨う霊を気で癒すと浄霊できます。これは一種の気エネルギーワークです。徐霊は霊を払うことですが、これでは霊は成仏でき

ず空間に浮遊するだけなので、再度憑依を受けます。

デモンストレーションで出て来られた方の情報を人型に入れ、浄霊する気を入れたホログラムシートに乗せて遠隔浄霊したところ、20分ほどで浄霊が終わりました。その方は浄霊後、歩行に杖が要らなくなつたと感激されていました。霊障予防は再発を抑える意味で大切です。

自身の霊障プロテクトでもっともお勧めするのはアイヌの帯です。家に不成仏霊がいると、いくら本人の浄霊をしても、すぐに再発します。家に居る霊は家の間取り図で気当て診断法で遠隔チェックします。住んでいる家に憑依霊が居る場合、浄霊スプレーを家に居る霊に吹き付けてもらいます。それほどほとんど一瞬で浄霊されます。家の外から浮遊霊が入って来ているケースでは、入ってくる方向にシーサーや鏡を用いてブロックしてもらいます。

憑依体質を改善させる方法は、プロテクトを付ける以外に、霊に意識を合わせないことです。霊障体験がトラウマになっている方は、なかなかその恐れから逃れにくい

ので、無意識のうちに不成仏霊に意識を合わせてしまいがちです。まずはそのトラウマエネルギーを消すことが大切です。

先祖供養は、霊を癒す点で浄霊と似ています。不成仏のご先祖さまを呼び出すと霊障を起こすことがあるので、その場合はご先祖さまを浄霊する必要があります。また、その霊の悪影響を受けないようにするには、霊が身体に入らないように、札を立てた1か所に集まるように誘導します。すでに成仏して霊界に居る霊に対しては、さらに上界から降ろした気エネルギーをその霊に入れて、霊がさらに上層階に上がるよう誘導します。

亡くなった人の霊以外には妖怪、悪魔、動物霊の紹介をしました。悪魔の経験は2例でコメント困難です。動物霊は偶然に憑依されがちで、憑依されると妙な顔つきになります。妖怪は漫画や物語の空想世界のものと思っていました。浄霊しても改善しない人に気当て診断で見つけました。人の霊と違い人間的な感情はなく、妖怪退治のエネルギーやお札を使っても逃

げるのが素早く、ホログラムシートで対処しないと対策は困難です。(記録は橋本氏)

☆ ☆

橋本氏は地元関西でクリニックを開業。参加者なじみの関西弁で軽妙に笑いを誘いながら、独自に開発されたという気当て診断法などを分かりやすく説明されました。参加者も気の世界を身近に感じた一日でした。

「はしもと内科外科クリニック」の連絡先 TEL 06(6382)2110。

当日の参加者は会員18名、非会員60名合計78名でした。今回のカセットテープはありません。(関西日本サイ科学会会長 河野明夫)

本部例会ビデオ映像販売のお知らせ

ハイビジョン映像・音声ファイル(約3時間)を記録したUSBメモリでお送りしますので、ほとんどのデスクトップあるいはノート型のウインドウズ・パソコンで見ることができます。
価格 1本につき 三五〇〇円 (送料含む)

以下12本のビデオ映像から、御注文願います。

- ◎2013年4月本部例会
講師 大野百合子氏
「宇宙図書館(アカシックレコード)から見た世界の仕組みと私たち―あなたは誰なのか―」
- ◎2013年5月本部例会
講師 浪平博人氏
「イメージによる瞬間教育」
- ◎2013年6月本部例会
講師 松原秀樹氏
「アレルギーを治す秘訣」
- ◎2013年7月本部例会
講師 酒向猛氏
「千鳥学説を知るために」
- ◎2013年9月本部例会
講師 奥野節子氏
「ブラジルの奇跡のヒーロー ジョン・オブ・ゴッド」
- ◎2013年10月第23回全国大会
シンポジウムテーマ
「サイと自然治癒力」
- ◎2013年11月本部例会
講師 小久保秀之氏
「生体センサによるサイ研究―超能力研究の最前線」
- ◎2014年1月本部例会
講師 小川博章氏
「魂の発見」
- ◎2014年4月本部例会
講師 西川真知子氏
「生命の智慧 アーユルヴェーダ―アーユルヴェーダから見る生命のすばらしさ―」
- ◎2014年5月本部例会
講師 岩根和郎氏
「般若心経とサイ科学」
- ◎2014年6月本部例会
講師 秦西平氏
「気超科学と宇宙生命哲学 新病気学」
- ◎2014年7月本部例会
講師 小林信正氏
「ラップ現象の究明―オーブとの関連性について―」



メールまたはFAXで左記に掲載のメールアドレス(またはFAX番号)に、「2010年〇月〇〇氏ビデオ購入希望」と記して、郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、御注文願います。2週間以内に発送致します。

E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp
FAX 047-330-4091

お支払いは、到着後同封の郵便振替用紙で8日以内にお振り込みいただければ、結構です。



◎サトルエネルギー学会
秋の大会のお知らせ
(日本サイ科学会協賛)

秋の大会テーマ

ココロもカラダもイキイキ・ワクワク
くヤマトのタマシイを蘇らせるサトルエネルギー

日時 平成26年10月26日(日)

9:45 ホール開場

10:20 開演

講演・実演者

井上恒弘、船瀬俊介、飯島敬一、
クリスタリスト麻実、長堀優、
帯津良一

17:30~18:00 パネルディスカ

ッション パネラー参加講師陣
司会・池本敬子

19時より懇親会

会場 (財)修養団SYDホール
料金 前売りチケット

サイ科学会会員 六千円
一般予約 七千円

【振込先】お申込みと同時に左記宛お振込み下さい。ご入金確認後チケットを送付します。

郵便振替振込先

口座番号 00170-1-196569

加入者名 サトルエネルギー学会
申込受付 協賛会員 9月10日
一般 9月20日

お問合せ サトルエネルギー学会

電話 03-5730-6450

E-mail information@subtle-eng.com
URL <http://www.subtle-eng.com/>

大会運営委員長 井上 恒弘



《本部月例会・全国大会講演録の販売》

本部月例会・全国大会のICレコーダーによる録音の音声ファイル(拡張子wma)なので、聞くためには「CD、DVDプレーヤー」の付いたウインドウズ・パソコンが必要になります。

以下のリストから興味のある講演、今一度聞いてみたいものを御注文願います。講演時間は平均3時間前後で質疑応答等も含まれます。マイクからの直接録音ではなく、やはり会場のスピーカー音の録音ですので、完璧な鮮明さではありませんが、もちろん内容は普通に聞き取れます。当日放映されたビデオやOHP等で紹介された図や写真は付いておりません。

講演録の代金は1回分2,000円(送料等含む)です。お送りするのは講演録の入った「CD-R」で1枚につき6、7回分が入ります。(一部のノートパソコンを除いて、大抵のウインドウズ・パソコンには、「CD-Rファイル」が読めるプレーヤーがついております。)

※御注文は郵便局にある「郵便振替用紙」の通信欄にご希望の講演録の『年/月 講師名』と金額(1回分2,000円)を記入し、郵便振替口座 00100-2-15344 加入者名 日本サイ科学会にお振込願います。

あるいは、メールで先に事務局 office21@psij.mail-box.ne.jp に注文されても結構です。

- 2010/ 7/10 木下次男氏「福島県飯野町『千貫森謎空間』補足：UFO学について」
- 2010/ 9/11 感じられる“サイ”ー3種類のサイデバイス・ソフト体験会ー
- 2010/10/10 第21回全国大会 シンポジウムテーマ「2012年間題とサイ」
- 2010/11/14 秋山真人氏「夢診断と未来予測」
- 2010/12/12 宇治橋泰志氏「新たな予防医学を目指して」
- 2011/ 1/ 8 新年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会
- 2011/ 2/12 石川和孝氏「世紀末的神示と予言の陰陽道的思考」
- 2011/ 5/14 赤松瞳氏「最新脳科学と透視能力」
- 2011/ 6/12 井出治氏「未知エネルギーの研究とチャネリング」
- 2011/ 7/18 古村豊治氏「なぜあなたに大きな奇蹟が起こらないのか?」
- 2011/ 9/10 鈴木俊輔氏「3・11新文明の幕開け～日本人の使命～」
- 2011/10/ 9 創立35周年記念大会シンポジウムテーマ「パワースポット」
- 2011/11/12 小林信正氏「心霊現象について」
- 2011/12/10 忘年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会
- 2012/ 1/14 ミッツィ植田氏「縄文スピリットでサバイバル」
- 2012/ 2/11 小林正典氏「サイ科学に関係した電気・磁気の研究の紹介」
- 2012/ 4/14 ロン薄葉氏「オーブ現象とこれまでの歩み」
川崎利男氏「オーブ観察7年間その傾向と残された課題」
- 2012/ 5/12 徳永康夫氏「命とソマチットと般若心経の探検」
- 2012/ 6/10 松永修岳氏「密教開運術「強運の成長戦略提言～氣を高めれば運はやってくる～」」
- 2012/ 7/14 中島敏樹氏「水と珪素の集団リズム力」
- 2012/ 9/ 8 ホンマシュウジ氏「未曾有の天災・人災を目の当たりにして、サイ科学は何が
できるのか!？」
- 2012/10/14 第22回全国大会 シンポジウムテーマ「コンタクト」
- 2012/11/10 藤森博明氏「気(生命エネルギー)の实在と能力」
- 2013/ 1/12 志賀一雅氏「 α 波のコヒーレンシーについて」
- 2013/ 2/ 9 宇治橋泰志氏「疾病を根本から改善する新治療法を求めて」
- 2013/ 4/13 大野百合子氏「宇宙図書館(アカシクレコード)から見た世界の仕組みと私たち
ーあなたは誰なのかー」
- 2013/ 5/11 浪平博人氏「イメージによる瞬間教育」
- 2013/ 6/ 9 松原秀樹氏「アレルギーを治す秘訣」
- 2013/ 7/13 酒向猛氏「千島学説を知るために」
- 2013/ 9/14 奥野節子氏「ブラジルの奇跡のヒーラー ジョン・オブ・ゴッド」
- 2013/10/13 第23回全国大会 シンポジウムテーマ「サイと自然治癒力」
- 2013/11/ 9 小久保秀之氏「生体センサによるサイ研究ー超能力研究の最前線」
- 2014/ 1/11 小川博章氏「魂の発見」
- 2014/ 4/12 西川真知子氏「生命の智恵 アーユルヴェーダ ーアーユルヴェーダから見る
生命のすばらしさー」
- 2014/ 5/10 岩根和郎氏「般若心経とサイ科学」
- 2014/ 6/ 8 秦西平氏「気超科学と宇宙生命哲学 新病気学」
- 2014/ 7/12 小林信正氏「ラップ現象の究明～オーブとの関連性について～」

故 関英男先生のサイ関係 (+ α) の主要な御著書 (在庫のあるもの)

	定価	送料
加速教育法 (1990: 加速学園出版部)	2,100 円	(300 円)
加速学習法 (1995: 加速学園出版部)	2,550 円	(200 円)
サイ科学の全貌 (1991: 工作舎)	1,995 円	(200 円)
グラビトニックス (2000: 加速学園出版部)	1,000 円	(160 円)
念波 (1990: 加速学園出版部)	800 円	(160 円)
CD: 生命と宇宙 [講演録 72 分] (1998: 船井メディア)	3,000 円	(160 円)
電気磁気学 [加速教育用] (1983: 加速学園出版部)	1,340 円	(160 円)
謎のオズマ計画 - UFO との関連 - (1976: USL)	190 円	(80 円)
FIVE DIMENSIONAL WORLD (1974: 英語版)	1,000 円	(160 円)

※「深宇宙探訪記」は大幅に値下げしました。

以下オスカー・マゴッチ著、関英男先生監修

深宇宙探訪記 (上) (1991: 加速学園出版部)	1,000 円	(200 円)
深宇宙探訪記 (中) (1992: 加速学園出版部)	1,000 円	(200 円)
深宇宙探訪記 (下) (1992: 加速学園出版部)	1,000 円	(200 円)
VHS ビデオ: オスカー・マゴッチ氏の講演 (2h40m)	3,000 円	(200 円)
VHS ビデオ: ティモシー・ワイリー氏の講演 (2h45m)	3,000 円	(200 円)

※ビデオは日本語逐次通訳付きです。

お問合せ、御注文は先に下記の E-mail、または FAX 宛にお願い致します。

その際、書籍名と送り先の郵便番号、住所、氏名、電話番号もご記入願います。

ご返事で送料を含めた代金やお振り込み方法等のご連絡を致します。

※正式な御注文から 2 週間以内に発送致します。

※1 種類で沢山の部数を御注文の場合は、事前に在庫を下記の E-mail または FAX、電話で確認して頂いてから、お願い致します。

※以上の書籍は今後増刷がありませんので、在庫が無くなりましたら、ご容赦願います。

< お問い合わせ >

日本サイ科学会事務局 〒 271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町 41-506

TEL 047-347-3546 FAX 047-330-4091

E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

(2) スプレー噴霧放射

「ハンド・スプレー」を用いて水滴(キリ、噴霧)を放射すると、キリが消える頃に、オーブが写りやすい(川崎利男)ので、オーブ撮影には、ハンド・スプレーを用いて水滴(キリ、噴霧)を放射した。撮影には画素数の少ないニコンE-2200(220万画素数)。2014年4月27日(日)、晴れ、ハンド・スプレー噴霧水。フラッシュ光ON。一例のNo,1774を見る。図の右上にはスプレーが写されており、中央上部にスプレー水によるモヤ(キリ)があり、そのすぐ下(図の中央)に、デコボコ状の小粒の集合を伴った中径のオーブが写されている。一例としての、ほぼ同一構図のNo,1777には、中央キリ(モヤ)の上部に、中径で、上記とほぼ同一模様のオーブが写されている。他には、約10個の小粒オーブ(同一模様)がある。これらを見ると、スプレー水によるキリ(モヤ)は極小粒であり、また円内に模様が無い。さらにオーブの出現には、素粒子の性質(非局所性、ランダム性等)が色濃く表れている。これらから、オーブは水滴ではないと言えよう。

5. 近赤外線燈照射

オーブ(たまゆら)は近赤外線領域に潜んでいるので肉眼には見えない(活性化エネルギー、約 1.4eV)。そこで近赤外線ランプを照射して、その効果と意味合いを調べる。なお、オーブの出現には、近赤外線の与え方が重要と思えるので、フラッシュ的(衝撃的)か、またはランプ照明的かを調べる必要があると思えるので、この点に注意して検討する。場所は福島市実験室西側空き地。「晴れ」で「夜間」にテストを実施した。

(1) 画素数の多いカメラ

カシオ・カメラ(1610万画素)を用いた。福島市実験室西側空き地。「晴れ」で「夜間」にテストを実施した。2014年5月1日(木)、「フラッシュ光禁止」、「近赤外線燈継続照射」、「スプレー水有り」で、6~10秒に1枚ずつ、No,0725~0737まで、13枚続けて写真撮影した。キリ

(モヤ)は写されているが、オーブは写らなかった。そこで、さらに2014年5月4日(日)に、同一の実験を実施した。No,0738~0745迄、8枚撮影したが、やはり、キリ(モヤ)が写されており、オーブは写らなかった。つまり、単なる近赤外線燈照射下では、オーブが出現しにくいことが判った。

(2) 画素数の少ないカメラ

ニコンE-2200(220万画素数)を用いた。福島市実験室西側空き地。上記と同様に、「晴れ」で「夜間」に実施した。2014年5月7日(水)。条件として、「フラッシュ光ON」、「近赤外線燈継続照射」、「スプレー水有り」で実施した。No,1892~1906迄、6~10秒毎に撮影した。テストした全数の15枚には、キリ(モヤ)が写されている。その中でオーブが写ったのはNo,1990の1枚のみであった。つまり「フラッシュ光ON」でも、「近赤外線燈照射」があると、オーブは写りにくいことが判った。つまり、「近赤外線燈照射」はオーブ出現の抑止に働くと考えることが出来よう。つぎに、念のために「近赤外線燈禁止」、「フラッシュ光ON」、「スプレー水有り」で同一の撮影を試みたところ、No,1889~1891が得られた。3枚とも、キリ(モヤ)とオーブが写っている。

6. 検討並びに考察

結果の大略をみることにした。出現の確率などをもとにして、近赤外線光、水分、歓心がオーブの出現に与える影響を調べた。(1) どうも、歓心の高さが出現に大きく影響しているらしい。(2) つぎに影響するのは、フラッシュ光である。注意すべきは、近赤外線燈照明などのように継続して照らし続けるものは、むしろ、出現阻止に働く傾向がある。衝撃(インパクト)的な光放射がより効果的である。(3) つぎに影響するのは、空気中の水分であると、判断出来そうである。つまり、近赤外線光照射、水分等には(あまり)関係なく、歓心の高さによってオーブが写し出される傾向がある、と考えられる。

(2) 上海博物館室内。

2014年6月15日(日)、晴れ、昼間の10:00～14:00。フラッシュ(ストロボ)撮影。カメラは2種類。オート撮影。テストした48枚中の32枚にオーブが撮影出来た。多過ぎる感じもあるが、結果の一例を写真No,2036に示した。電灯光照明の落ち着いた展示室内の画面のほぼ中央に中程度の直径の1個の明確なオーブ(たまゆら)が出現している。博物館は料金無料で開放されており、特に日曜日は、親子連れが多く、心を楽しくする場所である。

(3) 上海市の南京東路

上と同一条件であるが、夜間の20:00～21:00の撮影。13枚中11枚にオーブ出現。これも多過ぎる感じがする。一例を写真No,1959に示す。地下鉄の人民公園駅東側の南京東路は歩行者天国として開放されている。夜になると、繁華街の象徴としての多数のネオンが輝き、人混みをかき分けて歩む程の賑わいがあり、多くの市民の楽しみや憩いの場所として存在している。写真には、道路上の賑わいを反映したかのように、夜空に、非局所的に、多くの大小様々なオーブ(たまゆら)が、写し出されている。

(4) 上海市の静安寺堂内。

上の(2)と同一条件で、10枚中5枚にオーブ出現(多過ぎる感じ)。結果の一例を写真No,2078に示す。これは大雄宝殿(大仏殿)の地下室に設置してある金色諸仏を写したもので、蛍光灯や電灯光等によって照明されている。堂内の天井に張られた茶色幕の上方に、大直径1個、中直径2個のオーブが、ほんやりと、写されている。撮影時の堂内は閑散としていた。どうやら、散会後の人々の居ない会場の様子であった。同時に撮影された別の雰囲気の一例として、No,2074を示す。大雄宝殿内の一階には、本尊(大仏)が設置されている(薄暗い)基壇上の高い天井付近(中央)に、明瞭な1個のオーブ(たまゆら)が出現し、写し出されている。

3. 薄暗い夜空を写す

オーブ像撮影時の通常の方法。つまり、電離していると思われる薄暗い夜空に向けて、「フラッシュ光ON」で撮影する場合である。画素数と性能の異なる4台のカメラを用いて、場所と時間を様々に変えて撮影し、多数のオーブ(たまゆら)を得ている。写されたオーブはほぼ円形であり、輪郭はほぼ明瞭、内側にはマンダラ模様、唐鏡状、または非対称の干涉縞模様を持ち、外側に向けて放射状の短いハイロー(halo)を持ったオーブ(たまゆら)が写されている。しかし、全体としては、「ぼけ状写真」である。

4. 水滴とオーブは異なる

オーブ(たまゆら)は小雨の降り始めに写りやすいことが知られている。そこで、小雨の降り始め時と、晴れでスプレー水(水滴、キリ)放射時、の実験を行う。

(1) 小雨の降り始め

画素数の多いカシオZ-2000(1610万画素数)を用いた。測定は2014年3月5日(水)、夜、小雨の降り始め時。強制発光(フラッシュ光ON)。一例としてのNo,0569をみる。図の右よりの屋根(背景)の上到一个(中径)の白色発光状オーブが写っている。円内には小粒がデコボコと混在するような模様があり、円外には放射状の短いハイロー(halo)がある。他に写っているのは雨滴(小粒状)である。一例としてのNo,0575には、図の右側より、下方の電灯光(ライト)の上方に一個(中径)の白色発光状オーブがある。多少イビツな円形状で、上記とほぼ同一な模様であるが、唐の鏡状かな、とも思われる模様を持っている。その他として、小粒の雨滴もあるが、中には前幕シンクロ像(上に尾を引く)を持つものもある。これらから判断出来ることは、雨滴は極小粒状(キリ、モヤ状)であり、オーブは中・大直径(粒)で内部に模様を持つので、雨滴とオーブは別であると言えよう。



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

近赤外線光、水分、歓心がオーブの出現に与える影響

佐々木 茂美

電離した空気中からオーブ(たまゆら)を形成・出現させるための機構を究明するための実験・撮影は、あまり見掛けないので、前報と本稿で検討して、初歩的な考察を試みることにした。

1. 実験・撮影条件

デジタル・カメラの画素数(CCD)の少ないカメラは、オーブの撮影には便利である(写りやすい)が、オーブ円内の模様(マンダラ状、表情)の判断には適さない。画素数の多いカメラは、写りにくいだが円内の模様(表情)を知るためには便利である。本稿では、画素数の少ないデジカメとしてニコンE-2200(220万画素数)、多いカメラとしてカシオEX-Z-2000(1610万画素数)を用いる。撮影条件は、露出モードをオート撮影(P)に合わせる。これは絞りとシャッターの組み合わせをカメラが自動的に選定して撮影する方式である。室外の撮影時間は、夜間の20:00~21:30の間。撮影場所は、中国の上海市(道路上、博物館内、寺院内)と香港市の寺院内、日本の福島市の実験室の西側空地と南側の道路上、その他。撮影は、つぎの諸項目を組み合わせる。ストロボ光(フラッシュ光)禁止、ストロボ強制発光(フラッシュ光ON、色温度約6000度K)、近赤外線電灯(TOKI赤外線家畜用電球100V-185W、色温度約3300度K)照射時、その他ろうそく等。天候は晴れ、小雨の降り始め時、晴天時に室外でスプレー水(キリ、噴霧)を放射したとき。

2. 室内と道路上で照明光がある場合

オーブ(たまゆら)は、室内(雨が降らない)で照明光が存在していても、背景が暗いと、撮影されやすい(写されやすい)。特に、心を楽しむ場面(生命力向上、歓心、願い)に出現する機会が多いという。しかし、日本の社寺や博物館等の室内では、フラッシュ撮影が許可されていない。他方、中国では博物館や寺院等の室内のフラッシュ撮影が許可されている場合が多い。そこで、撮影場所を中国に選んで撮影・実験を行うことにした。

(1) 中国の香港島(室内)

文武廟とその近くの大観音堂、百性廟、水月観音堂内。2012年12月27日(木)、小雨、昼間の11:00~16:00。フラッシュ(ストロボ)撮影。カメラは2種類使用。オート撮影。テストした101枚の中の29枚にオーブが撮影出来ている。結果の一例を写真No.1555に示す。文武廟内部の画面上に1個の中程度直径のオーブ(たまゆら)、その他(小径)、が写っている。本堂内には蛍光灯、電灯光、赤提灯(ろうそく)、灯明、たき火(おふだ)、線香等の煙などがあり、様々な赤色系の原色光が混ざり合い、祈りの場としての荘厳な雰囲気醸成している。当然ながら堂内の空気中には水滴(キリ)などは無く、照明はいろいろで様々であるが、それにも関わらず明瞭なオーブが写し出されている。



サイジャーナル

月刊
26-11・12
第418号

日本サイ科学会 平成 26 年 11 月 1 日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	中 部 〒466-0051 名古屋市昭和区 御器所3-4-21 眞 野 博 英 ☎・FAX 052 (871) 9060	北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	関 西 〒659-0011 芦屋市六龜町9-39 (事務局) 木村のり子 河 野 明 夫 ☎・FAX 0797 (22) 6425	九 州 〒851-2122 長崎県西彼杵郡 長与町本川内16-6 森 安 政 仁 ☎ 095 (883) 6048・FAX 095 (883) 6159
---	---	--	--	---

十一月本部例会のお知らせ

日本人は知らない！縄文日本の驚くべき真実

講師 坂井 洋一氏

日本は現存する世界最古の立憲君主国だ。であれば、日本語はかなり古い言葉であるはず。でも、現状の日本史では、漢字が入ってくる前まで日本には文字も言葉もなかったことになっている。ところが、比較言語学が進化し、縄文時代のもと思われる岩刻文字（ペトログラフィ）や縄文土器に文字が彫り込まれているのが発見された！しかもそれらの文字は古代中近東の文字だ。これは何を意味するの？

6000年前、文字や言葉をもっていたシュメール人たちは一万キロの旅をして縄文日本にやってきたのか？ かたや、明治に公表された古史「竹内文書」や昭和に発見された古史「ホツマツタエ」は、縄文日本に宇宙的な文明があったことを伝える。超古代の世界は、我々の想像をはるかに超える宇宙

文明の時代だった!!

※7月21日の宇宙生命研究分科会で、第8回 UFO・ORB賞に選ばれました坂井洋一氏に、じっくり時間をかけてお話しいただく貴重な機会ですので、皆様もご友人、知人をお誘いして、是非ご参加願います。

●坂井洋一氏のプロフィール

1953年9月26日茨城県日立市生まれ。慶応大学経済学部卒。映画プロデューサー/バイヤー。作詞作曲家。古代秘史ハンター。日本と世界の文化の架け橋となることをミッションとし、世界の空手ファン向けに本格的空手映画「黒帯」及び「ハイキック・ガール！」を作り好評を得る。

作詞作曲家としては日本を代表するヒットメーカー小田裕一郎氏に師事。近年、日本の隠された歴史に興味を持ち、比較言語学をベースに古代日本と古代世界の驚くべき繋がりを明快に解く。

日時 平成26年11日8日(土)

午後1時半〜5時

会場 北とぴあ7階第一研修室

交通 J R 京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

今月号の記事

◎十一月本部例会のお知らせ

◎御寄付御礼

◎九州サイ科学会十一月例会予告

◎関西サイ科学会十一月例会予告

◎スピリチュアル研究分科会発足のお知らせ

◎第23回宇宙生命研究分科会予告

◎関西サイ科学会十二月忘年会のお知らせ

◎十二月本部懇談会のお知らせ

◎一月本部例会のお知らせ

◎関西サイ科学会一月例会予告

◎平成25年7月本部例会報告

◎第三八九回関西サイ科学会報告

◎本部例会ビデオ映像の販売

◎本部月例会講演録の販売

◎オーブ(たまゆら)形成・出現の意識面

◎意識による鉱石の成長

◎意識による鉱石の成長

「心を科学する博物館」と
一般の御寄付御礼
(8/4受領分まで)

金五万円也 渡邊 薫龍 様
金一万八千円也 森安 政仁 様

九州日本サイ科学会
十一月研究集会のお知らせ

心の調和についてII

講師 森安 政仁氏

日時 平成26年11月2日(日)
午後1時～4時

会場 森安商店

長崎県西彼杵郡長与町本川内郷16・6
問合せ095・883・6048

交通 JR長与駅下車徒歩20分
長崎バス 洗切小学校前
下車徒歩2分

会費 無料

※人生相談も伺います

※会員以外の方の参加も大歓迎

関西日本サイ科学会
十一月例会のお知らせ

いま脳波が面白い！ ～右脳
と左脳との脳波共鳴、人と人
との脳波共鳴で場に何かが起
きる！

講師 志賀 一雅氏

日時 平成26年11月15日(土)
午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター
六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425
関西日本サイ科学会事務局まで

★TOPICS

◎日本サイ科学会新分科会のご紹介です。(恐縮ですが、今回は既に

予約が定員に達しましたので、来年第2回の告知後に予約お申し込みをお願い致します。)

第1回スピリチュアル研究分科会

日時 平成26年11月16日(日)

午後1時半～5時

会場 北とびあ8階807会議室

(東京都北区王子1-11-1)

会費 会員 五〇〇円

一般 一〇〇〇円

今回の参加人員・24名まで

(今回は定員に達し締め切りました)

第23回宇宙生命研究分科会

第2回 異能科学会議

日時 平成26年12月7日(日)

10時～17時30分

会場 品川健康センター会議室

品川区北品川3・11・22

03・5782・8507

交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分

JR京浜東北線大井町駅

東口から東急バス「渋谷駅」

行で「新馬場駅前」下車
会費 会員 五〇〇円(日本サイ科学会・サトルエネルギー学会・太陽の会会員)

一般 一〇〇〇円

(世話人 阿久津 淳)

関西日本サイ科学会
2014年忘年の放談会

非会員の方も大歓迎です。
十二月の研究集会はお休みです。

日時 平成26年12月6日(土)

午後5時30分より

場所 山海倶楽部

06・6443・0209

※大阪市西区京町堀1・4・3

TCF肥後橋ビルB1階

※参加ご希望の方には会場案内図をFAX等でお知らせ致します。

参加費 四五〇〇円

※12月3日(水)までに、事務局
木村までお申し込み願います。

0797・22・6425

十二月本部例会のお知らせ

忘年会も兼ねた会員の体験 意見発表と討論の会

毎年恒例となっている一人の講師の講演ではなく、参加者の皆様からのUFO、超常現象、心霊現象、オーブ等サイ現象に関する目撃・体験や意見の発表、それらをテーマにした意見交換・討論等、気楽な感じで懇談会を開催致します。

今回最初にまとまって何か発表したい方一、二名に20分位ずつで口火を切って頂いて、引き続き出席者の皆様から自由に発表して頂きます。

皆様の中で、ご自分で撮った不思議な写真、ビデオ映像等をお持ちでしたら是非ご持参してください。(VHSテープやDVDビデオ等でお見せしたい方は、装置予約のため早めに事務局にお知らせ願います。)

スプーン曲げ等の念力、透視能力・予知能力などサイ能力に自信のある方、または友人、知人に能力者のいる方は是非お連れしてく

ださい。また、ご自分では気が付いていないのに、思いがけない超能力を発揮する方もおられるかもしれません。

特別講師はおりませんが、参加者の皆様の自由な発言でいつも楽しい会になりますし、終了後の懇親会も面白い話題で盛り上がりま

す。
参加費は、会員、一般とも千円です。最初にご参加願います。
※最初にまとめて発表したい方は、事務局にメール、またはFAX願います。

日時 平成26年12月13日(土)

午後1時半～5時

会場 北とびあ8階805会議室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 一〇〇〇円

一月本部例会のお知らせ

THE SOURCE CODES ソースコードは何ですか?

講師 トレイシー・アッシュ氏

この講演は、超人的な潜在能力のフロンティアと、超人的な潜在能力発揮のために、「ソースコード」を入力する技術をご紹介します。

今回は3つの面から講義します。

(1) ソースコード・フィールドにおける科学的な証拠

(2) 高い振動数の、瞑想技術と超人的な潜在能力への移行の探求。

何が結果を加速するか?

新しい人間のもつ潜在能力の卓越性は、危機的な世界的変化の解決策のために、どのように解決されるのか?

(3) サイ能力のデモンストレーションと調査

(4) 日本サイ科学会会員など参加者がソースコードを体験し、最後に「世界平和瞑想」を行います。

● トレイシー・アッシュ氏のプロフィール

世界で一万四千人以上のオピニオンリーダーに実施した「ライフ・ビジョン・コンサルテーション」はメーカーや意識の高い個人を変える。学校および療養所において三万人を超える個人のトレーニング。トレイシーは、意識のネットワーク、意識の療養所、ライフビジョンスクール、サイキックスクール、そして神聖なヒーリングの創造者です。

1999年から2015年の活動。ライフビジョン・コンサルテーション、ライフビジョンスクール、サイキックスクールが、ロンドンと東京で設立された。意識の療養所が、富士山、エジプト、ヨーロッパで開催される。シンクロニシティ・ジャパン(株)、サイキック研究の大学、生命の木フェスティバル、日本サイ科学会、マインド・ボディ・スピリット・フェスティバル、ロンドン・スピリチュアリティ・カレッジ等々におけるプレゼンター・コンサルタント。

※英国人のトレイシー・アッシュ氏は、卓越したヒーリング能力を

もち、多くの人々の意識の変容と魂の目覚めを起こしてきた、著名なサイキック指導者です。

日本サイキ学会本部例会で御講演が聴ける貴重な機会ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加願います。

日時 平成27年1月10日(土)

午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室
交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費

会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

◆ ◆
関西日本サイキ学会
一月例会のお知らせ

手相の神秘と科学
— 脳の活用で手相が変わる —

講師 高峯 秀樹氏

日時 平成27年1月17日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター
七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 靱公園内

会費

会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425
関西日本サイキ学会事務局まで

◆ ◆
平成25年7月本部例会報告

千鳥学説を知るために

講師 酒向 猛氏

(医学博士)

最初に自分の経歴をご紹介致します。

岐阜県恵那市出身。1976年

順天堂大学医学部卒業、名古屋大

学第2外科入局、1982年名古屋

大学大学院医学研究科入学、主に癌の組織培養や抗癌剤感受性試験を研究、1986年名古屋大学

院修了、岐阜県立多治見病院外科へ赴任、1988年医学博士。岐阜県立多治見病院外科部長などを経て、現在は島村トータルケアクリニック副院長をしております。

これまで、外科医として癌の手術を一五〇〇位執刀し、上の先生の助手や下の先生の指導も含めれば四〇〇〇例位の手術経験があります。抗癌剤治療や緩和治療の経験も多数あります。

趣味としては神社仏閣巡り、空手二段。腸造血説を唱える千鳥学説研究者、ゲルソン療法研究者でもあります。

千鳥喜久男博士のプロフィールをご紹介します。

1899年(明治32年)岐阜県吉城郡上宝村に生まれ、官立盛岡高等農林学校獣医学科卒業。岐阜大学農学部生物学科主任教授、千鳥学説という異端の学説を唱えた。著書論文多数。勲三等瑞宝章受章。1978年病没(79歳)。

今のところ千鳥先生の学説は異端として認められていませんが、主な医学の定説の否定をご紹介致します。

1. 血液は骨髓で造られる(↑骨髓造血説の否定)

2. 癌は突然変異が原因で細胞分裂によって増殖する(↑癌の細胞分裂説の否定)

3. 赤血球は酸素運搬のために高度に分化した終末細胞である(↑赤血球終末細胞説の否定)

4. ウイルス・細菌など全ての生物はその親から生まれ、自然発生することはない(↑生命自然発生の否定)

5. 生物進化は突然変異で生じた形質のうち、環境に適したものが、生存競争で生き残る事によって起こる(↑ダーウィン進化論の否定)

もう一つ千鳥学説には特徴的なことがあって、哲学があります。千鳥学説の8大原理をご紹介します。

1. 赤血球分化説(赤血球一元論)
赤血球は一番若い細胞であって、あらゆる細胞に分化する母体となる細胞である。赤血球から白血球やリンパ球などすべての細胞に分化していく。

(↓それに対して定説では、赤血球は酸素運搬のためだけに特殊に

分化した終末細胞で、これ以上分化することはないとする。)

病的な状態では、赤血球は癌や腫瘍や炎症細胞や癒痕組織にも分化するのです。この辺は「悪血こそ癌の原因である」という東洋医学の考え方と一致します。

実は哺乳類の赤血球は核がないのですが、哺乳類以外の脊椎動物には赤血球に核があります。人間でも胎児の血液には、有核赤血球が出現します。

千島先生は、細胞が未熟になると核がなくなると言っておりますが、哺乳類の赤血球に核がないのはなぜか？というのは今でも医学の疑問となっております。

千島先生はカエルの赤血球からいろいろな他の細胞が生まれるのを写真に撮っております。この写真は医学界では否定されています。

2. 赤血球と組織の可逆的分化説
栄養不足や大量出血後などの病的状態の時は、体の組織から赤血球に逆分化がみられる。

(↓既成学説は、骨髄脂肪からの赤血球への逆分化の状態を生理的造血と誤認している。)

3. バクテリアやウイルスの自然発生説

バクテリア(細菌や下等な単細胞生物)やウイルスは親がいなくとも、有機物の腐敗の状態から、その有機物を母体として自然に発生する。

(↓19世紀末に、フランスのルイ・パスツールは、白鳥の首型フラスコ実験で生命の自然発生はないことを証明した。)



千島学説によれば、内部環境が悪化した患者の体内で死滅した細胞などから、MRS Aなどの細菌やウイルスが自然発生する。

日和見感染や菌交代現象の本質は、体内環境の悪化(免疫力低下

や循環障害など)により起こった細菌やウイルスの自然発生である。

私の経験によれば、「院内感染」というのがあります。私は院内感染というものは、外からばい菌が入るだけでなく、患者さんの中だけで菌ができるということがあると思います。というのは経験上、病院に入ると抗生物質が効かないばい菌が出てきて、それがいろいろな患者さんに移って、非常に寿命を縮めて困っているのです。

実は病院のICU(集中治療室)は重症な患者さんが入る一番清潔な区画ですが、そこに入るとMRS Aが一番多く発生するのです。そうするとICUが一番汚い場所ということになるのですが、医師は入念に手洗いをしてマスクをしてカバーをかぶり、手袋をして入るので、やはり免疫力の落ちた患者さんが沢山いて、その中でMRS Aが自然に発生するのではないかと推察します。

したがって、患者隔離や清潔操作(手洗い消毒など)を徹底してもMRS Aなどの院内感染を完全に防止することは不可能であると思います。

4. 細胞新生説
「細胞は細胞の分裂によって生じる」というウイルヒョウの説は誤りである。
細胞分裂から細胞は生じない。細胞は細胞構造をもたない有機物から自然発生する。

現代生物学の定説であるウイルヒョウの説を否定すると大変なことになるのですが、1933年、ソ連の女性生物学者レペシンスカヤはオタマジャクシの卵黄球から細胞が新生してくる現場を観察し、細胞新生説を唱えました。

当時のソ連でレペシンスカヤの細胞新生説は大論争を巻き起こしましたが、レイセンコやオパーリンなどの一流の生物学者に支持され、その論文は1949年スターリン賞生物学部門第一等を獲得しました。

レペシンスカヤの細胞新生説は一時はソ連の生物学会の定説となりましたが、レイセンコ学説の没落と時を同じくして、定説の座から滑り落ちました。

基本的に2つの哲学上の論争があります。

基本的な2つの哲学上の論争があります。

基本的な2つの哲学上の論争があります。

◎生気論的病理学

生命の営みには物理化学では解明できない見えない力が働いていると考える。↓中国の古典的東洋医学、インドのアーユルヴェーダ医学、古代ギリシャのヒポクラテス医学、ホメオパシー等。

◎機械論的病理学

生命の営みといえども物理化学の手法で完全に解明できる。今分らないことも物理化学がさらに発展すれば解明できる↓現代西洋医学。

細胞外の有機物質の塊から生命のある細胞が新生すると仮定すると、そこに機械論的生物学では説明のつかない神秘的な目に見えない生命エネルギーの存在を仮定する必要があります。

しかし、細胞新生がないとする最初の細胞はいかにして形成されたのか。現在の定説では、太古の海の中で神秘的とも思われる奇跡に近い出来事が偶然起きて、細胞が形成されたと考えています。

一つ面白いのは粘菌の生態です。アメーバー状の多数の単細胞で活発に動いて栄養を取り、栄養物がなくなると多数の単細胞が集合し

て一つの生物(接合体)となって移動し、その先で子実体を形成して、そこから胞子が飛んで発芽して、またアメーバー状になって活動する生態を繰り返します。粘菌の生態は戦前、博物学者の南方熊楠が生涯研究を続け、科学雑誌「ネイチャー」にも度々寄稿しています。最近の研究では、粘菌迷路や粘菌が描いた北海道の道路網などから、粘菌が知性をもっていることが証明されました。

千島先生は「胎盤は造血臓器である」と言っていて、母体の赤血球が胎盤絨毛に附着して胎盤絨毛の細胞に変化(細胞新生)し、絨毛内部の胎児赤血球に変化すると解説しています。

5. 腸造血説(骨髓造血説の否定)

赤血球は骨髓で造られるのではなく、生命力に富んだ食物が腸の絨毛で細胞新生によりできたものであり、腸こそが本来の造血臓器である。

生物の原型は腸と皮膚しかありません。外から食事を取り込んだ内胚葉の細胞が中に落ち込んだのが、原始的血液細胞となります。

系統発生的には内胚葉である腸管が造血臓器であるのに、なぜ高等な生物になると造血臓器が中胚葉の骨髓に移行するのか? 疑問です。また、骨髓中の血液細胞の分裂頻度は計算上産生される血液細胞数に比較して少な過ぎますし、骨髓の造血幹細胞は完全には同定されておりません。造血幹細胞は他臓器にも末梢血中にも存在するのです!

モノラとは学術的には原始的生物群を意味し、食物モノラとは消化されドロドロになった消化管内容物を意味します。千島学説は、食物モノラから腸上皮細胞が細胞新生で造られます。消化管内の食物モノラが細胞新生により消化管上皮細胞となり、消化管上皮細胞が赤血球母細胞となり、さらに赤血球となります。腸で新生された赤血球は全身の細胞に分化すると考えられます。したがって、食物の持つ生命力が全身の細胞の生命力に直接影響するのです。

現代の栄養学では腸管で食物が消化液によって、分子のレベルまで分解されて血液に吸収され、肝臓で体の蛋白質に再合成されると考えられております。腸管造血説

が正しいとすると、腸の細胞は原始的なアメーバ様の性質を持ち、食物をかなり大きな塊で細胞内に取り込むと考えられます。生きた血液を顕微鏡で見ると、大きな食物の塊のカケラと思われる物質が見られるのです。もし食物が分子レベルまで分解されるのであれば、こういうことはあり得ないはずで、これも今の医学は完全に無視しています。

腸管造血説が正しいとすると、食べ物ではできるだけ生きていて新鮮な状態で食べることが健康に望ましいこととなります。新鮮な食物は生命力を持っています。煮たり焼いたりして生命力がなくなつた食物を食べるのは自然界では人間だけです。

6. 遺伝学の盲点(生殖細胞の血球由来説)

生物が生まれてから一生の間に、その環境によってはぐくまれた形質は子孫に遺伝する(獲得形質遺伝の肯定)。

精子や卵子などの生殖細胞は体の組織と別物ではなく、赤血球が変化してできる(生殖細胞の赤血球由来説)。

今の遺伝学では獲得形質は子孫

に遺伝しないとあっております。また定説では、生殖細胞は体細胞とは別物で、生殖細胞は子供の頃、原始生殖細胞ができて、それがそのまま辜丸や卵巣に保持されて、一生変わらないのだということになっております。

ラマルクの「用不用説」は獲得形質の遺伝を肯定したのですが、メンデルは「メンデルの法則＝優性の法則、分離の法則、独立の法則」でこれを否定し、遺伝形質は遺伝粒子(後の遺伝子)によって受け継がれると提唱しました。

千島先生は獲得形質の遺伝を肯定する「ルイセンコ学説」を支持しています。獲得形質の遺伝があることは学問的に証明されていませんが、それがいいことも証明されております。

生物の意志により形質が変化し獲得形質が遺伝すると仮定すると、生物の主體的な意志によりDNAが変化することになり、そこには機械的な発想では説明のつかない見えない生気論的な神秘的エネルギーを想定する必要があります。これは現在の機械論的生物学理論からは認められないのです。

7. 進化論の盲点

生物進化の最も重要な要因は、環境に適応した強い生物が生き残ったのではなく、同じ種類の生物の助け合い、または違った種類の生物の助け合いという共生現象である(ダーウィンの進化論への批判)。

8. 心身一如の生命弁証法(自然や生命の波動・螺旋的傾向)

科学者の中には「哲学は科学者にとつて、無縁のものだ」と考えている人が多い。しかし、科学と哲学は実は密接な関連を持つている。ある意味では不可分な一体である。今日、科学を離れて哲学が成立しないと同様に、正しい哲学なしでは科学の正しい発展はありえない。

万物は流転する…すべての事象は時と所の変化に応じて、絶えず流転し変化する。

真の美は少し歪み(不相称性)を含んだ相称である。

矛盾対立とその統一。動的平衡。限界領域の重要性↓排中律の否定可逆性(繰り返し)の原理。調和と波動螺旋性。等々。

第三百八十九回関西日本サイ科学会研究集会報告

よみがえる日本・古事記以前のくにの姿

講師 平岡 憲人氏

とき 平成26年6月21日
ところ 大阪科学技術センター

講師プロフィール

昭和41年大阪生まれ。清風高校から東京大院単位取得退学、博士(工学)。現在、清風情報工科学院校長。専門学校でITと日本語教育をするかたわら、憲法と古日本語の研究を行っている。2006年に古文書「ホツマツタエ」に出会い、「よみがえる日本語 ことばのみなもとラシテ」(明治書院、共著)を発表。

「目次」
イントロダクション

1. 日常に潜む謎
身の回りの「通説」

仏教は仏教なのか
ひらがなは平仮名なのか
和の精神とは

不思議な言語

2. ラシテ文献の再発見

ラシテとは何か

ラシテ写本の探索

既発見の写本

ラシテを引用した文書

ラシテの字形を伝える文書

「ラシテ文献」の伝承

ラシテ文献の主な内容

3. ラシテ文字の再発見

「ラシテ」文字とは

ラシテのデザインと組み立て

よみがえる日本語

ラシテのイメージ

擬音・擬態語とラシテ

語彙・語源とラシテ

文法とラシテ

4. ラシテ文献と日本神話

和歌の意味

カミとは何なのか

三種神器の意味

国家統治の基本

和の精神とヤマトの真意

まとめ

我が国には、カタカムナや阿比留文字など様々な神代文字(古代文字)が伝えられているものの、広く学術的に真実と認められているものはない。私も、神代文字は

単なる後世の創作であり、その関連文書も後世の偽書に過ぎないと考えていた。しかし、2006年の秋にたまたまの出会いにより「ヲシテ」という文字とそれで書かれた「ヲシテ文献」に出会うことになった。先人の研究を参考に読解と分析を重ねた結果、ヲシテ文献が真書であるかどうかは置くとしても、ヲシテ文字の真実性は否定出来ないという結論に至った。その研究成果を共著にて発表したのが「よみがえる日本語——ことばのみなもとヲシテ」（明治書院刊）である。

講演会では、ヲシテ文献とは何か、なぜヲシテ文字が真実というのかということを紹介した。その上で、ヲシテ文字に込められた哲学を踏まえて記述されているヲシテ文献の内容から、我々の祖先の姿・お考え、つまり、古事記以前のくにの姿を紹介した。

●ヲシテ文字の真実性

ヲシテ文字がなぜ真実であるといえるのかは非常に簡単で、ヲシテ文字によって従来解けなかった日本語の謎が解けてしまうからである。その例として、単語の意

味をヲシテ文字の字形から説明できる、つまり、ヲシテによって語源がわかるということ、文法をヲシテ文字の字形から説明できる、つまり、ヲシテによって助詞や活用の意味がわかるということを紹介した。

わ	や	さ	ら	た	ま	な	は	か	あ			
w	y	s	r	t	m	n	h	k	φ			
⑮	⑭	⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥			
わ	や	さ	ら	た	ま	な	は	か	あ	①	a	あい
わ	ゐ	し	り	ち	み	に	ひ	き	い	②	i	い
ん	ゆ	す	る	つ	む	ぬ	ふ	く	う	③	u	う
	ゑ	せ	れ	て	め	ね	へ	け	え	④	e	え
を	よ	そ	ろ	と	も	の	ほ	こ	お	⑤	o	お

ヲシテ文字は、5つの母音に対応する基本文字と10の子音に対応する基本文字を合成した48の文字で成り立っている（右表）。紙幅の関係で割愛するが、母音と子音の

組み合わせという考えようによってはハンゲルからの借用とも考えうる構成であるが、ハンゲルは単なる発音記号で字の形で意味を表していることはない。対して、ヲシテは字の形が意味に直結しているという根本的な違いがある。

助詞について

講演会で紹介した助詞の例を簡単に述べる。そもそも助詞は国文学法においても評価が定まらない。分類も定まらないし、どこからどこまで助詞なのかも研究者によってまちまちである。何より「助詞の意味」は拡散するばかりで説明すら困難な状況である。ところが、ヲシテ文字の分析からは次のことがわかった。

1. 言葉の意味や文法は「イメージ」でできている
2. この「イメージ」を文の構造に使うのが助詞である

これまで国文学法では、助詞の意味を論理や概念で分析しようとしてきたが、アプローチを変えてきたことで、単純に説明できるようになった。次の例は、終助詞である「や」「か」「さ」「な」をヲシテの字形で説明するものである。

助詞の働き

- ほんとにうれしいや
- 食べますか？
- そのような無理さ
- 食べるな

ヲシテ <http://woshite.com>

⑤文法とヲシテ

- 助詞の働き
- ほんとにうれしいや
- 食べますか？
- そのような無理さ
- 食べるな

ヲシテ <http://woshite.com>

「や」「か」「さ」「な」は、いずれもア段の助詞である。母音の「ア」の部分共通であるので、

この4つの助詞の意味の違いはすべて子音部分から生じていることになる。ここで、ヲシテ文字の子音相当の字形に着目する。

や — ⑭「一」の部分が「上」を指し、「二」の部分が「止めて」いる。

か — ⑦「二」の部分が「上下」をつなぐ。

さ — ⑬「二」の部分が「止め」ている。

な — ⑨「二」の部分が「止め」、「二」の部分が「上下」をつなぐ。

ここから意味に転じて

や — ⑭直上の単語を参照して言葉の流れを止めるので、上の単語を強調することになる。

か — ⑦直上の単語を相手に投げかけるので、上の単語に疑問を呈することになる。

さ — ⑬直上の単語をささぎっているので、上の単語を否定することになる。

な — ⑨直上の単語をささぎって否定しておいて相手に投げかけるので、上の単語を禁止すること、相手に求めることになる。

ヲシテ文字の字形を使うと、助詞の元のイメージが浮き上がって、このように明瞭に解釈できる。



擬音語・擬態語

講演会ではより実感しやすいよう、擬音・擬態語をつかって説明を試みることもした。擬音語・擬態語とは、「ゆらゆら」とか「ふらふら」とか主に2音を重ねて、何かの様子をあらわす言葉である。一般に、この擬音・擬態語の意味を外国人に伝えるのは非常に困難だと言われている。ところが、ヲシテ文字を使うと簡単にその意味を知ることができる。

③ 擬音・擬態語とヲシテ2

■ ゆらゆら ゆらゆら
■ ゆさゆさ ゆさゆさ
■ ふらふら ふらふら
■ むらむら むらむら
■ くらくら くらくら
■ たくたく たくたく
■ すすすす すすすす

ムシテ <http://woshite.com>

③ 擬音・擬態語とヲシテ

ゆらゆら
ゆさゆさ

ムシテ <http://woshite.com>

右の図に上げたのは、縦に「ゆらゆら」と「ゆさゆさ」という擬態語をヲシテ文字で書いたものである。この例では、この2つの単語の違いは2・4音目の「ら」と

「さ」だけであり、かつ母音は同じなので、2・4音目の子音部分だけが違う。つまり、「ゆらゆら」と「ゆさゆさ」の意味の違いは、2・4音目の子音部分から生じていることになる。ここで同様に、ヲシテ文字の子音相当の字形に着目する。

ら — ⑫光が放射するイメージで、バラバラになることを表している。

さ — ⑬「二」の部分が「止め」ている。

1・3文字目の「ゆ」は、

ゆ — ⑭「一」の部分が「上」を指し、「二」の部分が「止めて」いる。

③ 動くイメージで、⑭が指す「上」方向に動くことを表している。

「ゆらゆら」と「ゆさゆさ」は、「ゆ」によって上の方へ動くあるいは「ゆるむ」ことを現している。その後「ら」ならば、その動きがばらばらになる、「さ」ならば、その動きを受け止める、ことを表している。つまり、「ゆらゆら」は上方向にゆるんでバラバラになるイ

メージ、「ゆさゆさ」は上方方向にゆるんでそのまま受け止められるイメージである。

実際にも、かげろうは「ゆらゆら」しても「ゆさゆさ」はしないが、空気のゆらめきが上下方向一方向ではないことに合致しているのだらう。

講演会では、同様に、「ふらふら」「ふさふさ」「むらむら」「くらくら」「たくた」「すたすた」などをラシテの字形のイメージで説明可能であることを示した。

このように、語源、助詞、活用、擬音・擬態語など、従来解明のできなかった日本語の諸現象を、「ラシテ文字」の字形で説明できるといふ事実が見出された。このことを、少なくとも奈良時代以降正史の中では位置づけられもしていない「ラシテ文字」が奈良時代以降に成立し、それによって日本語の諸現象が整理されるようになった、と解釈するには相当の困難がある。そうではなく、日本語の成立のころに「ラシテ文字」のイメージが使われて日本語の諸現象が(長い時間をかけて)整理されたが、その後漢字の流入によって「ラシテ文字」が使われなくなつて千数百年

がたち、いま「ラシテ文字」の再発見によって日本語の諸現象の意味を再び解釈できるようなつた、とするほうが合理性が高い。ゆえに、「ラシテ文字は真実である」と結論したのである。

●古事記以前のくへの姿

ラシテ文献は、概ね古事記・日本書紀と同様のいわゆる「日本神話」にあたる部分を、13万文字の長歌で記述している。ラシテ文献では、天上の物語ではなく、日本列島上の実在の人物による歴史として記述されている点が決定的に異なっている。さらに、日本神話上の諸概念をラシテの文字に込められた哲学で述べている点が違う。

講演では、ラシテ文献をもとに、我々のご先祖の姿・お考え、つまり、古事記以前のくへの姿をかいつまんで紹介した。ここでは、その中でも最重要な「カミ」と「三種神器」について紹介する。

カミについて

カミとは、いまや漢字で「神」と書くのが当たり前になっている。明治維新以降、「神」を「God」と訳した結果、西洋諸国に多大な

③三種神器の意味

■ 皇位継承の最重要御物(代々の伝承、神皇正統記 水戸学)

■ ところが、何の象徴なのかはわからない

■ ツルギ モタカラ コレイカ

■ なぜ漢語で呼んでいるのか?

ラシテ <http://woshite.com>

②カミと何なのか?

■ シャーマニズム? アニミズム? 専制君主崇拜?

■ 古代シナ文字ではどうか?

■ 我々の語感ではどうか?

■ ラシテ文献における「カミ」の基本概念「祖」

ラシテ <http://woshite.com>

えば全くそうではない。白川静の研究成果によれば、古代シナ語において、「神」の「申」の部分は稲妻を現しており、「示」の部分はその超常現象への捧げ物を表している。

「神」とは超常力へのおそれを表すものであり、これを人が体現すれば当然のことながら、超常的な権力ですべてを支配する専制君主、現実にもそうであったようにシナ皇帝の姿になる。簡単にいえば、「神」≡「God」であるわけで、「God」という訳が悪いどころか、2000年ほど前に当ててしまった「神」という字自体がずれているのである。

ところが、我々の日常生活における「カミ」というのは、神棚にあるのが神様であり、氏神様といつても超常力でもない。逆に、ちよつと偉くて道理を極めているひとは「経営の神様」「野球の神様」などと崇められるし、「おかみ」さんは尊敬をあつめるお母さんのことである。つまり、「神」というシナ文字が表している概念とは相当に異なっているのである。これまでは、アジアの先進国は我が国だけであり、漢字は中国のものとい

うより日本語の記述文字として、我々日本人が自由自在に解釈することが当たり前であった。しかし、中華帝国が勃興した結果、漢字は中華の言うように解釈する時代がやってくる。そうなった時、「カミ」を「神」とあてても、英語に訳して「God」と訳しても、結局外部からは理解されない。それどころか、中華に「神」とは「超常力のこと」と定義されて、それにしゅしゅ従うようであれば、日本民族・大和民族のアイデンティティは消滅することになる。

- ヲシテ文献を紐解いてわかったことは、我々の「先祖は「カミ」という言葉を概ね次の4つの意味で使っていたということである。
1. 先祖 — あえて漢字を当てれば 「祖(カミ)」
 2. 偉い人 — あえて漢字を当てれば 「上(カミ)」
 3. 自然神 — あえて漢字を当てれば 「神(カミ)」
 4. 大自然 — 漢字はない

例えば、日本書紀や古事記の冒頭部分は「カミヨ(神代)」と呼ばれているが、これは「祖代」とでも

あてべきであり、なんてことはない、昔の先祖の時代ということである。「カンナガラノミチ(神ながらの道)」というの、「祖ながらの道」「上ながらの道」ということで、昔ながらの生き方、昔の偉人の生き方、という意味である。その上で、ここを静めて無心となれば、大自然と合一して、「無為自然」となる。仏教でいうところの悟りの道である。

とりわけ注意すべきことは、4つ目の「大自然」には「人格がない」ことである。大自然は生命の根源であるが、静かにじっと見守っている存在である。「カミ(祖)」をどんだん、カミのほうに遡っていく、カミのカミのカミのカミ・・・と。そこにあるのは、我々を静かに見守っている無私存在であるところの「アメミヤヤ」だとされている。「ミヤヤ」という言葉にそんな意味が込められている。あらゆるものはその現れであるから、人々は親戚であり、動物も植物もいけとし生けるものはすべて親戚であり、石や山や水も親戚である。こうして、八百万の神という我々の日常世界につながっているのだ。このような「カミ」という言葉

を再自覚してはじめて、我々はこのグローバル社会において、アイデンティティを保ち続け、「現存する最古の文明の直接の末裔」として世界の人類に貢献できるのではあるまいか。

三種神器について

もう一点、「三種神器」についてである。三種神器は皇位継承の重要な宝物とされている。今上天皇におかれても、昭和天皇崩御の後、直ちに剣璽等承継の儀で三種神器を継承された。また、水戸学においては、三種神器のありかをもとに南北朝時代は、南朝こそが正当とされる根拠になっているのはご承知のことと思う。しかるに、この「三種神器」がいかなる事柄の象徴であるのかということ、もはや失われている。なぜこの3つは皇位の象徴として妥当なのかという理由がある。

ヲシテ文献により、それは明らかにになった。「八咫瓊勾玉(ヤサカニノマガリタマ)」は、そもそも「トノヲシテ」の象徴であった。「トノヲシテ」とは、後世「和の精神」と訳されたものである。詳しい説明は省くが、「トノヲシテ」とは、

「まごころにもとづいて生きる」ということであり、そのために「こころまっすぐにたもつ」ということを、ご先祖の徳とともに自覚する、そのことの象徴が「勾玉」である。

「叢雲劍(ムラクモノツルギ)」は、そもそも「悪人のみを切る道具」として宝物になっている。善人は切らない、悪事を働いて社会的命運の尽きたものだけを切る道具である。ヲシテ文献が紡がれた当時すでにツルギというのは人を切る道具なのに、「ツルギ モタカラ コレイカン」と疑問を呈する声があり、それに丁寧に答えた説法が、ヲシテ文献に収録されている。武力を司るものは、無闇矢鱈と人を切ってはならない。悪人であっても、教え諭して悔い改めさせよ。何をやってもどうにもならないなら、その時はこのツルギで成敗せよ。という説法である。なぜ武力はあるのか、という本質を表すのが「劍」であり、だからこそ宝物なのである。

「八咫の鏡(ヤタノカガミ)」は、正邪を見極める鏡である。「カガミ」の「カ」が輝くモノ、正しいものを現し、「ガ」が陰ったもの、間違ったものを現して、正邪の見

極めということ象徴するのが「カガミ」なのである。社会のリーダーとなるものは、自分の心が曇っていないか、私心に走っていないか、常に確認しなければならぬ。日々自らの姿をカガミに写し、こころのクマを見て反省する。記紀にもいう「カガミをみる時は天照大神を見るように」、というのは、酸いも甘いも見極めたあの人の前ではどんなウソも見破られるというような穏やかなしかし眼光鋭いおじいちゃんがいて、あたかもその前に座って「わしの目をよく見て話してごらん」とでも言われているような心持ちで、カガミを見よ、ということである。すると、自然に、自分のウソに気づき、道を外れることはないであろう。この自己反省の本質を表す象徴が「鏡」である。

このような、3つの徳を表す象徴が三種神器であり、国家の統治を行うものにとつて心に刻まねばならない徳であるからこそ、この三種神器が代々継承されてきたのである。「三種神器」の徳を再自覚してはじめて、我々はこのグローバル社会において、アイデンティティを保ち続け、「現存する最古の

文明の直接の末裔」として世界の人類に貢献できるのではあるまいか。

●おわりに

最後に、三種神器という名前について述べたい。ヲシテ文献によれば、これは「ミクサタカラ」「ミクサノカンタカラ」と申し上げた。これに漢字をあてて「三種神器」となり、いつのまに音読みすることになって今に至っている。しかし、漢字の音読みとは、古代シナ語にほかならない。今から2000年がたち、我々の子孫が「三種神器」ならぬ「スリー・ホーリー・トレジャー・THT」とでも呼んでいたとしたらどうであろうか？ 我々は今それと同じ愚行を行っている。

そもそも、我々は「ニホンジン」あるいは「ニッポンジン」なのか？ 日本（ニホン、ニッポン）も、なんと音読みであり、古代シナ語である。ヲシテ文献により、当時我が国は「ヤマト」「ヒノモト」と自称していたことも判明した。自らのアイデンティティを取り戻すには、まず自らが「ヤマトのタミ」「ヒノモトのタミ」であるとい

う自覚から再出発されたいと、乞い願う。



これまで日本文化の起源は漢字であると漠然と思っていたが、漢字以前の文化が存在し、そこに我々の心のよりどころもあるということを示して頂いた。素晴らしい考え方に会えて感謝しています。

当日の参加者は会員11名、非会員29名、通訳1名、合計41名でした。

今回の記録はCD（ウインドウズパソコンかCDプレーヤーで聞くことができます）になります。価格2000円（送料込み）。事務局（0797・22・6425）まで。

（関西日本サイ科学会会長 河野明夫）

本部例会ビデオ映像販売のお知らせ

ハイビジョン映像・音声ファイル（約3時間）を記録したUSBメモリーでお送りしますので、ほとんどのデスクトップあるいはノート型のウインドウズ・パソコンで見ることが出来ます。

価格 1本につき 三五〇〇円（送料含む）

以下のビデオ映像から、御注文願います。

◎2013年4月本部例会

講師 大野百合子氏

「宇宙図書館（アカシックレコード）から見た世界の仕組みと私たち

―あなたは誰なのか―

◎2013年5月本部例会

講師 浪平博人氏

「イメージによる瞬間教育」

◎2013年6月本部例会

講師 松原秀樹氏

「アレルギーを治す秘訣」

◎2013年7月本部例会

講師 酒向猛氏

「千鳥学説を知るために」

◎2013年9月本部例会

講師 奥野節子氏

「ブラジルの奇跡のヒーロー

ジョン・オブ・ゴッド」

◎2013年10月第23回全国大会

シンポジウムテーマ

「サイと自然治癒力」

◎2013年11月本部例会

講師 小久保秀之氏

「生体センサによるサイ研究

―超能力研究の最前線―

◎2014年1月本部例会

講師 小川博章氏

「魂の発見」

◎2014年4月本部例会

講師 西川真知子氏

「生命の智慧 アーユルヴェーダ

―アーユルヴェーダから見る生命

のすばらしさ―

◎2014年5月本部例会

講師 岩根和郎氏

「般若心経とサイ科学」

◎2014年6月本部例会

講師 秦西平氏

「気超科学と宇宙生命哲学

新病気学」

◎2014年7月本部例会

講師 小林信正氏

「ラップ現象の究明―オーブとの

関連性について―

◎2014年9月本部例会

講師 石川允朗氏

「死後の世界と輪廻転生について

の一考察」

◎2014年10月第24回全国大会

シンポジウムテーマ

「サイと天変地異」

メールまたはFAXで左記に掲載のメールアドレス（またはFAX番号）に、「2010年〇月〇〇〇氏ビデオ購入希望」と記して、郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、御注文願います。
2週間以内に発送致します。

E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp
FAX 047・330・4091

お支払いは、到着後同封の郵便振替用紙で8日以内にお振り込みただければ、結構です。



《本部月例会・全国大会講演録の販売》

本部月例会・全国大会のICレコーダーによる録音の音声ファイル（拡張子wma）なので、聞くためには「CD、DVDプレーヤー」の付いたウインドウズ・パソコンが必要になります。

以下のリストから興味のある講演、今一度聞いてみたいものを御注文願います。講演時間は平均3時間前後で質疑応答も含まれます。マイクからの直接録音ではなく、やはり会場のスピーカー音の録音ですので、完璧な鮮明さではありませんが、もちろん内容は普通に聞き取れます。当日放映されたビデオやOHP等で紹介された図や写真は付いておりません。

講演録の代金は1回分2,000円（送料等含む）です。お送りするのは講演録の入った「CD-R」で1枚につき6、7回分が入ります。（一部のノートパソコンを除いて、大抵のウインドウズ・パソコンには、「CD-Rファイル」が読めるプレーヤーがついております。）

※御注文は郵便局にある「郵便振替用紙」の通信欄にご希望の講演録の『年／月 講師名』と金額（1回分2,000円）を記入し、郵便振替口座 00100-2-15344 加入者名 日本サイ科学会にお振込願います。

あるいは、メールで先に事務局 office21@psij.mail-box.ne.jp に注文されても結構です。

- 2010/10/10 第21回全国大会 シンポジウムテーマ「2012年問題とサイ」
- 2010/11/14 秋山真人氏「夢診断と未来予測」
- 2010/12/12 宇治橋泰志氏「新たな予防医学を目指して」
- 2011/ 1/ 8 新年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会
- 2011/ 2/12 石川和孝氏「世紀末的神示と予言の陰陽道的思考」
- 2011/ 5/14 赤松瞳氏「最新脳科学と透視能力」
- 2011/ 6/12 井出治氏「未知エネルギーの研究とチャネリング」
- 2011/ 7/18 古村豊治氏「なぜあなたに大きな奇蹟が起こらないのか？」
- 2011/ 9/10 鈴木俊輔氏「3・11新文明の幕開け～日本人の使命～」
- 2011/10/ 9 創立35周年記念大会シンポジウムテーマ「パワースポット」
- 2011/11/12 小林信正氏「心霊現象について」
- 2011/12/10 忘年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会
- 2012/ 1/14 ミッツィ植田氏「縄文スピリットでサバイバル」
- 2012/ 2/11 小林正典氏「サイ科学に関係した電気・磁気の研究の紹介」
- 2012/ 4/14 ロン薄葉氏「オーブ現象とこれまでの歩み」
川崎利男氏「オーブ観察7年間その傾向と残された課題」
- 2012/ 5/12 徳永康夫氏「命とソマチットと般若心経の探検」
- 2012/ 6/10 松永修岳氏「密教開運術「強運の成長戦略提言～氣を高めれば運はやってくる～」」
- 2012/ 7/14 中島敏樹氏「水と珪素の集団リズム力」
- 2012/ 9/ 8 ホンマシュウジ氏「未曾有の天災・人災を目の当たりにして、サイ科学は何ができるのか!？」
- 2012/10/14 第22回全国大会 シンポジウムテーマ「コンタクト」
- 2012/11/10 藤森博明氏「気(生命エネルギー)の実在と能力」
- 2013/ 1/12 志賀一雅氏「 α 波のコヒーレンシーについて」
- 2013/ 2/ 9 宇治橋泰志氏「疾病を根本から改善する新治療法を求めて」
- 2013/ 4/13 大野百合子氏「宇宙図書館(アカシックレコード)から見た世界の仕組みと私たち
—あなたは誰なのか—」
- 2013/ 5/11 浪平博人氏「イメージによる瞬間教育」
- 2013/ 6/ 9 松原秀樹氏「アレルギーを治す秘訣」
- 2013/ 7/13 酒向猛氏「千鳥学説を知るために」
- 2013/ 9/14 奥野節子氏「ブラジルの奇跡のヒーラー ジョン・オブ・ゴッド」
- 2013/10/13 第23回全国大会 シンポジウムテーマ「サイと自然治癒力」
- 2013/11/ 9 小久保秀之氏「生体センサによるサイ研究—超能力研究の最前線」
- 2014/ 1/11 小川博章氏「魂の発見」
- 2014/ 4/12 西川真知子氏「生命の智恵 アーユルヴェーダ —アーユルヴェーダから見る
生命のすばらしさ—」
- 2014/ 5/10 岩根和郎氏「般若心経とサイ科学」
- 2014/ 6/ 8 秦西平氏「気超科学と宇宙生命哲学 新病気学」
- 2014/ 7/12 小林信正氏「ラップ現象の究明～オーブとの関連性について～」
- 2014/ 9/13 石川允朗氏「死後の世界と輪廻転生についての—考察」
- 2014/10/12 第24回全国大会 シンポジウムテーマ「サイと天変地異」

る。いわゆるプラズマであるが、大気電気学の分野では、大気陽イオン、大気陰イオン、電子と呼ぶ。大気イオン群の中にエアゾール(埃、微細塵)を入れると、大気電界やイオン間の相互作用などにより、大気陽イオンボールと大気陰イオンボールの組み合わせができる。いま、ベクトルが上向きで右方向回転のものを陽イオンボール(電子に相当)とし、下向きで右方向回転のものが陰イオンボール(陽電子に相当)になる一対を想定する。中でも、周波数が近赤外線量域に該当するもの(活性化エネルギー、約1.5eV)を対象になる。この一対は、右方向回転の巴型状組み合わせであるが、一般には裏表、左右、様々な組み合わせの下で、全体として中和している集団(群)がオーブである、と推定している。なお、以上の説明には電子を用いたが、実際には、光子群の組み合わせとして存在するのであろう。

(2)「たまゆら」の形成

大気イオンボールは、ほぼ近赤外線量域の周波数を持ちながら、回転しながら進行・増大しているが、陰と陽の組み合わせで、両者間の押し合いの力(エネルギー)がほぼ平衡・中和する(陰+陽=0)まで活性化させた時に零場が出来る。つぎに、これが絞り込まれて点状になった時を零点と呼ぶ。なお零点はマクロ現象がミクロ現象に変換する箇所でもある。ここに「たまゆら」の核が形成され、撮影者から放出されるサイ(気)と核が共振・共鳴(同調)して「たまゆら」になる(生起する)、と推定している。

(3)「たまゆら」の内部模様

「たまゆら」は、外部からの光エネルギーの助けにより、次第に進行してカオス・アトラクターを画き、オーブ(たまゆら)の円形内模様を形成する事になる。カオス・アトラクターの内容(模様)を決めるものは、未知なる存在(SG)であろう、と推定している。なおサイ(気)は、電子、陽電子、微細身素粒子(オーラ)群から構成されている。電子は空気中でも割合に安定に存在しており、陽電子は宇宙線や各種の γ 線照射によって得られる。この時のオーラはエーテル(エネルギー)類似である。

カオス理論に基づいて、オーブ(たまゆら)画像のフラクタル解析を実施した。一例として、オーブ(たまゆら)の内部模様は、フラクタル次元で3種類に類別できることが判った(解析方法と図の説明は、サイ科学、Vo.36、No.1参照、2014年末発行予定)。

5. 結論

近赤外線領域の波長により、オーブ(たまゆら)を撮影できることから、オーブ(たまゆら)はこの領域に潜んでいる事が判る。しかし、この波長域は肉眼では見ることは出来ない。オーブ(たまゆら)を、撮影し難い理由は、カメラが、近赤外線領域をカットしている為であると言える。つまり、オーブがすぐ傍まで来ていても、高画素数カメラ(1610万画素数)では認知出来ない(写らない)場合がある。しかし低画素数カメラ(220万画素数)には写る傾向がある。小雨の降りはじめ、又は、スプレー噴霧水があると、出現しやすい。水の蒸発はオーブの誘発になっていると考えられる。しかし、オーブ(たまゆら)と水滴とは異なることが分かった。オーブ(たまゆら)と意識の間で直接の情報交換がある、等の性質を持っているので、この現象は、マクロPKの一種であり、仲介する物質はサイ(気)であると判断している。オーブにサイ(気)が加算されたものを「たまゆら」と呼ぶことにする。なお、オーブ上の「零点」で「たまゆら」の核が形成され、撮影者から放出されるサイ(気)と核が共振・共鳴(同調)して「たまゆら」になる(生起する)、と推定している。オーブ(たまゆら)は、外部からの光エネルギーの助けにより、次第に進行してカオス・アトラクターを画き、オーブ(たまゆら)の円形内模様(表情)を形成する事になる。カオス・アトラクターの内容(模様)を決めるものは、未知なる存在(SG)であろう、と推定している。さらに、カオス理論に基づき、オーブ(たまゆら)画像をフラクタル解析した結果として、オーブ(たまゆら)の内部模様をカオスとして類別できることが判った。つまり、(A)シングルピークの模様、(B)ダブルピークの模様、(C)マルチピークの模様、等である。

果は、意識とオーブとがマクロPK現象として同調したために得られた、と判断できそうである。

(2) 場所と時間が異なる

撮影者の意識は時間や空間の枠組みを超えている。撮影が同一条件であっても、日にちが異なる場合には、当然ながら、意識は同一ではない。従って、写されるオーブは、それぞれが別の模様(表情)になると考えられる。一例として写真No.2531、2357、2541を示す。No.2531は上記と同一のカシオ(1610画素数)、2014年4月3日(木)、福島市内、小雨の降り始め、夜6:45~。写真の全面にわたり大、中、小直径の多数の円形オーブが写っている。左側と右側にある大径のオーブ(たまゆら)をみる。ボケは在るが2~3本の円形状干渉縞模様を取り囲んで、全面にマンダラ模様が刻まれている。これ以外のオーブ(たまゆら)にもほぼ同一模様が写っている。

次の一例をみる。写真No.2541は福島市の実験室横、2014年6月6日(金)、小雨の降り始め、夜8:03~。写真の中央に大直径が1個、右側に中径のオーブ(たまゆら)が、2個写されている。中央の大径は、左端の一部が欠けているが、唐時代の青銅鏡状で、中央左よりに凸型円形部(オーブの核、又はエアゾール)をもっている。中径のオーブには、欠けは無いが、大径のものとはほぼ同一の模様を持っている。以上に示した様に、写された写真のそれぞれには、ほぼ同一の模様が写されている。検討し、判断すると、撮影者の意識と体外のオーブとが(マクロPKとして)同調して模様が形成された、と考える事もできるだろう。

(3) 同一条件で、撮影者が別

同一条件で撮影しても、撮影者が別々の場合には、撮影者の意識は異なるので、別の模様が写されるだろう、と考えられる。この推定を確かめる為の実験・撮影が実施された。一例を示す。2014年6月15日(日)、上海市静安寺大仏殿内、晴れ。10:00~10:05、大仏とその天井を、Aが写す(ニコンE-2200、220万画素数)。続いて、Bが同一条件で、写す(キヤノンIXY、8105、1610万画素数)。Aの写真No.2075は、大仏の斜め前方像と天井を写している。明白なオーブ

(たまゆら)は3個で、円形内模様は、ほぼ同一の円内模様、凹凸の青色とピンク色の混ざり合う点群(光の周波数の相違)からなる。次にBのNo.1369を見る。大仏の正面像と天井をとらえた写真の胸と天井に2個のオーブ(たまゆら)が撮影されている。円形内模様(表情)はほぼ同一で、ボケのある同芯円状干渉縞模様の唐鏡状で、ヘイロー(halo)もほぼ同一模様である。以上、同一条件で撮影した場合でも、撮影者が異なると、オーブ(たまゆら)の模様が異なる場合のある事がわかった。

4. 検討と考察

サイ(気)は、周波数(波長)の異なる光子群の集合から構成されているが、素粒子の性質を持つ(電子群、別報)ので、観測・測定する以前は、その存在は不確定である。空気成分の電離とエアゾール(埃、微細塵)によって形成された大気陰陽イオンボール(オーブ)の上に、ゼロ場(ゼロ点)が形成され、そこに「たまゆら」の核ができる。撮影者の変性意識状態(ASC)時に皮膚から放出されるサイ(気)とオーブ上の「たまゆら」の核が同調して「たまゆら」になる。そして、カオス・アトラクターを伴って成長して写真に写る。大気陰陽イオンボール形成(オーブ)は物理現象であり、これにサイ(気)が加算されて「たまゆら」(マクロPK)になる、と判断・仮定している。

(1)「オーブ」の形成

地球を取り巻く大気層は、宇宙線の照射のために電離していて、上層部は陽(+)、地表部は陰(-)に帯電している。この為に地球は電磁気的には巨大な球形・地球コンデンサー(約30万V)として存在している。厚い雷雲がやってくると、雲の上側は(+)、下側は(-)なので、地球表面上は(+)に帯電するようになる。雨が降り始めると、電離はさらに進む。なお地球表面上の大気の大部分は水蒸気と二酸化炭素である。水蒸気が多くなると凝固して雲や雨になるが、凝固には核が必要であり、これをエアゾール(埃、微細塵)が分担している。水(H₂O)を電離するとH(陽イオン)、OH(陰イオン)、電子(-)にな

オーブ(たまゆら)形成・出現の意識面

(Toward Formation and Emergence of Orb by Consciousness Approach)

佐々木 茂美 苗 鉄軍

呼びかけに応じて答えてくれる、意識もっている、霊的な存在である等、オーブの形成・出現には人格要因が関係すると言われている。然しそれらの仕組みや機構については、いままでは、科学的に説明する事は無かった様に思う。そこで今回は、撮影者の意識(無意識)がどの様な仕組みでオーブに関与するか、について推定し、仮定を進める事にした。

1. 従来の結果と本稿の目的

(1) 意識と体外にある物質とが直接に情報を交換する現象をマクロPK(念力)といい、両者間を仲介する物質をサイ(気)と言う。(2) サイ(気)現象は、基盤になる現象の変曲点(零場中の零点)で、エネルギー一定条件で生起する。(3) この時の意識は変性意識状態(ASC)であり、醒めた意識はむしろ否定的(現象阻止)に作用する傾向がある。一方、(4) オーブと意識の間には、情報交換があるので、オーブもマクロPKである。しかし、今までは未検討であった。そこで、本稿で検討することにした。オーブは、デジタル・カメラ(CCD)を用いて、電離した薄暗い空間に向けてフラッシュ撮影する時、ノイズとして、乳白色小円形状に写り込んで来る。なお、オーブは巨視的な物質(画像)であるが、不思議な事に、素粒子類似の性質を兼ね備えて出現してくる(別報参照)という結果が得られている。

2. 実験・撮影条件

画素数の少ないデジカメとしてニコンE-2200(220万画素数)。多いデジカメとしてカシオEX-Z2000(1610万画素数)、キヤノンIXY, 8105(1610万画素数)を用いる。撮影は、露出モードをオート撮影(P)に合わせる。これは絞りとシャッターの組み合わせをカメラが自動的に選定して撮影する方式である。撮影条件は、スト

ロボ強制発光(フラッシュ光ON、色温度約6000度K)。天候は晴れ、小雨の降り始め時、晴天時の室内。晴天の室外でスプレー水(キリ、噴霧)を放射したとき。

3. 意識とオーブの同調

経験によると、写り込んでくるオーブ像は円の直径、模様(表情)、色合い、ヘイロー(halo)などは様々(ランダム)であるが、一枚の写真にはほぼ同一の模様(表情)が写されてくる、と判断している。はじめに、これを、実験から確かめることにする。

(1) 噴霧水放射の場合

雨の降り始めにオーブは出現しやすい、これは、オーブ形成に空気中の電離と水素(陽)イオンが必要となるからであろう。そこで、はじめに晴天時にk式スプレー法をもちいた噴霧水の場合について検討する。一例としての写真No.0774の場合を見る。2014年5月22日(木)、福島市、夜7:50~。カシオEX-Z2000(1610万画素数)。画面中央部にモヤ(キリ、極微小雨滴)が写り、モヤとは別に、中小径の様々の大きさのオーブが、ランダムに広く分布して写されている。オーブの円形内部には、ほぼ同一の小粒状の凹凸模様がある。

別の一例として、写真No.0941の場合をみる。2014年8月9日(土)、仙台市、夜8:10~、カシオEX-Z2000(1610万画素数)。写真の左側にスプレー器具、その噴射先にモヤ(極微小雨滴)、右下に屋根がある。この写真を見ると、円形内部に1~3個の穴のあるオーブが、全面に、同一模様で、ランダムに写されている。以上の2枚を比較すると、気温や意識などが相違する為であろうか、それぞれの模様は異なっている。しかし、1枚毎にみると、模様(表情)はほぼ同一である。実施の内容から判断すると、以上の結

芸家であるが、クライアントの身体の状態を洞察する能力を備えておられた人で、今回の鉱石の成長に気がつかれた人^{※6}も霊能力のあるヒーラーと云うべき人である。どちらも通常は観測し得ない事象を起こす人である。

ともかく、鉱石という物体がこのように成長するということがあるらしい。

※1 ここでは石を持った人の影響である点は明らかとし、しかし人の何が影響したかが明らかであるわけではないが、「意識が影響する」という表題でまずは報告することとした。「人の場」という表現が次の候補である。どちらも科学的には追求しにくいサイエネルギーである。以上が仮題の理由である。

※2 りんあん氏(本名：小島鈴江氏、現在千葉県千葉市在住)。父、祖父、曾祖父など代々に僧籍に身を置いた家系の人で、本人は現在僧籍には身を置いていないが、多くの人に、その持つ霊的な能力で霊障などを直しておられる、強い能力を持つ人。
このような力のある人であるためにここで述べるような鉱石の成長があるのかも知れない。もちろんその関係は全く定かではない。

※3 ここでの鉱石とは以下の岩石に当たる。

鉱物と岩石はよく混同されてしまうが別物である。岩石は、鉱物または岩石破片の集合体であり、化学的に均質なものではない。鉱物は、化学的にはほぼ均質で、原子・イオンレベルで3次元的な秩序配列(結晶構造)を持つ。具体的には、墓石などに使われる花崗岩(御影石)は岩石であるが、花崗岩は石英、長石、雲母などの鉱物の集合からなっている。また、単一の鉱物からなっているも、複数の結晶が集合していて、単一の結晶ではない場合、1種類の鉱物からなる岩石ということになる。たとえば、結晶質石灰岩(大理石)は方解石の結晶により構成されるが、単一の結晶ではなく複数の方解石結晶の集合体なので、岩石である。この両者の関係は、よく「生物体」と「細胞」の関係にたとえられる。生物体を「岩石」とすると、それは様々な種類の細胞「鉱物」で構成されている、といった具合である。細胞の一つ一つは鉱物であるが、それが多く集まり固結していると岩石と呼ばれるようになる。

※4 「意識による異常磁気の発生とその観察」副題：直交配置3軸センサーによる生体周辺の磁気の測定：第1報～第6報 小牧昭一郎 1999～2004 磁気と生体研究会誌～サイ科学；日本サイ科学会(論文集)；第2報はPSI Vol.22, No.1 August 2000 Thesis 2. pp.6-20.

※5 須田泰心氏、群馬県前橋市在住。小さい頃より透視、予言などの能力があり、クライアントの治療などに当たられた。

※6 前出脚注2

図3-1: Bの部分 2012年11月時点

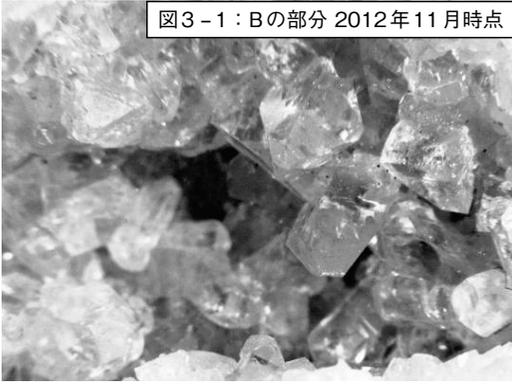
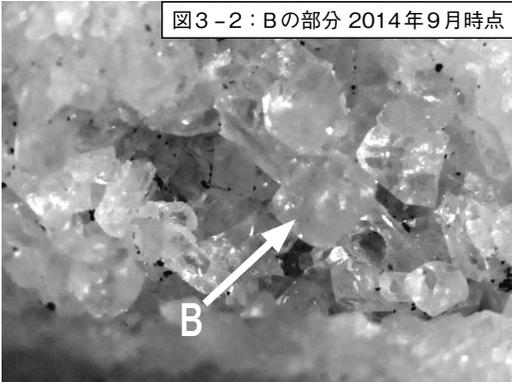


図3-2: Bの部分 2014年9月時点



れ対応すると思われる部分を2014年9月に撮影したものを図2-2、図3-2に示す。

図2-1と図2-2を比較すると、両図の撮影角度が微妙に違うので正確ではないが矢印Aの先端付近は図2-1では空間であった部分が鈍い白い鉱石で埋められているようである。ここでの洞窟の深部の付近でも図2-2の方が浅くなっているように見える。

図3-2では矢印の先端部分の結晶の大きさが図3-1でのその直上の結晶に比較して大きく見える。また、その直上の結晶がやや小さく見えるが、どちらにしてもこの二つの結晶の大きさが変化している。図3-2での矢印先端の結晶部分が丸みを帯びて見える。図3-1での六方晶形の特有の先端の稜線が見えない。図2と同様、撮影角度が厳密ではないので、以上の比較は正確とは言えないが。

撮影角度が厳密ではないので、以上の比較は正確とは言えないが。

2. 所感

図4 手での抱え方



人が手の中、膝などに抱えて(図4参照)持つことによって鉱石が成長するという事例として、簡単なスナップでご紹介した。撮影が不十分で、この報告ではその違いが明瞭とは思われないが、仮に明瞭になったとしても、人の何が影響したのかについてもなにも明らかになりそうもない。

しかし、筆者には意識が周辺の空間に対して物理的な影響を与えることを研究した経験がある。人が「ここだよ」というかけ声を発する度ごとに、その人の身体周辺の空間に磁気が発生する、それを特別に準備した磁気記録システムによって観測・記録した^{*4}。磁気波形は低周波領域の交流波形で、掛け声と同期して観測されたので、明らかにその人の意識に関連すると考えるべき状況であったから、「意識が原因となった磁界の発生」としてよい、と考えた。こうした事例に対して、今回の鉱石の成長は時間的には極めて曖昧であり、ほとんど特定ができないので、「意識による鉱石の成長」は仮題とした。しかし、この両者の観測に共通している点は、観測対象の人がどちらも超能力者と云われるべき点である。この磁気が発生の対象となった人^{*5}は陶



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

意識^{*1}による鉱石の成長

理事 小牧 昭一郎

1. 観測状況

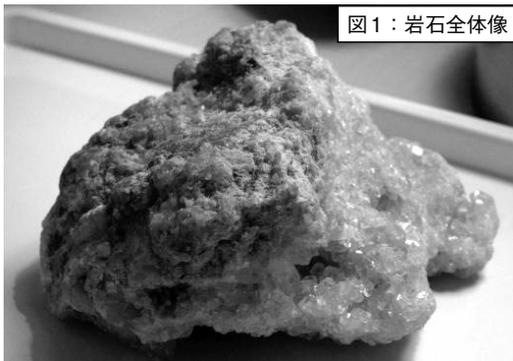


図1：岩石全体像

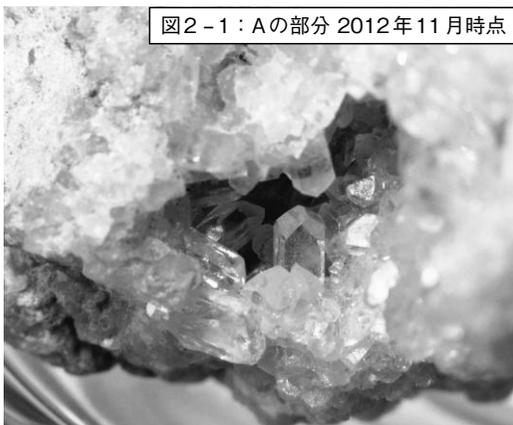


図2-1：Aの部分 2012年11月時点

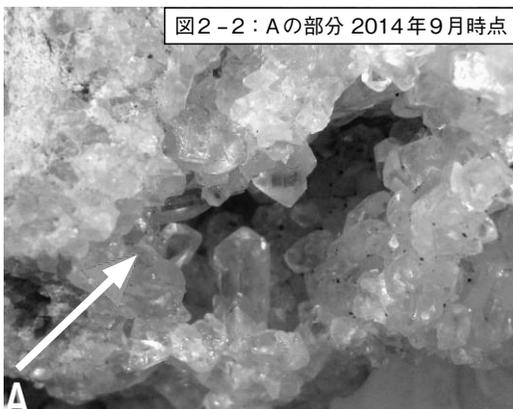


図2-2：Aの部分 2014年9月時点

会員R^{*2}氏は自分が日頃大事にしている石が時間とともに成長すると思う、と筆者に云ったことがあった。この石とは、よく夜店などで見かける置物になるかも知れない自然の鉱石^{*3}で、水晶の単結晶らしい六方晶形の小さな単結晶が内部にたくさん見られる鉱物結晶で、図1のような外観を呈し、所々にいわば洞窟状の部分があり、そこに水晶の単結晶らしい結晶が見られる。この石をしばらく持っている、成長するように思われる、とのことである。上記の水晶の単結晶らしい柱は大きさ1.5ミリ程度、小さなものであるが、透き通っていてきれい、まわりは多結晶の六方晶形の頭の部分が重なっている部分に覆われたり、自然の鉱物としてどこにも加工したところはない。この鉱石自体が時間が経つと成長してその洞窟の部分などが狭くなったのではと。

天然鉱石は高温の溶岩の状態のときに冷却した状態を維持しているはずであり、これが一般的な常識で、人の手の中で成長するという常識はない、まして人が手の中に抱く、というような常温で石が成長するとは考えられない。

ところで、R氏のかかえる石を2012年11月に撮影したものを図2-1、図3-1に示す。それぞ



サイジャーナル

月刊
27-1・2
第419号

日本サイ科学会 平成 27 年 1 月 1 日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北	中 部	北 陸	関 西	九 州
〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサノビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	〒466-0051 名古屋市中区和区 御器所3-4-21 眞 野 博 英 ☎・FAX 052 (871) 9060	〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	〒659-0011 芦屋市六龍荘町9-39 (事務局) 木村のり子 河 野 明 夫 ☎・FAX 0797 (22) 6425	〒851-2122 長崎県西彼杵郡 長与町本川内16-6 森 安 政 仁 ☎ 095 (883) 6048・FAX 095 (883) 6159

年頭のご挨拶

会長 浪平 博人

新しい年を迎えるにあたり、
日本サイ科学会の発展と皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

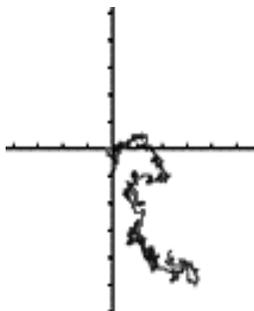


過日、ハヤブサ宇宙探査機が60億キロの旅をなし終え地球に帰還した感動的なことがありました。これは、科学技術の枠組みの偉大さを示すものであり、その有効性は疑いえないものであります。

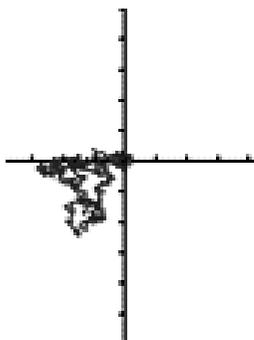
一方、人の綾なす中での出来事は、状態自体が計測困難で変化の予測はほとんど不可能です。これは、相互関係がきわめて複雑になった為だけとは思えません。

自然に起こることと人に関連する事との間で決定的に異なることは、人には思い・意志があることです。現在の科学では、人の思いは物質に何も影響を与えないとしてこれを無視しています。我々は、そうではないという立場にあり、従来の科学と整合性のある新しい世界観の構築に努力しているわけであります。

その構築は、まず、事実の膨大な集積と整理から始まります。そして、それらの個々に捉われず、自由な目でそれらを俯瞰したときに新しい全てを統べる原理が見つかるのです。例を示しましょう。



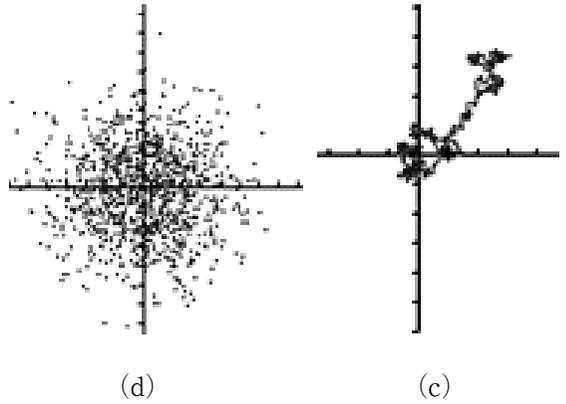
(a)



(b)

今月号の記事

- ◎ 会長 年頭のご挨拶
- ◎ 御寄付御礼
- ◎ 一月二月本部例会のお知らせ
- ◎ 関西サイ科学会一月二月三月研究集会のお知らせ
- ◎ 九州サイ科学会一月二月研究集会のお知らせ
- ◎ 北陸サイ科学会二月例会予告
- ◎ 中部サイ科学会三月例会予告
- ◎ 中部サイ科学会九月例会報告
- ◎ 第24回宇宙生命研究分科会予告
- ◎ 第2回スピリチュアル分科会
- ◎ 平成25年9月本部例会報告
- ◎ 第三八九回関西サイ科学会報告の図版差し替え
- ◎ 第三九〇回関西サイ科学会報告
- ◎ 本部例会ビデオ映像の販売
- ◎ 本例会講演録の販売
- ◎ オープンとサイはテラヘルツの周波数域内に潜在している
- ◎ P S I と進化についての一考察



図(a)、(b)、(c)は、1000歩のランダムウォークの経過図です。これを個々に見ると、とても規則があるとは見抜けません。図(d)は、1000回の試行の最後の到達点を記録したものです。これを見ると、明らかな規則性が見抜けません。いまサイに関しては着実に事実の集積・整理が進んでおります。次の高みへの飛躍を予感する次第です。

皆様のご活躍を期待します。

「心を科学する博物館」と
一般の御寄付御礼
(12/13受領分まで)

金四〇万円也 品川 次郎 様
金六万円也 木村 陽一 様
金三万一千円也 匿名 様

一月本部例会のお知らせ

THE SOURCE CODES
ソースコードは何ですか？

講師 トレイシー・アッシュュ氏

この講演は、超人的な潜在能力のフロンティアと、超人的な潜在能力発揮のために、「ソースコード」を入力する技術をご紹介します。

今回は3つの面から講義します。

(1) ソースコード・フィールドにおける科学的な証拠

(2) 高い振動数の、瞑想技術と超人的な潜在能力への移行の探求。何が結果を加速するか？

新しい人間のもつ潜在能力の卓

越性は、危機的な世界的変化の解決策のために、どのように解決されるのか？

(3) サイ能力のデモンストレーションと調査

(4) 日本サイ科学会会員など参加者がソースコードを体験し、最後に「世界平和瞑想」を行います。

●トレイシー・アッシュュ氏のプロフィール

世界で一万四千人以上のオピニオンリーダーに実施した「ライフ・ビジョン・コンサルテーション」はメーカーや意識の高い個人を変える。学校および療養所において三万人を超える個人のトレーニング。トレイシーは、意識のネットワーク、意識の療養所、ライフビジョンスクール、サイキックスクール、そして神聖なヒーリングの創造者です。

1999年から2015年の活動。ライフビジョン・コンサルテーション、ライフビジョンスクール、サイキックスクールが、ロンドンと東京で設立された。意識の療養会が、富士山、エジプト、ヨーロッパで開催される。シンクロ

ニシティ・ジャパン(株)、サイキック研究の大学、生命の木フェスティバル、日本サイ科学会、マインド・ボディ・スピリット・フェスティバル、ロンドン・スピリチュアリティ・カレッジ等々におけるプレゼンター・コンサルタント。

※英国人のトレイシー・アッシュュ氏は、卓越したヒーリング能力をもち、多くの人々の意識の変容と魂の目覚めを起こしてきた、著名なサイキック指導者です。

日本サイ科学会本部例会で御講演が聴ける貴重な機会ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加願います。

日時 平成27年1月10日(土)

午後1時半〜5時

会場 北とびあ7階701会議室

交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤

羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

二月本部例会のお知らせ

物質化現象 無から有は生じる

講師 スワミ

宇宙出現のビッグバンと同様の現象を、タイの洞窟の中で100%に近い再現性をもって、再現可能である。そこでは、激しい火花が爆発音を伴って発生し、それに伴い、様々な物質が出現する。

金属状の物、鉱物状の物、等が多数出現し降ってくる。多くの場合、それらの物質は、融解後急速に冷えて固まった形状を示し、出現直後は高温である場合が多々見られる。

その為、それらの出現物を受け止める回収用の天幕状の布が、焼けて小さな穴が空く場合もある。これらの出現物は一度に数十個以上、まさに雨のように降ってくる場合が多い。

この現象は、無から有が生じる物質化現象であり、まさに超小型のビッグバンである。

また、細長い金属質の棒状物が

洞窟の天井より出現し、あたかも蛇のようにクネクネと動き回る。直径は5センチ程度の場合が多いが、長さは数十メートルに及ぶ場合もある。

先端部は動き回り、参加者の方へ近づくと場合もある。もう一方の先端部は、天井の中にあるため確認できない。このような意思を持った生命体のような動きをする金属質の棒状物質が数本出現する場合もある。

これら全ての現象は、高感度カメラによって動画撮影可能である。

講演では、この現象の紹介と、この現象発生のメカニズムを説明し、また、出現した物質を持参し、公開します。これらの現象を撮影したビデオも公開致します。

●スワミのプロフィール

広島県立呉三津田高校出身。
筑波大学第一学群自然学類卒業。

幼少期より理解困難現象の体験が多かったため、それらの現象の物理学的説明を行うことを目的に、物理学者となることを目指す。無から有が生じたかに思われる、インドの聖者達の行う物質化現象

の理論的説明を人生の目標とし、物質化を行える聖者・ヒーラー達を訪ね歩いたが、最終的には自身も物質化を行えるようにならなければ、真の物質化の解明にはならないことを悟り、十数年にわたるインドの聖者の弟子となり修行に明け暮れた。

2000年に全ての修行を納め日本に戻り、物質化の解明はもとより、自らも物質化を行い、多くの人々に出現させた物を差し上げてきた。

その後、さらなる真理を求めフイリピンに渡り、心霊治療の能力を獲得し、ヒーラーとなる。

その後、フイリピンジャングルの中で、4年間、魔法学校の教頭として、各種奇蹟顕現の手法を教授した。3年前より、タイにて、神聖秘法術科学学校を開催し、多くの奇蹟顕現手法の伝授と実践を行っている。

物質化現象の理論的解明に一区切りが付いた現在、究極の課題であるビッグバンの再現を行っている。

※普段外部の会ではほとんど講演されない スワミ が能力者となられてからの久しぶりの御講演な

ので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加願います。

日時 平成27年2月14日(土)

午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室

交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

※3月の本部例会はお休みとなります。

◆ ◆

関西日本サイ科学会

一月研究集会のお知らせ

手相の神秘と科学

— 脳の活用で手相が変わる —

講師 高峯 秀樹氏

日時 平成27年1月17日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

九州日本サイ科学会
一月新年会のお知らせ

日時 平成27年1月25日(日)

午後12時～2時

会場 割烹 大判

(095・821・2626)

交通 長崎市役所徒歩1分

桜町駅から107m

会費 4000円

予約等問合せ

095・883・6048

交通 諏訪神社前徒歩5分

会費 未定

予約等問合せ

095・883・6048

北陸日本サイ科学会
二月研究集会のお知らせ

エナジーセンター

～チャクラでみる五感療法～

講師 苗 鉄軍 先生
(工学博士、日本サイ科学会理事)

日時 平成27年2月22日(日)

午後1時半～4時半

会場 ホリスティック健康科学研究

究所 研修室

(石川県金沢市高岡町12・45
ロイヤルシャトー南町1F)

詳細はお問い合わせ下さい。

北陸日本サイ学会(ホリスティッ

ク健康科学研究所内)

TEL076・234・6634

関西日本サイ科学会
二月研究集会のお知らせ

比較言語学で読み解く記紀が
黙して語らない日本の古代の
真実

講師 坂井 洋一氏

日時 平成27年2月21日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 靱公園内

講師 長堀 優氏
ゆたか

日本の目覚めは世界の夜明け

日時 平成27年3月14日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

九州日本サイ科学会
二月研究集会のお知らせ

講師 島 重忠氏
(伊勢宮神社 宮司)

※タイトルは未定です。

日時 平成27年2月8日(日)

午後1時～3時

会場 伊勢宮神社内楠照殿

長崎市伊勢町2・14

(095・823・2665)

中部日本サイ科学会
三月研究集会のお知らせ

会員数名の研究・体験発表

日時 平成27年3月14日(土)
午後1時～5時
会場 博愛^{博愛}癒院^{癒院}ホール
名古屋市昭和区
御器所3・4・21
交通 地下鉄鶴舞線荒畑駅下車
3番出口から徒歩1分
会費 無料
※会員以外の方の参加も大歓迎
問合せ052・871・9060

中部日本サイ科学会
九月研究集会報告

日時 平成26年9月20日(土)
会場 博愛^{博愛}癒院^{癒院}ホール
会員の鈴木通敬氏を中心に、非
会員も含め十数名にて、座談会を
開催しました。

第24回宇宙生命研究分科会

第7回ヒポクラテスシンポジウム

日時 平成27年3月29日(日)
10時～17時30分
会場 品川健康センター会議室
品川区北品川3・11・22
03・5782・8507
交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分
J R 京浜東北線大井町駅東
口から東急バス「渋谷駅」
行で「新馬場駅前」下車
会費 会員 五〇〇円(日本サイ科
学会・サトルエネルギー
学会・太陽の会会員)
一般一〇〇〇円
(世話人 阿久津 淳)

第2回スピリチュアル研究
分科会のお知らせ

日時 平成27年4月26日(日)
午後1時半～5時
会場 北とびあ7階701会議室
(東京都北区王子1-11-1)

会費 会員 500円
一般 1000円

※参加ご希望の方は予約が必要で
す。できるだけメールで
E-mail office21@psj.smil.boke.jp
宛てに、メールを使わない方は、
FAX047・330・4091
に「スピリチュアル研究分科会
参加希望」と「住所 氏名 電話
番号 会員、非会員の別」をお知
らせ願います。

平成25年9月本部例会報告

ブラジルの奇跡のヒーラー
ジョン・オブ・ゴッド

講師 奥野 節子氏

今日お話しするジョン・オブ・
ゴッドですが、私は2007年に
ニューヨークで初めてジョン・オ
ブ・ゴッドに会って以来、これま
で六回ほどブラジルの診療所を訪
れました。1番新しいところでは
先月の八月に訪れました。ブラジ
ルの首都ブラジリアから車で1時

間半ほどの小さな町アバデアニ
アに彼の診療所があります。

聖イグナチオの家…通称カーサ
と呼ばれ、ここには心や体の病を
癒やすため、世界中から毎日何千
人もの人々が訪れています。医師
からも見放されたガンが治った、
あるいは失明寸前だった人が目が
見えるようになった、というよう
な奇跡の話があふれています。

私は翻訳者ですので、ヒーリン
グの科学的分析については、お話
しできませんが、現地を数多く訪
問した者として、写真やビデオを
交えながら、現地で経験したヒー
リングについて、本日はご紹介し
たいと思います。

お話のアウトラインですが、ま
ず前半はジョン・オブ・ゴッドと
はどんな人物か、ジョン・オブ・
ゴッドの体を借りてヒーリングを
行う「エンティティ」とはどん
な存在か、カーサのヒーリングの
背景にある「スピリティズム」と
いう考え方はどんなものか、カー
サのシンボルである「聖なる三角
形」とは何を意味するのか、につ
いてお話しします。続いてカーサ
でヒーリングを受けるまでの行程

についてお話しします。

後半では先月カーサで購入しました新しい紹介のDVDをお見せ致します。

ジョン・オブ・ゴッドは本名をジョアン・テイシエイラ・ダ・フアリアといいます。彼はカトリックの貧しい家庭に生まれ、教育は小学校2年生までしか受けられませんでした。そのために今でも読み書きができません。初めてヒーリングを行ったのはわずか16歳のときで、仕事を探しに行ったカンプクランテという町でした。

空腹でふらふらと水際に行ったとき、美しい女性に呼び止められ、後にそれは聖リタのスピリットと判ったのですが、スピリティストセンターに連れていかれます。そこに着いたとき、あまりの空腹で失神してしまいます。目覚めると失神中にソロモン王が入り込み、50人以上にヒーリングを行ったと言われました。

その後指導霊であるエンティティーから教えと導きが与えられ、ブラジル中を旅して病人を癒やし、ミディアム・ジョアンと呼ばれるようになることができました。ミディアム

ムというのは、霊媒師という意味です。

1979年にはヒーリングに専念するため、聖イグナチオの家(通称カーサ)を設立し、それ以来今も無料でヒーリングを続けています。世界で現存するヒーラーの中で最強と言われ、エイズ、ガン、失明者、脊椎障害、統合失調症、鬱病など、様々な病気を癒やしてきました。

一例としてはペルーのフジモリ元大統領の腕の筋萎縮症と息子さんの精神障害を治して、ペルー政府から名誉勲章をもらっています。数年前のことですが、アメリカで有名なトークショー司会者であるオペラウインフリーもカーサを訪問して、スペシャル番組を作って、アメリカ中に放映されました。そのためこの2、3年かなり訪問客が増えているのですが、ジョン・オブ・ゴッド本人の態度はまったく変わっていません。

水曜日から金曜日までカーサの仕事があるので、それ以外では自分で車を運転して、いろいろなボサダ(宿泊施設)に食事に来たり、他のお店を訪れているようです。彼を見かけたら、声を掛け

ると気軽に写真を撮ってくれたり、握手したりしてくれます。

去年滞在したときには、私たちが宿泊したボサダに夕食時間も終わった頃にジョン・オブ・ゴッドがやってきて、私たちが食べた残りのもので食事をしていました。それを見て、申し訳ないと思っただけです。でもそのときに、挨拶に行くときにこやかに対応してくれて、握手してくれました。

彼の口癖が「治療しているのは神であって、自分は誰も癒やしていない」ということなのですが、まったくその通りで、けっして奢らず非常に親しみやすい印象です。

ではエンティティーとはどんな存在か? ジョン・オブ・ゴッドのヒーリングで重要なのは、エンティティーと呼ばれる霊的存在です。エンティティーの中には、過去に医療に携わった医師もいれば、スピリチュアルな指導者、聖職者などもいて、その数は現在およそ38人です。彼らがジョン・オブ・ゴッドの体を借りて、ヒーリングを行っています。ヒーリングの間、ジョン・オブ・ゴッドの意識はまったく無くなり、これを「フル・ト

ランス・ミディアム」というのですが、その間に起こったことはジョン・オブ・ゴッドはまったく覚えていません。

カーサのメインルームに飾ってあるエンティティーの絵があります。聖リタ、聖フランシスコ、ペンティアード医師、ジョゼ・バルデイビーノ医師、アウグスト・デ・アルメイダ医師、聖イグナチオ・デ・ロヨラ、オズワルド・クルス医師、聖フランシスコ・ザビエルとなります。

ではもう少し代表的なエンティティーについて、お話ししたいと思います。

◎聖イグナチオ・デ・ロヨラ…1941年にスペインのバスク地方の貴族の家に生まれました。軍隊に入隊し、戦いで脚が不具になります。療養中にスピリチュアルな書物に目覚め、人生の後半はその探求に捧げ、イエズス会を設立しました。イグナチオは、お祈り、瞑想、内省を取り入れた「霊操」という自己教育法を編み出しました。体を鍛えるのが体操なら、霊魂を磨いて訓練するのが、霊操です。聖イグナチオの家は霊操を実践する場所です。毎年彼の誕生日に

はミディアム・ジョアンの中に聖イグナチオが入り込みます。聖イグナチオが入るとミディアム・ジョアンは脚を引きずり、深い蒼色の眼に変わります。

◎聖フランシスコ・ザビエル…インド諸国と日本へのキリスト教伝道者として知られます。1552年に亡くなり、埋葬後3度に渡って遺体が掘り起こされ、医師や聖職者によって調べられました。遺体は元のままでした。

1614年にイエズス会はザビエルの右手を切断し、ローマに持ってくるように指示しました。これは現在ローマの教会に安置されているザビエルの右手の写真です。今はカーサにはないのですが、2、3年前まで、これはメインホールに飾られていました。

ザビエルは右手で洗礼の儀式を行い、病人を癒やし、奇跡を起こしたと言われています。この話を聞いたとき、私はザビエルは歴史で習ったのですが、あまりヒーリングを行ったということは聞いていなかったのです、ちょっと驚きました。

◎アウグスト・デ・アルメイダ医師…聖イグナチオの家で1番多く

現れます。前世で軍隊にいたこともあれば、医師であったこともあります。アウグスト医師がミディアム・ジョアンに入ると、権威的態度が見られ、秩序と尊敬を要求します。



◎ジョゼ・バルデイビーノ医師…アウグスト医師と並んで、よく現れます。優しく思いやりがあり、愛にあふれています。バルデイビーノ医師がミディアム・ジョアンに入ると、マヒの患者を治療するパワフルなエネルギーを持つているため、彼が手で触れて、歩くように命令し、奇跡的なヒーリングが起こることが多いです。

この他に、ソロモン王、オズワ

ルド・クルス医師などがいて、この数年はさらに新しいエンティティーが現れ始めています。これらの肉体を持たないスピリットたちは私たちにヒーリングを提供するという使命を持っていますが、それはスピリットの世界でエンティティー自身が進化するために必要なことです。

この考えはスピリティズムの教義に基づいています。スピリティズムとは何か？ですが、スピリティズムの提唱者は19世紀前半に活躍したフランス人のアラン・カルデックです。その基本的な考え方は、

1. スピリットは我々が「肉体を持つ以前」も「肉体を離れた後」も存在する
 2. スピリットは不滅である
 3. スピリットは再生する
 4. スピリットと生身の人間はコミュニケーションが可能である
- 特に霊媒師を介して、コミュニケーションは可能である

このような背景のもと、ブラジルの心霊治療家は特定の霊的存在の指導を受けて、ヒーリングを行っています。ブラジルの町には、

スピリティズムの集会所が沢山あり、平日でも多くの人々が訪れています。ここでは毎日スピリチュアルヒーリング（一種の手当療法）が無料で行われています。

次にカーサのシンボルである「聖なる三角形」についてお話しします。カーサのメインホールに入ると、ステージの真ん中の壁に大きな三角形が掛けられています。

このように三角形の底辺のところには、お祈りやお願い事を書いた紙や写真が沢山はさまれています。三角形はカーサのシンボルで、底辺が「慈善」困っている人に奉仕知ること、右の辺が「愛」自分を愛し、他人にも愛を与えること、左の辺は「信じること」を意味します。この3つの言葉がカーサでヒーリングを経験するために重要なことです。このようにして三角形のところで皆祈りを捧げています。三角形で祈っただけで、奇跡が起こったという話はよく聞きます。

カーサでの治療は、人が列に並んだ段階からエンティティーがヒーリングを始めているので、もつとえば人が自分の国でカーサに行こうと決心した時から導きが始

まっているので、ジョン・オブ・ゴッドの前でのセッションが数秒間であったとしても、治療が終了しているのです。どのような返答をもらった場合でもセッションが終わると最後にカーサのスープを飲んでからポサダに戻ります。

ジョン・オブ・ゴッドの前に行ってエンティティーに会うと、たいていの場合は手術か、カレントルーム(自発的な瞑想)か、ハーブ(個別のエネルギを注入したパッションフラワー)なんですね。

手術の場合は当日か翌日、手術のラインに並びます。手術は目に見えない手術(スピリチュアル)と目に見える手術(フィジカル)があります。前者は治したい箇所か、複数の箇所を治したいときは胸に手を当てて待っていると、霊媒師から10〜15分位折りの言葉を受けます、後者は①鼻に柑子をつっこむ ②眼を削る ③腕や腹を一部切開する、の3種があります。どちらも同等の効果があります。

※後半は、アメリカ人が撮影したジョン・オブ・ゴッドのヒーリングのDVD動画を放映した。

第三八九回関西日本サイ
科学会研究集会報告訂正

よみがえる日本・古事記以前の
のくにの姿

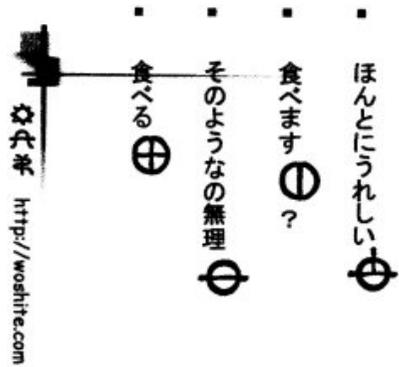
講師 平岡 憲人氏

「サイジャージャーナル11、12月号」の報告で使われた8、9頁の図版5枚にミスがありましたので、お詫び申し上げます。

以下の「ラシテ文字」の5枚と差し替えをお願い致します。

わ	や	さ	ら	た	ま	な	は	か	あ	
w	y	s	r	t	m	n	h	k	a	
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	○
	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○
※	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	き	き	き	き	き	き	き	き	き	き
☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆

助詞の働き



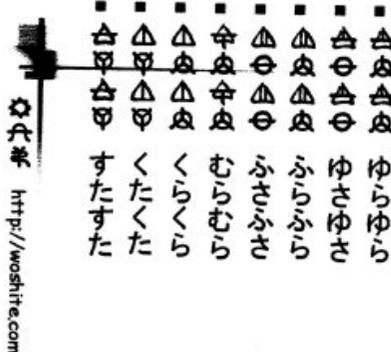
⑤ 文法とラシテ

助詞の働き

- ほんとうにうれしいや
- 食べますか?
- そのような無理さ
- 食べるな



③ 擬音・擬態語とラシテ



③ 擬音・擬態語とラシテ



第三九〇回関西日本サイ 科学会研究集会報告

放射能分解理論の発見と可能 技術の数々

講師 高尾 征治氏

とき 平成26年7月19日
ところ 大阪科学技術センター



高尾氏は1943年福岡生まれ。1996年九州大学工学部化学機械工学科卒、2007年九州大学定年退官。現在、数社の技術顧問。著書『脳内パラダイム革命』がある。

たらず新しい宇宙生命像』、『新時代を拓く量子水学説』、分担執筆『フリーエネルギーはいつ完成するのか』、明窓出版(2013)など多数。

高尾^{*1}が提唱する量子水学説は、もともと放射能の分解を意図して構成された理論ではない。九州大学在職中、多くの水の改質機能技術を見聞する中で、水中では微量ながら原子転換が常温常圧で自然に起きている事実を突き止め、それを科学的に説明するために弁証法的物神一元論という新しい哲学的礎のもとで体系化された現象論、実体論、本質論からなる新しい学説である。

ところが、2011年の3・11震災に伴う福島原発事故が起き放射能汚染問題が突発し、徐染に有効な手だてはないものかという問い合わせが殺到した。そこで、常温常圧で自然に原子転換が起きる水の改質機能化技術を持つてすればそれが可能になるのではないかと考え、新技術を開発された方々に現地福島で放射能徐染実験を行うよう呼びかけた。その結果、殆どの方々から「放射能が低減できた」という報告が相次ぎ、それに

励まされて放射能問題に理論、実験の両面から本格的に取り組むことになった。

その結果、以下に示すように従来科学の成果を発展的に継承した新しい放射能分解理論を発見し地表面空間線量など放射能分解データを科学的に説明できるようにした^{*2}。

1. 放射能分解理論の発見

従来科学は常温常圧で自然に起きる原子転換を否定し、異端視、排斥してきた。しかし、それは従来科学自身がつきとめている別の事実や考え方と矛盾している。というのは、素粒子の中で唯一ニュートリノという素粒子が作用すれば原子番号がプラマイ1変化する原子転換が自然に起こり^{*3}、半減期に関わり放射性元素は寿命が来れば非放射性元素に自然に原子転換する^{*4}ことが確かめられているからである。例えば、従来科学は半減期30.17年という原子番号55の放射性セシウム137(¹³⁷Cs⁵⁵)は、ベータ線(β)やガンマ(γ)線を放射して原子番号が56のバリウム(⁵⁶Ba¹³⁷)になるとの観測事実まで突き止めている^{*4}。

これは原子転換による化学転換ととらえるべきで、このような原子転換を可能にする素粒子は100種を超える素粒子のうちニュートリノしかない。というのは、正ニュートリノ(ν)が作用すると原子番号が1つ多いプラスの原子ラジカルに転換され、電子(e^-)、すなわちベータ(β)線が電荷保存的に発生し、反ニュートリノ($\bar{\nu}$)が作用すると原子番号が1つ少ないマイナスの原子ラジカルに転換され、陽電子(e^+)が電荷保存的に発生し、電子と陽電子が衝突すればガンマ(γ)線が発生するからである。

さらに、現代物理学は、真空はエネルギーに満ちており正、反ニュートリノや電子、陽電子などの正、反粒子が対発生・対消滅するとみている。しかし、それが起きる前・後の状態はゼロになるので、それは虚・実境界域のゼロ点で起きるということを暗に含んでいることになる。すなわち、従来科学の放射性物質の寿命崩壊論にはゼロ点生滅のニュートリノが潜んでいる。それ故、人工的にニュートリノをゼロ点生滅させる技術があれば放射性物質は自然に起きる原

子転換で化学的に分解できることになる。

2. 放射能分解可能技術の数々

その要請に答えられる技術は数多くある。

一つには、ナノテク技術がある。フルボ酸、竹炭、燃えない高機能炭、セラックスMや、セラミック炭素^{※5}、^{※6}などのセラミックス、 γ G7水、エネカ水、ナノバブル水などの改質機能化水、微泡、微小水滴、微粒子など広範囲に及ぶ。

高温高压で焼成したセラミックス中の珪酸や珪酸塩は、図1に示すナノ結晶構造をしている。珪酸は正四面体構造(二次元では正三角形)、珪酸塩は珪酸が六角形状に集積した構造(二次元では六芒星型)で、その中心に微小な結晶孔(薄緑色)があり、そこからニュートリノなどの量子エネルギーが渦巻いて湧く。

図2、3、4に微泡、微小水滴、微粒子から湧くニュートリノなど量子エネルギーの実証写真を示す。それぞれの中心からニュートリノなど量子エネルギーが渦巻いて湧いていることがわかる。

図1 セラミックス含有珪酸、珪酸塩のナノ結晶構造

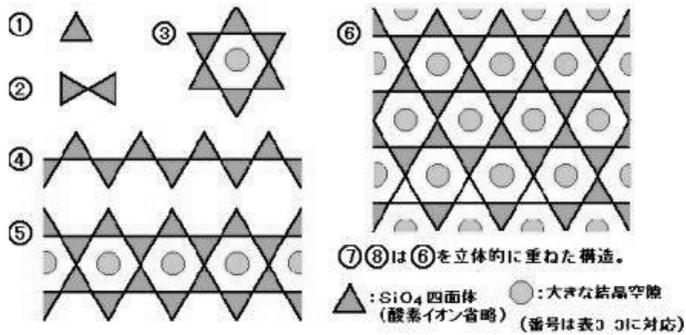


図2 微泡(水中で青白い閃光に)

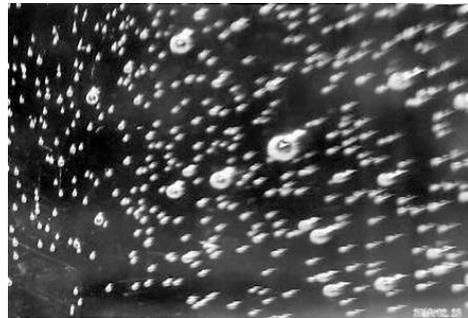
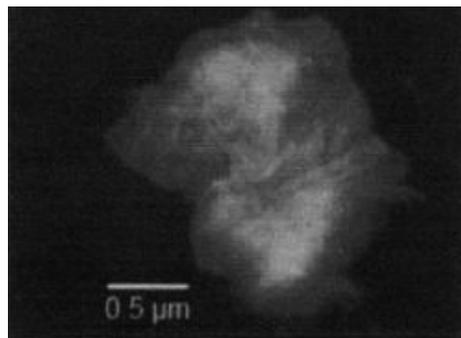


図3 水滴(表面の針状突起白色光)



図4 珪酸塩コロイド粒子



ナノテク技術に位置する放射能分解実験の事例として、河尻^{※5}、^{※6}が現地福島で20000坪の放射能汚染原野で行ったセラミック炭素の埋設結果実験がある。図5、6に実験結果を示す。すなわち、0.5トンのセラミック炭素を20m四方の4箇所と中心1箇所、

計5箇所に計2.5トン埋設した。30m径の八角形内の8ライン上に中心を含めると計4点の計測地点を設け地表空間線量を計測した。その結果、3~4 μ Sv/hの地表放射線量が約半年で半減することが確かめられ、結界域の10倍にあたる200m先までも影響を及ぼすことがわかった。

二つには、微生物技術がある。微生物は常温常圧で自然に原子転換を起こす能力を持つことが1975年ノーベル物理学賞の受賞

図5 セラミック炭素の埋設結果
位置と地表面空間線量計測地点

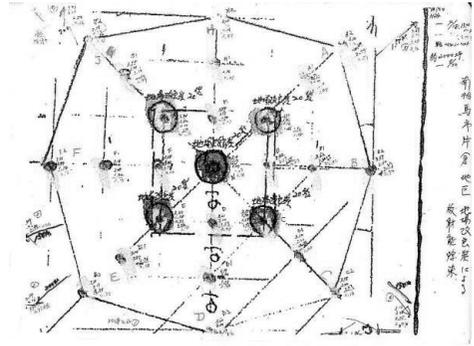
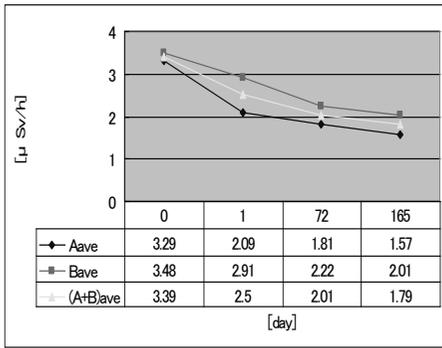


図6 空間地表面線量の経日変化



候補者にノミネートされたケルプランにより経験的に主張され、高尾の量子水学説により科学的に説明されている。この種の微生物技術を駆使した実験事例として、

1. 田崎和恵金沢大学名誉教授や
2. 高島康豪博士などによる現地実験がある。

高嶋は複合微生物発酵技術を用いた2ヶ月半の現地実験で、対照区で地表面放射線量が増加する中でも、試験区ではその増加分を含めて大きく減少させることを確かめている。EM菌、NB菌なども現場で使用され除染実績をあげている。

三つには、永久磁石活用技術がある。

永久磁石はゼロ場ではないがゼロ磁場を形成し、そこからニュートリノなど量子エネルギーが生減することが確かめられている。そのような技術事例として、渡部のニュートリノゼロ場転換浄水器、上森のネオガイアやテラファイト器具、また、八重樫の通気口に永久磁石を配した燃料不要の廃棄物分解装置がある。燃料不要の廃棄物分解装置を用いた実験では、汚染杉皮パークの放射能が60〜70%

分解できるとの実験データがある。

四つには、広範囲の酵素触媒技術がある。

高尾^{*1, *2}の量子水学説は、武谷三段階論を発展的に継承し現象論、実体論、本質論の三つからなる。その本質論では、従来科学が不問に付してきた酵素触媒のエネルギー本質が、酵素・触媒素材のナノ結晶構造や化学構造に波動共鳴してそれらの中心のゼロ点から渦巻いて生減するニュートリノなど量子エネルギーであることが科学的に突き止められている。

その実験事例の一つに、小原の現地福島放射能汚染水田での実験がある。すなわち、原之後の開発した酵素液を200倍に希釈した水溶液を反当たり450リッター、噴霧散布して地表面放射線量を計測した。図7に地表面空間線量の計測結果を示す。8つの広域試験区で4〜5μSv/hの地表面空間線量が約二週間後には1/10以下に減少していることがわかる。

五つには、特定の絵画や図像を描き、珪酸などと組み合わせ封入した波動器具がある。安藤が製

作しているステンレス製の「こづち」や「ミロク」あるいは上野^{*7}の「7龍神図」がそれである。

絵画に描かれた真正32面体などの図象や日本画を描く時の使う絵の具の素材に触媒活性の高い物質が使われているのでゼロ場が形成され、そこからニュートリノなど量子エネルギーが渦巻いて生減する。

上野^{*7}は、河尻の20m結界埋設法を導入して現地福島放射能汚染水田でビニールコーティングした「7龍神図」の埋設結果実験を行った。

図8、9にその実験系と実験結果を示す。ビニールコーティングした黄金色の「7龍神図」を4隅に埋設し、その4箇所の青色で示す4点(acg)と緑色で示す5点(bdeth)、計9点で地表面空間線量を計測した。このように計測した9点の平均放射能は、赤色の太線で示すように、当初2μSv/hだったが、23日後には1.5μSv/hに減少している。

また、この減少にニュートリノが関与しているということは、図10に示すように「7龍神図」の黄金

図7 OJS混合液体散水システムによる放射能除染(農地除染の経日変化)

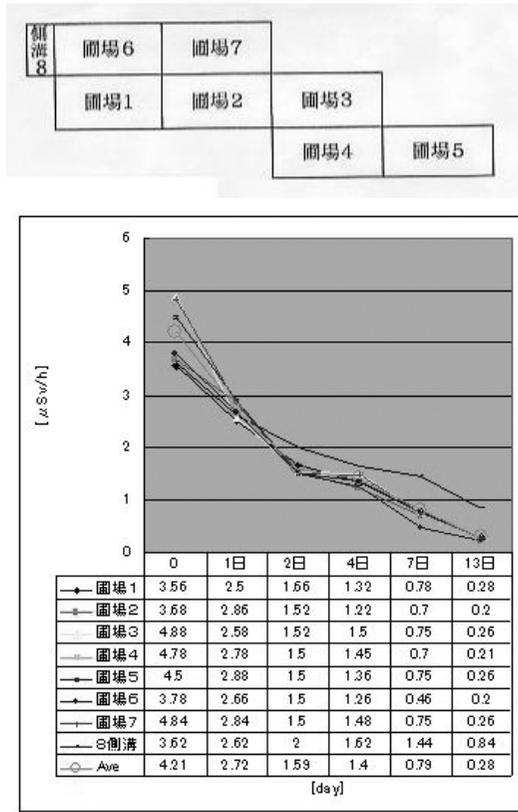


図8 「7龍神図」埋設結果位置

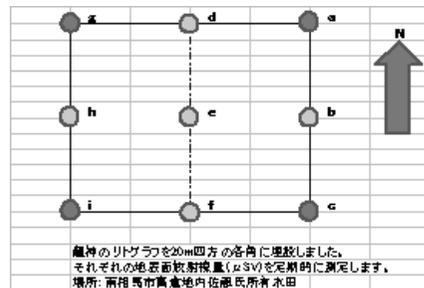


図10 「7龍神図」埋設結果の黄金色の青色変化

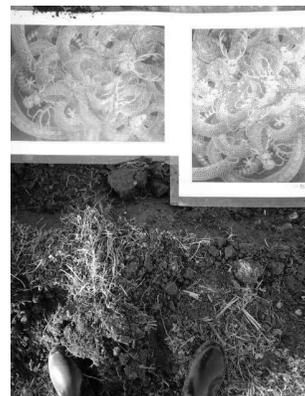


図9 「7龍神図」埋設結果による地表放射線量の減少

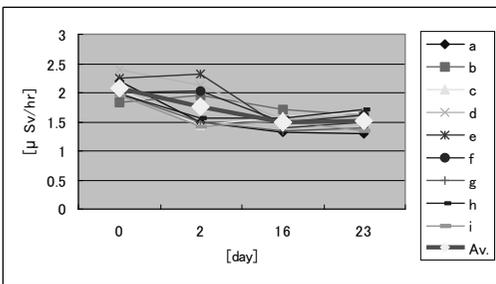


図11 セラミック炭素梱包白色布袋の青色変化



色部分が青色に変化していることから伺える。相前後するが、このことは、図11に示すように図5、6に示す河尻のセラミック炭素の埋設実験系でも確かめられた。青色変化はニュートリノ反応の兆候を示す特徴でもあるからだ。

- 【引用文献】
- ※1 高尾征治：『宇宙生命三都物語』、pp.1-414、Ecoクリエイティブ(2013)
 - ※2 高尾征治：『新時代を拓く量子水学説』、pp.1-454、Ecoクリエイティブ(2014)
 - ※3 日本物理学会編：『ニュートリノと重力波』、pp.1-257、裳華房(1997)
 - ※4 桜井 弘：『元素111の新知識』、p.249、講談社(2006)

なお、この種の講演発表は、日本物理学会^{※3}、環境放射能除染学会^{※6}、^{※7}でも行った。

※5 高尾征治：「27aX-E-4 放射性元素の寿命崩壊論に潜むゼロ点生滅ニュートリノと技術事例」、日本物理学会第68年会講演概要集、(2013年3月27日、広島大学)

※6 高尾征治：「放射性元素の寿命崩壊論に潜むニュートリノゼロ点生滅と技術事例」、環境放射能除染学会第2回研究発表会要旨集、p.41(2013年6月5日、タワーホール船堀(東京))

※7 上野未央・高尾征治：「絵画「7龍神図」の埋設結果による放射能分解実験」、環境放射能除染学会第2回研究発表会要旨集、p.171(2013年6月5日、タワーホール船堀(東京))(以上高尾氏)

◇ ◇
現代物理学では否定されている原子転換の可能性について理論的に、また実験的に示された。

この技術が今後早めに常識となることを期待するものである。

当日の参加者は会員15名、非会員21名合計36名でした。今回のカセットテープは20000円です。事務局0797・22・6425まで(関西日本サイ科学会会長

河野 明夫)

本部例会ビデオ映像販売のお知らせ

ハイビジョン映像・音声ファイル(約3時間)を記録したUSBメモリでお送りしますので、ほとんどのデスクトップあるいはノート型のウインドウズ・パソコンで見ることが出来ます。
価格 1本につき 三五〇〇円 (送料含む)

以下のビデオ映像から、御注文願います。

◎2013年4月本部例会

講師 大野百合子氏

「宇宙図書館(アカシックレコード)から見た世界の仕組みと私たち―あなたは誰なのか―」

◎2013年5月本部例会

講師 浪平博人氏

「イメージによる瞬間教育」

◎2013年6月本部例会

講師 松原秀樹氏

「アレルギーを治す秘訣」

◎2013年7月本部例会

講師 酒向猛氏

「千鳥学説を知るために」

◎2013年9月本部例会

講師 奥野節子氏

「ブラジルの奇跡のヒーラー ジョン・オブ・ゴッド」

◎2013年10月第23回全国大会

シンポジウムテーマ

「サイと自然治癒力」

◎2013年11月本部例会

講師 小久保秀之氏

「生体センサによるサイ研究―超能力研究の最前線」

◎2014年1月本部例会

講師 小川博章氏

「魂の発見」

◎2014年4月本部例会

講師 西川真知子氏

「生命の智慧 アーユルヴェーダーアーユルヴェーダから見る生命のすばらしさ」

◎2014年5月本部例会

講師 岩根和郎氏

「般若心経とサイ科学」

◎2014年6月本部例会

講師 秦西平氏

「気超科学と宇宙生命哲学 新病気学」

◎2014年7月本部例会

講師 小林信正氏

「ラップ現象の究明くオーブとの関連性について」

◎2014年9月本部例会

講師 石川允朗氏

「死後の世界と輪廻転生についての一考察」

◎2014年10月第24回全国大会

シンポジウムテーマ

「サイと天変地異」

◎2014年11月本部例会

講師 坂井洋一氏

「日本人は知らない！縄文日本の驚くべき真実」

メールまたはFAXで左記に掲載のメールアドレス(またはFAX番号)に、「201〇年〇月〇〇氏ビデオ購入希望」と記して、郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、御注文願います。
2週間以内に発送致します。

E-mail office21@psjmail-box.ne.jp
FAX 047・330・4091

お支払いは、到着後同封の郵便振替用紙で8日以内にお振り込みただければ、結構です。



《本部月例会・全国大会講演録の販売》

本部月例会・全国大会のICレコーダーによる録音の音声ファイル(拡張子wma)なので、聞くためには「CD、DVDプレーヤー」の付いたウィンドウズ・パソコンが必要になります。

以下のリストから興味のある講演、今一度聞いてみたいものを御注文願います。講演時間は平均3時間前後で質疑応答等も含まれます。マイクからの直接録音ではなく、やはり会場のスピーカー音の録音ですので、完璧な鮮明さではありませんが、もちろん内容は普通に聞き取れます。当日放映されたビデオやOHP等で紹介された図や写真は付いておりません。

講演録の代金は1回分2,000円(送料等含む)です。お送りするのは講演録の入った「CD-R」で1枚につき6、7回分が入ります。(一部のノートパソコンを除いて、大抵のウィンドウズ・パソコンには、「CD-Rファイル」が読めるプレーヤーがついております)

※御注文は郵便局にある「郵便振替用紙」の通信欄にご希望の講演録の『年/月 講師名』と金額(1回分2,000円)を記入し、郵便振替口座 00100-2-15344 加入者名 日本サイ科学会にお振込願います。

あるいは、メールで先に事務局 office21@psij.mail-box.ne.jp に注文されても結構です。

- 2010/10/10 第21回全国大会 シンポジウムテーマ「2012年問題とサイ」
- 2010/11/14 秋山真人氏「夢診断と未来予測」
- 2010/12/12 宇治橋泰志氏「新たな予防医学を目指して」
- 2011/ 1/ 8 新年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会
- 2011/ 2/12 石川和孝氏「世紀末的神示と予言の陰陽道的思考」
- 2011/ 5/14 赤松瞳氏「最新脳科学と透視能力」
- 2011/ 6/12 井出治氏「未知エネルギーの研究とチャネリング」
- 2011/ 7/18 古村豊治氏「なぜあなたに大きな奇蹟が起こらないのか?」
- 2011/ 9/10 鈴木俊輔氏「3・11新文明の幕開け～日本人の使命～」
- 2011/10/ 9 創立35周年記念大会 シンポジウムテーマ「パワースポット」
- 2011/11/12 小林信正氏「心霊現象について」
- 2011/12/10 忘年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会
- 2012/ 1/14 ミッツィ植田氏「縄文スピリットでサバイバル」
- 2012/ 2/11 小林正典氏「サイ科学に関係した電気・磁気の研究の紹介」
- 2012/ 4/14 ロン薄葉氏「オーブ現象とこれまでの歩み」
- 川崎利男氏「オーブ観察7年間その傾向と残された課題」
- 2012/ 5/12 徳永康夫氏「命とソマチットと般若心経の探検」
- 2012/ 6/10 松永修岳氏「密教開運術『強運の成長戦略提言～氣を高めれば運はやってくる～』」
- 2012/ 7/14 中島敏樹氏「水と珪素の集団リズム力」
- 2012/ 9/ 8 ホンマシュウジ氏「未曾有の天災・人災を目の当たりにして、サイ科学は何ができるのか!？」
- 2012/10/14 第22回全国大会 シンポジウムテーマ「コンタクト」

響をうける。つまりサイ(気)は季節に従って流動していくと推定した。場所が異なると(北京、八王子、福島、長谷村など)効果に差違が生ずる。これは、場所によってサイ(気)の存在に濃淡がある為だろう。サイ(気)は地球上に非均質に存在しており、しかも流動しているらしい。冬や夏では、効果は成長遅延に作用する。好ましい早春や春になると、サイ(気)は成長促進に転ずる。受精卵に対しては、気(サイ)はDNAの2重らせん構造(水素結合)を切る、又は繋げる作用が有る(気の活性化エネルギー $\Delta H=1.4eV$)なので、品質改良が期待出来そうである。水晶、無誘導コイル、磁石、ピラミッド等から成る「人工外気集積装置」を用いた福島市の実験では、小豆類(植物)のテスト結果として、サイ(気)の効果は、発芽率にほぼ比例して生ずる(季節による波型の変動)という結果を得ている。

4. まとめ

上記を総合して判断する。オーブ(たまゆら)とサイ(気)は、ともに、電磁波と光の間の波動域(テラヘルツ波)。より正確には、近赤外線領域の波動範囲内に潜んでいる。この領域は、人々が知覚出来る五感の感覚を超えているので、肉眼などでは見る事は出来ない。また、オーブ(たまゆら)やサイ(気)は、物質面と意識面を兼ね備えている(素粒子の相補性)、つまり、オーブ(たまゆら)の出現は、人の意識に関係するので、マクロPKの一種であると言えよう。オーブ(たまゆら)とサイ(気)は、地球全体を包み込むエーテル類似のエネルギーに関連して(空間に含有して、包み込まれて)存在している、と考えられる。従って、我々の居住空間には、オーブ(たまゆら)とサイ(気)が充満している(何時もそこに居る)事になる。我々が、出現可能な条件を造つてやると、表れてくる、と推定出来そうである。

2012/11/10 藤森博明氏「気(生命エネルギー)の实在と能力」

2013/ 1/12 志賀一雅氏「 α 波のコヒーレンシーについて」

2013/ 2/ 9 宇治橋泰志氏「疾病を根本から改善する新治療法を求めて」

2013/ 4/13 大野百合子氏「宇宙図書館(アカシックレコード)から見た世界の仕組みと私たち
—あなたは誰なのか—」

2013/ 5/11 浪平博人氏「イメージによる瞬間教育」

2013/ 6/ 9 松原秀樹氏「アレルギーを治す秘訣」

2013/ 7/13 酒向猛氏「千島学説を知るために」

2013/ 9/14 奥野節子氏「ブラジルの奇跡のヒーラー ジョン・オブ・ゴッド」

2013/10/13 第23回全国大会 シンポジウムテーマ「サイと自然治癒力」

2013/11/ 9 小久保秀之氏「生体センサによるサイ研究—超能力研究の最前線」

2014/ 1/11 小川博章氏「魂の発見」

2014/ 4/12 西川眞知子氏「生命の智慧 アーユルヴェーダ —アーユルヴェーダから見る
生命のすばらしさ—」

2014/ 5/10 岩根和郎氏「般若心経とサイ科学」

2014/ 6/ 8 秦西平氏「気超科学と宇宙生命哲学 新病気学」

2014/ 7/12 小林信正氏「ラップ現象の究明—オーブとの関連性について—」

2014/ 9/13 石川允朗氏「死後の世界と輪廻転生についての一考察」

2014/10/12 第24回全国大会 シンポジウムテーマ「サイと天変地異」

2014/11/ 8 坂井洋一氏「日本人は知らない! 縄文日本の驚くべき真実」

るとは言い難いオーブ(たまゆら)とサイ(気)は、例えて言えば、「意識と無意識の関係」の無意識に類似していると思う。意識の母胎には無意識層があり、意識的と思われる個人の行為には、実は、母胎としての無意識があり、無意識的に行われる場合が多いと言う。つまり、オーブとサイの母胎になっているのは、空間に充満していると思われるエーテル類似エネルギーではないだろうか。そして、意識に相当するものが、オーブ(画像)現象並びに念力現象(光念球、念写等)であると思う。この様に考えた理由として、本稿等の実験がある。つまり、上述によれば、オーブとサイは類似しており、同類のエネルギーが原因となって両者が出現してくると判断されるからである。

周知のように、真空中に充満していると仮定されていたエーテル(古典論)は、マイケルソン、モーリーの実験等によってその存在が否定された、と判断されている。しかし、「カラッポ」であると判断されていた真空も、量子論によれば、実は、電子と陽電子の対消滅と対発生を伴う電子の海(ディラック)であり、負エネルギー(電子)がぎっしり詰まっている、と判断される様になってきた。他方、太陽系の星を含む(地球も)広大な宇宙では、未知なダーク物質が約22%、未知のダークエネルギーが74%を占めており、水素やヘリウムなどの既知のエネルギーは約4%程度である、という(Wikipediaなど)。そして、地球全体をすっぽりと包み込んでいると考えられる未知のエネルギーとエーテルの関係は、現在、依然として不明のままである。本稿では、エーテル類似エネルギーが母胎であると仮定する。

3-1) オーブの存在状態

上述のように、オーブ(たまゆら)は、夜空と降雨(水)に関連して出現しやすい。天空に存在している星は、何時でもそこに有る(存在の再現性)が、昼間は、太陽光に隠れてしまい(明るさに負ける)、見えない。素粒子は非局所的であり、広く拡散する性質があるので、オーブ(たまゆら)も、天空に、ランダムに拡がって出現することになる。また、オーブ(たまゆら)の基形として

の巴型の大気陽陰イオン・ボール形成には、水素イオン(陽イオン)とエアゾール(塵芥)が必要なので、降雨や滝に関連して出現することになる。ここでは一例として、台北市の龍山寺の場合(2014.10.16)をみる。天気は晴れ、人気の少ない堂内の天井や軒下(直射日光無し)や、屋外の人工滝(人数小)の側にある樹木(葉)の日影では、写り易い。同じ人工滝でも陽が当たっている所では出ない。そこに大勢の観光客がやってくると、今までは写っていた所(日影)でも、今度は写らない。観光客の(+)と(-)の意志(意念)が混ざり合って打ち消しあう為であろうか? 出ない(写らない)。実測値として、観光客が押しかける有名寺院(龍山寺本堂、山門等)や人気のある観光地(場所)では写らない(日本でも同様)。他方、お祭りなど、人々の喜びの気持ち(ポジティブな)が揃う所では、写りやすい。また、少人数であっても、祈りの場には出やすい。この時、晴天続きでエアゾールが少なく、空気成分の電離が小で、湿度が低いと思える時は写っても極くうすい(不明瞭)。しかし、この時、スプレーで噴霧を造ってやると(K式スプレー、川崎利男)、濃く写る(はっきり写る)事になる。この様に、多くの経験から判断すると、オーブ(たまゆら)は、何時も、何処にでも、我々のすぐ側にいるが、出現条件が整わないので写らない(出られない)と、判断できそうである。

3-2) サイ(気)の存在と効果

サイ(気)が仲介している、と判断出来るマクロPKには、多量の実験結果と考察が蓄積してある。上の(2-2)でも述べたが、サイ(気)は水と親和性があり、近赤外線領域に潜んでおり、意識に反応し、素粒子類似の性質を示している。ここでは、主として、物理的な原因によって生起すると判断される一例を述べる。1994~2002年にわたって、日本(社、工業技術振興協会)と中国(国、人体科学研究院)は共同研究を実施した。無誘導コイルにランダム・パルス波を通電して(陰と陽が加算して)造る零磁場(巴型ゼロ磁場)が受精卵ならびに初生雛に与える影響を調べた(約900個)。サイ(気)の効果は季節(環境)の影

りの場、祝い事等)などが良い。

(2) オープは水と親和力が高い。

小雨の降り始め時に写り易い。雨が降り始めると、空気の電離としての大気陰(-)イオン、大気陽(+)イオンならびに電子が増加して、これにエアゾール(微細物、埃類)が加算して、オープの母体(基盤)としての大気陰陽イオンボール(プラズマボール)が形成されやすくなる。また雲やモヤが凝固して雨(水滴)になるが、凝固には核が必要であり、エアゾール(微細粒子)がこれを分担している。雨の降り始めで、しかもエアゾールの多い生活活動の場で写り易くなる。したがって、雨が降り止んだ後や晴天が続いた後では、写り難くなる。つまり降雨後の晴天続きで、乾燥がすすみ、空中にエアゾールが無いと思える時には写らない(出現し難い)ことになる。以上、これらの物理的原因によって出現の可否が決められるものをオープンと呼び、これに意識要素(サイ、気)が加算されたものを我々は「たまゆら」と呼んでいる。

(3) オープの出現には意識が関係する。

人の意識は、時間や空間の枠組みをこえて存在している。つまり「気まぐれ」である。実験を続けたところ、撮影者の呼びかけに反応したり、御願いとすると写る等、オープン(たまゆら)は、意識に反応するエネルギー(情報)である事が判ってきた。一例として、実験結果をみる。一枚、一枚の写真に写されたオープン(たまゆら)には、それぞれに、ほぼ同一の円内模様(表情)、つまり、非対称干渉縞模様、唐代の鏡状模様、マンダラ模様などが写されている。場所、時間、撮影者などにより、それぞれは別々である。これは、撮影者の撮影時の意識状態(ASC)とオープンが共鳴・共振して(同調)して写った為である、と見られる。意識と体外にある物質(画像)が、直接に、情報交換する現象をマクロPK(念力)と言う。つまり、この現象はマクロPKの一種である事が判ってきた。

(4) オープには、素粒子類似の性質がある。

撮影された各一枚の写真に写されたオープン(たまゆら)群をみると、非局所的であり、ランダムに広く空間に拡散していることが判る。大き

さ(円直形)、模様、位置、ヘイロー(Halo)などはランダムで、同一のものは見当たらない。これは、構成要素としての単位の微小オープン(ロン薄葉の、クラスターオープン)が、素粒子類の性質を持ち、クーロン力によって結合されて大径(大型)オープン(たまゆら)として撮影されている為である、と判断する事が出来るだろう。

2-2) サイ(気)について

マクロPK(念力)とは、意識と体外にある物質が、直接に相互作用する現象であり、両者を結びつけるエネルギー(情報)をサイ(気)という。つまり、サイ(気)は意識と密接な関係にある。他方、マクロPKとしての実験結果(例、念写等)には、ランダム性や非局所性等の素粒子類似の性質が表れている。

(1) サイ(気)は水と親和力が高い。

気(サイ)を放射(放出)することの出来る能力者に御願いして、水に手かざし処理を施して気功水を造り、この気功水の電気伝導率を測定した。結果として、放射によって伝導率が高くなるという変化が認められた。他方、無誘導コイルを造り、水中でゼロ磁場を形成させて気功水を造ったところ、気功師の造った気功水の伝導率とほぼ同一程度の変化を得る事ができた。これらの基礎実験をもとにして、水をセンサーにして、サイ(気)を測定する手法を開発した。そして、この手法を用いて分杭峠の気場等の測定を多数実施した(1976~)。

(2) サイ(気)は近赤外線領域に潜んでいる。

水温を高くするほど気功水の電気伝導率は増加する。そこで、これを熱活性化過程として気(サイ)の活性化エネルギーを求めた。結果として $\Delta H=32\text{kcal/mol}$ 、($\Delta H=1.39\text{eV}$)の値を得た(1998~2004)。これは近赤外線領域の波動(エネルギー)を意味している。つまりサイ(気)はオープンと同様に、近赤外線領域に潜んでいる事がわかった。なお、この領域(テラヘルツ波)は非可視であり、五感では感知出来ない。

3. オープとサイの関係と存在

現在のところ、存在と再現性が保証されてい

が可能ならば、虚数宇宙と直結し、虚数×虚数＝実数というカラクリがあるのだらうと推定する。つまり虚数の織り成すシナジー効果がキーポイントであらうと思われる。

PSI 科学の意味

米国、ロシア、中国などの大国のPSI研究は軍事的色彩を帯びており、国家の防衛費がバックにあるが、ニッポンの場合は平和目的であって、民間の個人的なポケットマネーが資本である。これはニッポンのPSI研究者側からすれば不平不満の種であらうが、私はニッポンではこれでいいのではないかと思う。最新の機械を装備して実験はできないし、PSIがまだ科学領域としては認知されていないニッポンでは、真面目に研究すればするほどトンデモ扱いにされてしまうのが落ちである。日本サイ科学会やサトルエネ

ルギー学会で発表される科学論文も数百万から数千万の予算がつけば、おそらくは大国のPSI研究に匹敵するか、否それ以上の論文になるに違いない。ただ機械や装置が科学するのではなく、その核心は科学者の極めてピュアな好奇心に委ねられているのである。つまり阿呆な科学者はどんな精密な機械や装置を使ったとしても、お金かけた阿呆な研究しかできないのであるというのが真相！ PSI研究は宇宙・生命・進化の問題を解明する際に鍵となる分野であり、軍事利用ではなく平和目的で研究するニッポンの姿勢は<負けるが勝ち>的なラッキーな状況にあるものと思える。日本サイ科学会は確かに貧乏学会ではあるが、平和目的と純粋な科学的好奇心で推進しているという意味では世界でも誇りうる稀な学会であるといえる。

オーブとサイはテラヘルツの周波数域内に潜在している

佐々木 茂美

1. はしがき

オーブ(たまゆら)は、デジタルカメラで撮影した画面(CCD)にノイズ(画像)として写り込んでくる。不思議なことに、意識に反応し、素粒子類似の性質を持っている。他方サイ(気)は、体外にある物質と意識を結びつけるエネルギー(情報)であるが、実験結果には素粒子類似の性質があり、マクロPK(念力)現象を仲介する情報(物質)である。これらの意識と物質、素粒子類似等の性質からみると、両者は同類と見られるが、これらを比較検討し、議論した例は今までに殆ど見当たらない。そこで、本稿で取り扱うことにした。

2. 実験結果と検討

筆者らによって得られたオーブ(たまゆら)とサイ(気)の実験結果と検討の概要を述べる。

2-1) オーブについて

オーブ(たまゆら)は、デジタルカメラが実用

化・販売された2000年当初から話題になってきた。円形に写り込むノイズであらうと判断されたので、研究は殆ど見当たらなかった。その後、先駆者として的小林正信らによって、近赤外線カメラには写るが、紫外線カメラ、その他には写らないことが確かめられた。

(1) オーブは近赤外線領域に潜んでいる。

オーブ(たまゆら)撮影用の著者らのデジタルカメラ(CCD)は、近赤外線領域を撮影できる感度のある事を確かめてある。オーブ(たまゆら)の最も写り易いのは、極早朝または日没後の薄暗い真上(天)の空である。市街地で、空気が電離していると思える夜の空に向けて、フラッシュ撮影すると写ることになる。写らない場合には、同一状況(画面)のフラッシュ撮影を、何回か(2~8回程度)繰り返すと写る。小高い丘の上から市街(住宅など)と空が見える場所、または花火やお祭りの観覧席と空などで、しかも、生命力と人々の関心が集っていると思える場所(祈

み可能になるといったからくりなのである。

PSIと進化

手が自由になり、言語と抽象能力をものにし、肥大化した脳をもつヒトはこれからどこに向かうのか？ 次の一步、新たな1%の進化は何を意味するのか？ この答えはPSI能力しかないのではないかと思うのである。一寸先は闇の社会において、先が見通せる千里眼、突然やってくる天変地異、土砂崩れや津波、火山の噴石、ゲリラ竜巻あるいは交通事故や精神異常者・ドラッグ中毒者の包丁を振り回すような暴力に普通は何をなすこともできないが、PSI能力を精神感応でも遠隔透視でもサイコキネシスやテレポート能力がある超人ならば、なんなく危機を回避することができるだろう。あるいは守護霊や先祖霊がそれとなく危機を伝えてくれるのではないだろうか？

チャールズ・ダーウィンは突然変異と自然選択で進化を説明したが、アルフレッド・ラッセル・ウォーレスはきっかけを先駆けて作ったとはいえ、性選択やスピリチュアリズムからそれだけでは十分でないと感じていたのだろう。今西錦司は運とか変わるべくして変わると進化論を表現したが、生物の主体性を考えれば、アンリ・ベルグソンのエラン・ヴィタル（生命の躍動）が創造的進化の源となり、結果論的に運とか自然選択といった解釈になってしまうだけの話である。もっと微視的にいえば、まるでつるまきのダウジングのようにPSI能力をフルに発揮して放散したエラン・ヴィタルが周囲を宇宙として意識しながら、ダイナミックに突き進んでゆく。正四面体を連続的に繋ぎ合わせるとテトラスクロールになるが、その二重螺旋こそが生命そのものなのであろう。

精神(魂)の座

私は15歳の頃、ウィリアム・バードのミサ曲を歌った際に戦慄を体験したときから、57歳の今日に至るまで、その曲を想起するだけで、戦慄を再体験できる。そのクダグリーニ上昇の体験は、精神の座がどこにあるのかを暗示するのである。

レオナルド・ダ・ヴィンチは精神の座を解剖までして執拗に探求し、それを第3脳室とした。一方、ルネ・デカルトはそれを松果体に求めたのである。現代科学では脳全体に精神の座を委ね、特定の部位には着目してはいないが、私は、先の両巨人の肩を借りて<脳幹と第3脳室と松果体の三角地帯：第三の目と脊髄の交差部位>が精神(魂)の座なのではないか？と思う。身体情報が脳幹を通じて、自然環境情報が第三の目及び松果体を通じて、宇宙情報が第3脳室を通じて、精神(魂)の場ができあがるのである。その座は恐らくは正四面体(テトラヘドロン)であると思うのである。

永久機関とシナジー効果

宇宙が永久機関でないならば、永久機関は存在しない。もし宇宙が永久機関であるならば、その宇宙のいとなみに密かに参画することで、永久機関は存在しうるかもしれない。宇宙の大爆発(ビッグバン)から始まった宇宙はそもそも永久機関ではない。フレッド・ホイルの定常宇宙論ならば、永久機関といえないこともないが、現在では軍配は大爆発(ビッグバン)にあがっている。スティーブン・ホーキングは虚数時間を想定しているが、もしこの実宇宙が虚数宇宙から誕生したものと考えると、永久機関も夢ではないのではないかと思うのである。原初宇宙が虚数の海だったとして、私たちの体内に地球太古の海と生物が川を上ったときの海といった2つの海を持っている様に、私たちの体内にもその虚数の海を有していたと仮定してみるのである。それが現代科学では割り切れないところの正体であり、気の本体であり、PSIの核であると考えてみるのである。

こころ(虚数)とこころ(虚数)が通じ合えば、何か実体(実数)が生まれてもおかしくはない。気と気が通じ合えば、合気道ではないが、大男も投げ飛ばされてしまう。ユリ・ゲラーはスプーン曲げや種の発芽実験をやる際に、周囲の環境(場)を活用する。虚数はイマジナリーナンバーと呼ばれ、 i と表す。 i (愛)からエネルギーを引き出すのである。フリーエネルギーの永久機関



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

PSI と進化についての一考察

阿久津 淳

自然観察から

下手の横釣り師として、川や海を観察していると、どうしても理解できない光景に出くわす。例えば、河口でボラが飛び跳ねたりするのだが、いったい何故そんな行為にでるのがわからない。雄が雌の注意を引くのだから、体についた寄生虫を追い払うのだから、より大きな魚に追われているのだから、仲間でじゃれ合っているのだから考えるのだが、どうもじっくりいかないのである。むしろボラの遊びであると考えると納得するのである。つまり生物には生物の主体性があるという考え方である。

進化とは何か

森に住んでいたわれら先祖が大地溝帯に降り立ち、離せずにいる木切れを右手に、石のかけらを左手に持ち、群れなすハイエナやチータのような猛獣を相手に応戦しつつ、直立二足歩行に進化していったことは容易に想像できる。敵がいなかを遠くに眺めるミーアキャットの姿を想起すれば、敵の有無や好物の有無を先祖が好奇心をもって観察していたのだろうと考えることができる。

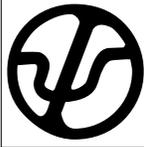
機会あって、そういう妄想をゴリラ研究の第一人者山際寿一京大教授(現京大大学長)に話したところ、一言「エネルギーの効率がいいのだ」とご教示された。直立二足歩行は両手の開放とともにエネルギーの効率化という2つの要素のシナジー効果による成果だったようなのである。

進化と科学技術

チンパンジーとヒトとは2%のDNAの違いがあるとされている。チンパンジーとネアンデルタール、ネアンデルタールとヒトとは1%の違いがあるらしい。前者は言語が関わっているといわれている。後者はおそらくは抽象能力だろうと思うのだが、いかがだろうか? 言語と抽象能力の2要素が仲間とのコミュニケーションや石器・土器などを生み出していったのだろう。木切れと石のかけらがシナジー効果として石器ややじりを生み、それに言語や抽象能力が加わり、狩りや漁が大規模化していったのだろう。車輪と馬が馬車を生み、蒸気機関やエンジンが機関車や自動車を生み、やがて携帯とPCがスマホを生んでゆく。

シナジー効果 1+1=4

私たちの教育では1+1=2である。どうしたって2である。これが4になると主張したのは「宇宙船地球号」の建築家バックミンスター・フラー。彼によれば、2つの三角形を組み合わせると4つの三角形ができあがるというのである。まず一つの三角形を変形させ、もう一つもまた変形させる。改變した2つの要素が正四面体を形成するというわけである。これはマッチ棒3本で作った三角形にもう3本のマッチ棒で4つの三角形を作れ! といった問題にそっくりである。答えは簡単で、立体的に構成すればいいということなのだ。ここで重要なのは各要素が改變し、次元を一段アップ(アセンション)させた場合の



サイジャーナル

月刊
27-3・4
第420号

日本サイ科学会 平成 27 年 3 月 1 日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	中 部 〒466-0051 名古屋市昭和区 御器所3-4-21 眞 野 博 英 ☎・FAX 052 (871) 9060	北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究室内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	関 西 〒659-0011 芦屋市六龜荘町9-39 (事務局) 木村のり子 河 野 明 夫 ☎・FAX 0797 (22) 6425	九 州 〒851-2122 長崎県西彼杵郡 長与町本川内16-6 森 安 政 仁 ☎ 095 (883) 6048・FAX 095 (883) 6159
--	---	--	---	---

四月本部例会のお知らせ

「水からの伝言」と「新しい水の科学」

講師 根本 泰行氏

故・江本勝会長長の業績として、「波動」と「水」という2つの分野を挙げることが出来ます。そしていづれにおいても、「水は情報を記憶する」ということがもつとも基本的かつ重要な概念となっております。しかしながら、従来の科学においては、「水の情報記憶」について、なかなか認められず、結果として「波動」も「水」も「非科学的である」との批判を受けてきました。

ところが過去6〜7年の間に、世界のトップレベルの科学者たちから、「水は情報を記憶する」ということを完全に証明する―もしくは強く示唆する―証拠が提示されてきています。

「波動」の分野においては、モンタニエ博士により、「水は遺伝物質DNAの情報を記憶する」ということが、疑問の余地のない形で、

◎事務局からのお知らせ

今月は年度替わりですので、「会費納入のお願い」の通知と郵便振替用紙が同封されています。いろいろ出費の多い時期で恐縮ですが、日本サイ科学会の活動は皆様の年会費で支えられておりますので、早めのお振り込みをよろしくお願い致します。恐縮ですが、御寄付をしていただける方は郵便振替用紙にその分を記入し、年会費に追加して、お振り込み願います。
※3月の本部例会はお休みとなります。

科学的に証明されてきています。

一方、「水」の分野においては、ポラック博士が発見した「第四の水の相」を考慮すると、「水の構造が想念や感情のエネルギーによって変化する可能性」が十分に考えられる状況になってきています。

講演においては、江本会長長の業績について簡単に説明した後に、モンタニエ博士とポラック博士の研究内容について、専門外の人にも分かりやすく紹介し、それらの関連について議論致します。

今月号の記事

- ◎ 四月本部例会のお知らせ
- ◎ 全国大会発表者大募集
- ◎ 将来の事務局長を募集します
- ◎ 関西サイ科学会三月四月五月研究集会のお知らせ
- ◎ 中部サイ科学会三月例会予告
- ◎ 九州サイ科学会四月例会予告
- ◎ 第24回宇宙生命研究分科会予告
- ◎ 第23回宇宙生命研究分科会報告
- ◎ 第2回スピリチュアル研究会報告
- ◎ 平成25年11月本部例会報告
- ◎ 第三九一回関西サイ科学会報告
- ◎ 第三九二回関西サイ科学会報告
- ◎ サイ(気)の啓蒙を進めるオーブ
- ◎ 一〇〇〇年後の未来から

※丁度四年前の本部例会において根本先生から「水は情報を記憶する」について、一度解説いただきました。今回また進歩した科学研究を踏まえて、「水の記憶」についてお話しいただきますので、是非会員の皆様もご友人・知人をお誘いしてご参加ください。

◎ 根本泰行氏のプロフィール
1988年に東京大学より細胞

E-mail office: 21@psi.mail-box.ne.jp

募集期間中に複数の応募がありました場合は、応募者各人の適性をみて、最終的に決めさせていただきます。

関西日本サイ科学会
三月例会のお知らせ

日本の目覚めは世界の夜明け

講師 長堀 優氏ゆたか

日時 平成27年3月14日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター
七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

問合せ 0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

関西日本サイ科学会
四月研究集会のお知らせ

超振動技術の応用と放射能無
害化技術

講師 大政 龍晋氏
(著書「地球を変える男」)

日時 平成27年4月18日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター
B一〇二号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

問合せ 0797・22・6425

関西日本サイ科学会
五月研究集会のお知らせ

チャクラに響くコトタマパワー

― 体感セミナー ―

講師 宮崎 貞行氏

(著書「天皇の国師三上
照夫の真実」)

日時 平成27年5月16日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター
六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

問合せ 0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

中部日本サイ科学会
三月研究集会のお知らせ

会員数名の研究・体験発表

日時 平成27年3月14日(土)

午後1時～5時

会場 博愛癒院ゆいホール
名古屋市昭和区

御器所3・4・21

交通 地下鉄鶴舞線荒畑駅下車

3番出口から徒歩1分

会費 無料

※会員以外の方の参加も大歓迎
問合せ 052・871・9060

※九州日本サイ科学会三月研究
集会はお休みです。

九州日本サイ科学会
四月研究集会のお知らせ

医師が語る目に見えない世界

講師 橋本 和哉氏

日時 平成27年4月12日(日)

午前11時～午後3時

会場 伊勢宮神社内楠照殿
長崎市伊勢町2・14

(095・823・2665)

交通 諏訪神社前徒歩5分

会費 二〇〇〇円
問合せ 095・883・6048

第24回宇宙生命研究分科会

第7回ヒポクラテスシンポジウム

日時 平成27年3月29日(日)

10時～17時30分

会場 品川健康センター会議室

品川区北品川3・11・22

03・5782・8507

交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分

JR京浜東北線大井町駅東

口から東急バス「渋谷駅」

行で「新馬場駅前」下車

会費 会員 五〇〇円(日本サイ科

学会・サトルエネルギー

学会・太陽の会会員)

一般一〇〇〇円

(世話人 阿久津 淳)

☆ ☆

第23回宇宙生命研究分科会報告

「第2回 異能科学会議」は2

014年12月7日(日)に品川健

康センターにて開催。

講演者に一部変更があり、シユ

タイン愛子、ハリー山科両氏が参

戦。50名強の参加者のもと、第2

回異能科学賞は投票により空間エ

ネルギー研究所所長、岩崎士郎氏

に授与された。シンポジウム後の

懇親会もまた盛会！

内容はすべしYou Tube 動画で視

聴可能。(世話人 阿久津 淳)



第2回スピリチュアル研究 分科会のお知らせ

日時 平成27年4月26日(日)

午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室

(東京都北区王子1-11-1)

会費 会員 五〇〇円

一般 一〇〇〇円

※参加ご希望の方は予約が必要で

す。できるだけメールで

E-mail office21@psi.mail-box.ne.jp

宛てに、メールを使わない方は、

FAX 047・330・4091

に「スピリチュアル研究分科会

参加希望」と住所 氏名 電話

番号 会員、非会員の別」をお知

らせ願います。

「分科会の趣旨」

スピリチュアルとは、英語で本

来は精神的、霊的、霊性としての

意味合いがありますが、今日では

潜在意識・自己啓発・癒しなど

見えない存在」といった広く精神

世界に関する分野にも使われてい

ます。

人間はそもそも霊的な存在です。

私たちの魂は生と死を何度も繰り返

返して人生を旅しています。いま

ま再びこの世に生まれ来て、私た

ちはこの現世で何をなすために生

まれて来たのでしょうか。

人生にはすべて無駄がないとい

いますが、辛い苦しいことに遭う

のも、私たちに人生で大切なこと

を目覚めさせるための、人生の試

練なのかもしれません。

いま生かされていることに素直、

感謝、寛容と博愛なる精神を持つ

て「目に見えない霊的な世界」を学

び合い、自己をみつめて、互いに

魂の向上」に励もうではありません

んか。

分科会では、講演や体験学習、

ワークショップ、最新情報、不思

議体験談や意見交換等々の開催予

定です。会員以外の方でも大歓迎

です。

です。お気軽に参加下さい。

プログラム

・13:00～ 開場

・13:25～14:05 霊能力者・渡

辺薫龍氏「除霊・浄霊について」

特に除霊、浄霊には優れた能力

を持ち、霊能相談では定評があ

る。現代のさまざまな悩みの解

決や霊の問題について話す。

・14:05～14:45 交渉中

・14:45～15:30 獣医師・石川

允明氏「最新機器による健康状

態とサポート」デモ。

参加者の健康状態と改善の様子

を機器「SWII」により、スク

リーンに試写してプレゼンテー

ションする。

・15:30～15:45 休憩

・15:45～17:40 フリートーク

(世話人 小林信正)

☆ ☆

第1回スピリチュアル研究 分科会報告

平成26年11月16日、都内王子の

「北とびあ」にて、講師4名による

研究会を開催しました。会議室の

定員が24名なのですぐ満席となっ

た次第です。
講師、テーマ、講演概要

○徳永康夫氏(日本サイ科学会理事)「人間の正体は、霊、なのです」
肉体を主に考える人は、死は恐怖で全ての終わりとなし、靈魂を主に考える人は、死は終わりではなく、新しい始まりと考える。靈魂が本質の生命体であり、日本では、昔から幽体(幽界)、霊体(霊界)、分け御霊、親御霊という多層体として表現されています。私達は現世で靈格を磨き、死んだら靈界から分け御霊さらに親御霊(創造神、宇宙神)に近づきたいものです。

○坂田豊月氏(スピリチュアル・セラピスト)「オーブの世界」
病気で2度も生死をさ迷い、以降、魂(オーブ)を写真に写す力が授かりました。日本、ハワイ、エジプト、インド、中国等で撮影したオーブ写真を投映して撮影状況を説明された。オーブ写真を撮るコツは、多少の飲酒をするか、瞑想などで変性意識状態にして心の中で祈願してシャッターを切る、意識体としてのオーブが現れ写真によく写るとのことです。

○橋本和哉氏(医学博士、はしもと内科外科クリニック院長)「医師が語る靈障と治療」
靈障には、肉体的、精神的病氣や人間関係の不和、異常行動などがあります。靈障の診断として、橋本式憑依スクリーニング法、氣当て診断法がある。靈障の治療法は、靈障スプレー、オイル、ホログラフィーシート、漢方薬などがあり、家の靈障治療法は、スプレー、鏡、魔除け等や先祖供養、靈界にいる成仏靈を上げる法などの興味深い説明がありました。

○沖田祐美氏(福祉相談員、古代史研究家)「神々の謎」
10年前から不思議な世界への導きがあり、全国の神社、磐座、聖地の配置(星座や二等辺三角形による謎の配置)の探究を行う。バリ島、インド、ヒマラヤ等の聖地を旅し、縄文の存在、シューマン波ネットワーク、聖書によるエフライム族と日本神話との妙な一致とか、竹内文書と「位山」の人工的石組み等、古代神々の謎解きの好奇心あふれる話がありました。

次回、平成27年4月26日(日)を予定。皆様の参加をお待ちしています。

います。(世話人 小林信正)

平成25年11月本例会報告

生体センサによるサイ研究
—超能力研究の最前線—

講師 小久保 秀之氏
(国際総合研究機構 生体計測研究所 研究部長)

※前半はこれまでの日本と世界における超心理学、サイ科学に関する研究の歴史と現在の様々な研究についての解説をされました。



私どもは生体センサとして、白いぼキュウリを使っております。

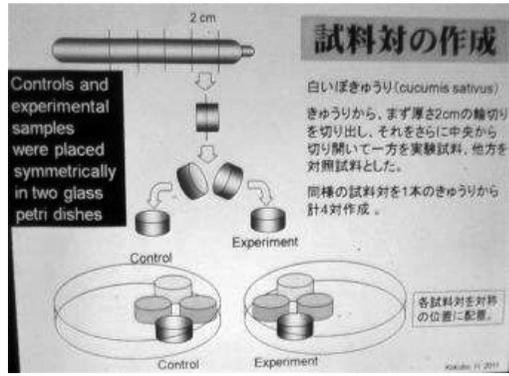
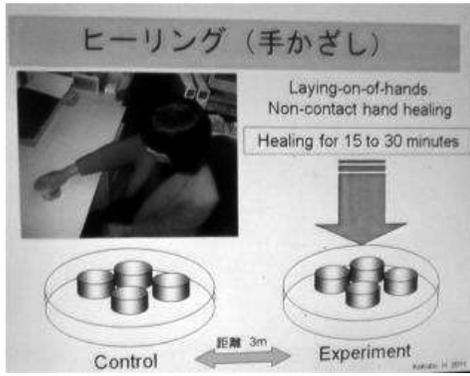
生体センサ 白いぼキュウリ

Cucumis sativus 'white spine' type

白いぼキュウリセンサを使ったヒーリング(bio-PK)パワーの測定法を3種類開発した。

1. バイオフィトン測定法 (2006)
2. ガス測定法 (2009)
3. 蛍光測定法 (2012)

基本的にキュウリの輪切りを使って、ペトリ皿に入れ蓋をかぶせて、ここに手かざしヒーリングを行っていたたく実験です。このキュウリの反応を測ります。反応を測る方法は現在までに3種類開発しておりまして、2006年にはこの切断面から出てくるバイオフィトン測定法、2009年にはキュウリのおいさを測るガス測定法、さらに昨年は切断面に紫外線をあてると蛍光を発するので蛍光測定法も開発しました。現在、中心的に使っているのはガス測定法です。



ヒーリング時間は基本的に15〜30分にしておりますが、ヒーラーには「キュウリがよく光るようにヒーリングしてください。」とお願いしております。ヒーリングの後、暗箱に2つの皿をセットし、同時に切断面のバイオフィオンを測定します。

18時間という長い時間をかけて測定しますと、ヒーリングをしたものはこのように明るく光っております。これがどれくらい明るくなっているかということ、画像

サンプルをどうやって作るかというと、一本のキュウリを厚さ2センチの輪切りを切り出し、さらにその真ん中で切断して、観音開きに開きます。両面が対称な面ができるので、その面を上にしてそれぞれ2つのペトリ皿に入れてます。その観音開きは全部で4組作り、一方のペトリ皿のキュウリにヒーリングをし、他の一方には何もしません(コントロール)。4組のキュウリはそれぞれ2つのペトリ皿に対称の位置におきます。ヒーリング用の皿とコントロールとの距離は最低3メートルで、現在は12メートル離している場合があります。

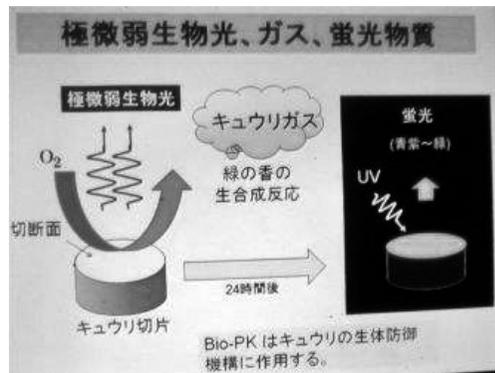
J 値

$$J = k \ln(E/C)$$

E 実験試料のガス濃度または蛍光強度
C 対照試料のガス濃度または蛍光強度
k: 係数。当分の間 $k=1$

左辺 bio-PKパワーの大きさ	右辺 物理量の比の自然対数
---------------------	------------------

較正J値(データ解析用)

$$J_{主実験} - J_{較正実験} = \text{較正J値}$$


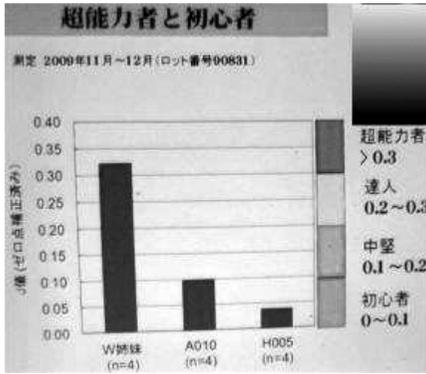
測定した値からJ値というものを算出して、これでヒーリングパワーの大きさの指標としています。J値は上記左図の式で表され、コントロール試料のガス濃度または蛍光強度またはバイオフィオンの蛍光強度と、実験試料のガス濃度または蛍光強度またはバイオフィオンの蛍光強度の物理量の比を真数として自然対数を取り、比例定数kは1をかけています。

実は超能力のパワーの大きさの指標としてこの式が非常にいいと

処理して、光の強さを教えてやることができます。そうすることによって、そのヒーラーのヒーリングパワーがどのくらいなのかというのを、数値化して出すことができます。

ガス測定法というのは、キュウリのおいさを測定します。キュウリにおいては実は、切断面においてその場で酸素と反応して合成されています。

この測定をし終わった後、この切断面に紫外線を当てますと、切断面が蛍光を発するので、その蛍光を測っても、ヒーリングの効果測定でき、これを蛍光測定法と呼びます。



J値の導入

$$J = \ln(I_E / I_C)$$

ヒーリング効果の大きさを表す正規化規格量として導入した実験式。

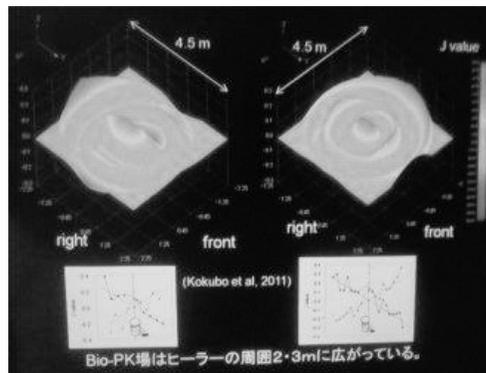
1. 正規分布に従う。
2. 対照実験(40℃熱処理、遮光処理など)ではJ値はゼロだが、ヒーリングではJ=0.14(ヒーラー12名の平均値)。
3. ヒーラーの体調が良いと、J値も大きい。
4. 初心者ヒーラーより中堅・ベテランヒーラーの方がJ値が大きい。
5. 熟達した方法で実施するとJ値が大きい。

ということが、我々の研究で分かっています。この式は左辺が「バイオPK」つまり超能力の大きさを表し、右辺は物理量であるので、

超能力を物理量で記述できた、ということになります。よく超能力は現代物理学と関連性が全然ないといわれますが、この式を使えば現代物理学との橋渡しができるということになります。ゼロ点補正も簡単でして、ヒーリング実験のJ値から何ももしない較正実験のJ値を引き算してやれば、較正J値が求まります。これからお話しするのは、主に較正J値を使ったものですが、ときどき較正実験ができないときは、主実験の生のデータをそのまま使っております。

J値の導入は上記右図のようにヒーリング効果の大きさを正規化した規格量なので、t検定などに簡単に使えます。またJ値を使うことによって、いろいろな実験データを比較することが出来ます。通常ESPと物理量の関係式は見つかっておりませんが、PKに関しては見つかったと言っていると思います。

J値を0.1単位でヒーリングパワーをランキングにしています。0.0~0.1の範囲は初心者、0.1~0.2の範囲を中堅と呼び、0.2~0.3の範囲を達人、0.3以上を超能力者といっています。



町の中でヒーリング教室を開いて講師をやっている方は、初心者級がほとんどです。こういっただ人たちの中で二、三十人に一人位は

0.1~0.3ある人もいます。0.3を超えるのは超能力者しかいなくて、こちらの実験でも0.3を超えたのは、日本でも有名な中国人の王姉妹くらいです。

キュウリでヒーリングパワーが測れるのだったら、ヒーラーの周囲にキュウリを沢山並べたら、パワーがどう広がっているか測れるのではないかと面白がって実験してみました。すなわちヒーリング測定と周りのポテンシャル分布を測る実験をやりました。

ヒーラーの前後、左右にキュウリを置いて測定しました。全体としてどうなっているかを知りたいので、間のところは原点から等距離のところを、同心円状に線形補間して推定しました。見栄えを良くするために+になっているところを上方向に赤く、-になっているところは0付近です(上記右図)。

前後、左右がそれぞれ2.25メートルで測っております。だいたい半径2メートルくらいが超能力の場として広がっていることが分かります。もつと先はどうなっているのか興味があるのですが、部屋が狭いのでそれ以上測れていません。

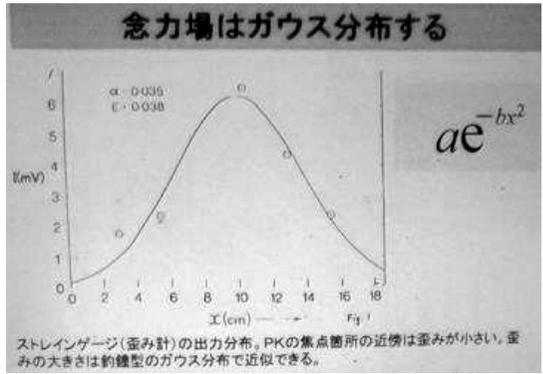
人体近傍に層構造が存在

波型ポテンシャルは、人体近傍に層構造が形成されていることを意味する。

神秘主義者やスピリチュアリストが主張してきた「層構造」が、実験で確認できたことになる。

各層は全く別の種類のものではなく、作用の向きと大きさが異なるだけで本質的には同一種。

エーテル体
アストラル体
メンタル体
コーザル体



この実験はキュウリのにおいが強くなるようにということではヒーリングをしていますが、赤いところは効果があつたのですが、青いところは逆ににおいが弱くなつてしまつたとおこです。そこではヒーリングが逆効果になつてしまつたことになり(前頁上記左図)。

我々のよく知つている力というのは、万有引力でもクーロン力でも、距離の二乗に反比例して弱くなります。それに対して、超能力場は距離の二乗に反比例するのではなく、上記右図のようなガウス分布(正規分布)、すなわち距離の二乗の指数関数に比例するというのが、どうも本質のようです。

先ほどのヒーリング場の波形分布をよくよく考えたら、層構造と同じだな、と気がつきました。

＋の方を温かい、－のところは冷たいと感じると、身体の周囲に層があると感じます。ですから結局層構造というのは、波形分布の別の表現なのです(上記左図)。

よくこれを神智学の方では、内側からエーテル体、アストラル体、メンタル体、コーザル体と言つていのですが、神智学の方はアストラル体はアストラル界につながつてい、というように思想に行

ヒーラーのタイプと分布型

手かざしヒーラー

近距離での施術に慣れている。

集中パターン

気功ヒーラー

2-3 m離れた場所からの施術になれている。

放射パターン

測定距離や方向、多重効果

- 集団の場合、多数の人間の「場」の重なりとなる。
- 複数の人間の「場」の重なり精密測定は、まだ行われていない。
- 場の大きさ、人同士の距離、時間的安定性、異方性の問題は未知。

人数が増えると効果も比例して大きくなるか？

つてしまいます。でも分布だけ見ると、これは要するに＋の方向が違つているのと、波の大きさが違つているだけなのです。

こういうことを証明しようと思つて実験したわけではないのですが、結果としては層構造があるところに関して確認されてしまつたということ、ちよつと戸惑つています。実は層構造があるということとは、波形分布があるということと物理的には同じことなのです。ただ、層構造はどうしても思想として、各層の違う世界につながつてい、というように解釈されがちなのですが、そうではなくて＋と－の大きさが違うだけなのです。

皆が超能力を持つてい、のならば、なぜ世の中で超能力現象が目立たないのか？これも説明できるようにになります。例えばここにいてすべての人々が無意識に念力を発していたとします。それぞれ座つてい、場所が違ひますので、そのうすると波長が少しずつずれてい、ますので、この部屋全体では皆の波同士がキャンセルして、この部屋全体の超能力は目立たなくなり、ます。皆が一斉にスプーン曲げなど揃つて集中して、波が同調する

概念 “Bio-PK”

本研究によって、異なるヒーリング方法の存在が示された。メカニズムや性質の違いが生じる理由には、次のような可能性が考えられる。

- (1)作用する場所や生化学系が異なる。
- (2)電磁波と音波のように、物理メカニズムが異なる。
- (3)ロックとクラシックのように、ヒーリングの性質が異なる。

今のところ、どの可能性が妥当か決定できない。しかし、少なくとも、「全てのバイオPKのメカニズムは同じだ」と言うことはできない。

とスプーンが曲がったりします。先ほどの一般のヒーラーの方のデータについて、もう少し詳しく説明します。5人分のデータを見ますと、手元のキュウリにパワーが集中したタイプの方と、手元のところにはあまりパワーが集中しなくて、遠くの方に放射されるような形のパターンを示した方の、実は2通りあることが分かっています(前頁上記左図)。

結論から言いますと、手元でパワーが強かったのは手かざし系か、イメージ形成系のヒーラーで、手元のパワーが小さかったのは気功師の方々でした。ただ気功師は少

しに離れたところでパワーが出ています。これは普段やっているヒーリングの方法の違いによると思います。

バイオPKについて、異なるヒーリング方法が確かに存在するということが示されました。異なるヒーリングというけれど、何が違うんだというところが非常に重要で、それは分かっています。違いが生じる理由は、ヒーリングが作用する場所や生化学系が違う。あるいは可能性は低いかもしれませんが、物理メカニズムが違う。あるいは種類の違いによってヒーリングの性質が異なる。「私は気を出し分けられる」と言うヒーラーがいますが、無碍に否定できないなと思いました。

第三九一回関西日本サイ 科学会研究集会報告

セドナメソッドで感情を解放すると人生が変わる

講師 安藤 理氏

とき 平成26年9月20日
ところ 大阪科学技術センター

安藤氏プロフィール

1963年生まれ。1985年大阪大学人間科学部卒。

20代より様々な自己啓発法および瞑想法などを学んだ後、2003年にセドナメソッドを知り、2004年からこの手法の習得を促進する個人セッションや体験セミナー等を実施している。米国セドナ・トレーニング協会認定のセドナメソッド・コーチ。



はじめに

九月二十日に講演の機会を与えてくださった関西日本サイ科学会の皆様、当日ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。以下の文

章は、当日にお話しした内容をまとめたものです。参加された方には復習資料として、参加されなかった方にはセドナメソッドの概要を知る参考資料として、お役に立てば幸いです。なお、この文章の転載・複製・引用はお控えいただきますようお願い致します。当文章の著作権は、米国セドナ・トレーニング協会(STA)とSTA認定セドナメソッド・コーチ安藤理に帰属します。

セドナメソッド(The Sedona Method?)の成り立ちと現状

セドナメソッドは故レスター・レベンソン氏が、自らの体験を通して発見した方法を、簡単に習得できるシステムにして一九七四年に始められました。現在は、レベンソン氏の後継者ヘイル・ドウオスキン氏が一九九六年に米国アリゾナ州セドナに設立したセドナ・トレーニング協会(STA)が発行する書籍・教材と、セミナーを通して世界各地に普及しています。

一九五二年、四十二歳だったレベンソン氏は、数々の病を患い、医者から見放されました。強い向上心を持ち、仕事にエネルギーを

注いだにもかかわらず、幸せになれず健康を損ねてしまったのは、心の中にある制限であることに、このとき彼は気づいたのである。その制限のすべてを解放することに集中して取り組んだ結果、完全に自由な境地に至り、健康も回復しました。それから、自分の経験したことを人に伝えていくうちに、現在のセドナメソッドの原型となる感情解放の手法が生み出されました(注・セドナメソッドは医学的な主張をするものではなく、いかなる疾病の治療、診断、助言、完治を意図したものではありません)。

この手法を一九七六年に学んだドウオスキンは、長年かけて実践と指導経験を続けた後、一九九四年に逝去したレベンソン氏の後を継ぎ、手法をさらに進化させ、セドナメソッドとして完成させたのです。その内容は、音声教材や書籍としてまとめられ、世界中で学ばれるようになりました。

セドナメソッド書籍

現在日本語で学べる唯一の教材が翻訳書『人生を変える一番シンプルな方法―セドナメソッド』(主

婦の友社/安藤理監修・乾真由美訳)です(他の音声教材等の日本語版は許可されていないため今のところ予定はありません)。初版は二〇〇八年に出版され、翻訳を改訂した新版が二〇一四年二月に発行されました。

著者ドウオスキンは、二〇〇七年に全世界で話題となった『ザ・シークレット』(角川書店)の中で教師のひとりとして紹介されている世界的な指導者です。この分野の他の指導者たちからも高い評価を受けており、セドナメソッド公式サイト(www.sedona.com)にはこの手法を体験した著名人たちの推薦文が掲載されています。二〇〇三年に出版された原書は、ニューヨーク・タイムズ紙ベストセラ―の一冊になりました。

書籍の序文に掲載されたジャック・キャンフィールド氏(ザ・シークレット教師の1人)の推薦文には次のように書かれています。「私は多くの自己啓発の手法に接してきましたが、このセドナメソッドは使いやすさ、効果の深さ、結果が出る速さにおいて、他より抜きん出ています。」

セドナメソッドの特長

『ザ・シークレット』等、多くの書物などで強調されている「思考が現実を引き寄せる」という法則を知り、思考をよいものに変えようと心がける人々が増えていますが、努力しても思考を変えるのは難しいと感じる人も多いのが実情です。セドナメソッドは、このジレンマを解決し、望む変化の実現を促進します。否定的な思考に伴う感情を解放することができれば、思考は望ましいものにおおざと変化します。その転換を自分で簡単に起こせるのです。

安藤理とセドナメソッドとの関わり

原書の発売当時に私はセドナメソッドのことを知り、学習を始めました。それまでの約二十年間、この分野の様々な手法を学び体験してきたのですが、この方法のシンプルさと効果の高さは卓越していると感じました。私の人生も、セドナメソッドの実践を続けてきた数年間で着実に進歩しました。本と教材で習得した後、アメリカでドウオスキン氏による上級コースを受け、二〇〇四年にセド

ナメソッドの習得を支援する個人セッション実施を始めました。その後、STA主催のセドナメソッド・コーチ養成コースを修了し、二〇一〇年から認定コーチとしてセミナーやグループセッションも開催するようになりました。日本語で学ばれた方々の多くも、この手法の効果を実感し確認されました。実践者の体験記は私のウェブサイトに掲載しています。

感情を扱う第三の方法「解放」

人がふだん行っている感情の扱いは「抑圧」か「表出」の2つです。表に出すと不適切と思われる感情は抑えることで処理しようとし、しかし抑えられた感情は心の中に留まるため、その後に悪影響を及ぼし続けます。感情が適切に表出された場合は解放を伴い、改善へと向かうことはありますが、不適切に表出された場合は事態を悪化させてしまいます。セドナメソッドによる解放は、感情の表出を伴わずにできるため、多くの時・場所・状況で実行可能です。解放が習慣になると、抑圧される感情は減り、適切に表出・表現できるときが多くなります。

解放 II 解き放つ (release) ・手放す (let go)

セドナメソッドによる感情の解放は、手に握っている物を放す動作にたとえられます。ある感情が続いているとき、その感情を心の中で握りしめているような状態です。握る力を抜くと、物が自然に落ちていくように、感情は心から離れます。ただ力を緩めることを選ぶだけでそうなります。実際には、感情は固体ではなく気体のような流動性があるエネルギーですから、解放された感情は拡散し、流れや自由度がある状態、不快から快へと変化します。

認め (allow) ・ 迎え入れ (welcome)

セドナメソッドにおける「手放す」という言葉は「取り除く」「追い出す」「捨て去る」のようなニュアンスではありません。どんな感情であってもまず認め(容認する・許す・許可する)、迎え入れ、その感情が浮かび上がってきたり広がってくるのを、そのまま味わってみることが解放の始まりです。迎え入れた感情が広がるままに任せれば、感情は自然に解き放たれて

いくのです。感情をじっくりと認めるだけで十分な解放が起こることもあります。

感情解放の基本手順

基本手順は、感情を認めて手放すように導く一連の質問です。気になる事柄を思い浮かべてから、そのことについて、今、感じている気持ちに注意を向けます。そして、次の質問に「はい」か「いいえ」で答えます。どちらを答えても解放は起こります。

「その気持ちを認めることはできますか」「その気持ちを手放せますか」「手放しますか」「いつ」。最後の質問には「今」と答えることがお勧めですが、他の答えでも解放は起こります。

この手順を、最初に注目した気持ちに気にならない程度に軽くなるまで繰り返します。ひとりで行う場合は心の中で自問自答します。すぐに大きな変化が感じられなくても、じっくり手順を繰り返しながら、微かな変化に注目していくと、やがて違いが自覚できるようになります。手順を行う際には、頭ではなく、できるだけハート(胸の中心)で行ってください。

深く考えることなく、できるだけ直観で答えるのです。

初めて試すときや、手順に慣れるまでは、さほど重大ではない事柄についての感情を扱うことがお勧めです。ちょっとした気かりなどの小さな不快感であれば、手順を数回繰り返すことで解放を実感できる可能性が高いです。それで実感できたら徐々に、より難しい問題や、大きく深い感情についても取り組んでいきましょう。

最初のうちは、数分間落ち着いてできる時間と場所で手順を行うことを習慣化してください。慣れてきたら、日中にも、不快な感情を持ち続けているのを自覚したときに、その場で解放することも習慣にいきましょう。

感情を解放すると考えや行動は自然に改善され、考え方や行動を変えようとする努力は必要ありません。ネガティブな感情の原因を探る必要はありません。感じていく気持ちに注意を向けて自問自答する、という習慣を続ければ確実に解放は進行していきます。その結果、考え方や行動パターンも望ましい方向に、自然に変化していきます。この点が、プラス思考・

ポジティブシンキング・アフアメーション等の手法とは異なるセドナメソッドの特徴です。

感情解放による心の変化を、コンピュータの動作にたとえて説明することができます。動き続けている古いプログラムやファイルを保持している感情の負荷を解放すると、使えるメモリーが増え、処理能力が加速するのです。

実践の継続を促進する心構え

セドナメソッドの実践に際して「しなければならないこと」「してはならないこと」はありません。自分自身を大切に育てる気持ちでいること、厳しい監督となるのではなく、自らの親友かつ支援者となりましょう。自分の可能性を探求するゲームとして、遊び心を持って取り組みましょう。セドナメソッドを習得するために、この文章や本に書かれていることを信じる必要はありません。必要なのは、書かれている内容にオープンでいること、自分で実際に試して体験を通して確認していくことです。一方で、ある感情を正当化したり、それがどんなに有益かを自分に言い聞かせたり、そう感じ続ける自

分は正しいと証明したりしようとしていたら、感情がうそをついているシグナルだ、ということに気づくことも解放を促進します。

願望実現や目標達成と「とらわれのない意識」

否定的な感情を解放していくと、肯定的な気持ちでいるときが多くなり、「引き寄せの法則」が自然に働いて、望みが叶うことは増えます。また、目標達成に必要な行動に対する抵抗感も減るため、着実に実行を継続して達成することも増えます。成果がもつと得られるようになるのです。その上で、結果に執着しない、とらわれのない、自由な境地へと進みます。とらわれのない状態に至るほどに、失う恐怖や失望が消え、今この瞬間を自由に楽しめるようになります。望みや欲は否定しても無くなりません。解放を続ければ、本当に必要なことは自然に実現でき、そうでないことは気にしなくなっていくのです。欲求の解放と目標達成を促進する手順については、書籍6章と7章で詳しく述べられています。

組織における感情解放の効果

ニューヨークの保険会社で営業担当者たちがセドナメソッドを使って実験を行ったところ、習ったグループは、習わなかったグループより平均して三割も成績が上回りました。さらに、習う期間が伸びるほどにその効果が増したのです。研究は一期を三カ月として二期行われました。最初の三カ月では営業成績が二三%伸び、二期目ではそれが四三%にまで伸びたのです。組織のメンバーが、制限的な感情を解放できるようになると、組織は高い能率と生産性のレベルに楽に到達します。同時にメンバー一人一人の安心感と満足感が増すのです。組織やグループの全員が感情解放を実践しなくても、リーダーが実践するならば、その影響はグループ全体に及びます。

世界を支援する

解放するたびに、自分の意識の中にある制限と同時に、世界全体が持つ制限を解放していることになるのです。講演時に見ていたセドナメソッド映画DVDでは、次のメッセージが語られています。

「人類は長年、意味と幸福と満足を探し求めてきました。星を見上げ、過去を掘り返し、科学に目を向け、他者や娯楽に求めました。でもまだ多くの人は探求を終えられず、幸福への鍵を掴めていません。誰もが何かしら制約を感じています。ストレス、自己不信、不安

憂鬱、依存症、金銭や健康の心配や、身体や人間関係、過去への不満の根底にある孤立感から、現状では不十分だと感じます。十分だと感じるために、お金や力、刺激や薬、食べ物求めます。世界を消費しなければと思ひ込みます。自分は不十分だと思ひ気持ちは人生だけでなく、地球をも蝕みます。でも、もし制限を手放し、『今』を生きられるとしたらどうでしょう？ 人生を簡単に速く変える効果的な方法があるなら？ 自分を変えられるのではなく、幸福への道を阻むものを手放すのです。

世界は今、転機を迎えています。今までの行いを続ければ、誰もが満足できない状況が続きます。でも、続ける必要はありません。世界中の人が本当の自分に目覚め始めました。この映画をきっかけに、

愛、安らぎ、喜びのある人生と、

よりよい世界とともに実現しましょう。」(当DVD日本語字幕版はありません。)

日本語でセドナメソッドを学ぶ機会

まず翻訳書『人生を変える一番シンプルな方法―セドナメソッド』(主婦の友社)をお読み下さい。感情解放の具体的な手順が段階的に学べるよう書かれています。書籍による独学では実感するのは難しいと感じる方は、安藤理が実施する個人セッション(電話および対面)やセミナーをご活用ください。補足説明を聞いた上で、解放手順の誘導を受けながら試すと、ひとりで行うよりも変化を実感しやすい人が多いです。質疑応答を通して疑問を解消することもできます。

安藤理のウェブサイト <http://andouinfo> に、セッションとセミナーの予定と案内、英語教材(書籍、CD、DVD)の紹介と発行サイトへのリンク、受講者体験記を掲載しています。これらが皆様のセドナメソッド習得のお力添えになれば幸いです。(安藤理氏)

☆

☆

感じている気持ちに注意を向け、自問自答する、という簡単な手法を続ければ確実に解放は進行し、その結果、考え方や行動パターンも望ましい方向に、自然に変化していくという。参加者一同実習を行い、さらに経験者の話を聞かせて頂いて、セドナメソッドのよさを認識した。

当日の参加者は会員11名、非会員18名、合計29名でした。

講演記録テープは20000円(送料込み)。事務局(0797・22・6425)まで。

(関西日本サイ科学会会長

河野 明夫)

第三九二回関西日本サイ科学会研究集会報告

潜在意識と習慣

講師 水口 清一氏

水口氏は1941年大阪で生まれる。大学時代探検部に所属し全国のお山々を探索する。人間の無限

の可能性を引き出す数々のプログラムを開発。熊野で言霊と禪の行を修め、東洋の神秘に触れる。テレビ、新聞、週刊誌、ラジオなどマスコミで数々紹介される。専門分野・潜在能力の開発、催眠法、イメージコントロール、超意識、言霊、数霊、場のマネジメント、創造性開発、瞑想、東洋思想、コミュニケーション、未来予知、夢の実現法。



私たちの人生の95%は習慣で成り立っています。大きく分けて3つの習慣を誰でも身につけています。それは「思考」「感情」「行動」の習慣です。

その習慣は潜在意識の働きです。目に見えないものを言葉で話すのは難しいものです。今日は少し体験を交えてみたいと思います。「潜在意識とは何か」「習慣とは何か」という概念が人それぞれ違います。

*潜在意識と習慣は同じものですか？

*習慣はいつからどのようにして身についたのですか？

*潜在意識は自分ですか、それとも誰かと共有しているのですか？

*自分が望んでもいない悪い習慣がどうして身につくのですか？

*悪い習慣を良い習慣に変えるにはどうすれば良いのですか？

*「引き寄せの法則」は「潜在意識」の働きのことですか？

*シンクロニシティと潜在意識の関係が分かりませんか？

*失敗者と成功者は潜在意識の使い方の問題ですか？

*脳と潜在意識の働きは同じですか？

こんな疑問が湧いてきませんか。「潜在意識はどこにあるのですか?」という質問を時々受けます。潜在意識を言葉で説明するのは難しいですね。

潜在意識の何たるかを知らなくても、潜在意識はちゃんと働いています。肝臓や腎臓の機能に関する知識がなくても、日夜、無意識に働いているのと同じです。

「潜在意識」の知識より「使い方」の方が大切です。そこで「使い方」を伝えようとすると知識が必要になってきます。

まあ、なんと説明したらいいかと悩みますが、「そんなに深く知らなくても良い」ということです。知れば知るほど奥が深く最後は宇宙の法則(物理学)まで勉強しなくてはならなくなります。

肝臓や腎臓の働きを知っているだけで充分です。

医師ならともかく一般人は医学的な知識がなくても毎日生活できます。

潜在意識や習慣も体験を通じて学べばいいことです。

泳ぎの本を100冊読んでも泳げません。

海や川で泳ぎの練習をするしかありません。

潜在意識を理解するのは、やはり体験に勝るものはないという結論です。

結論です。

◆潜在意識は自動制御装置

潜在意識は何でも自動的にやってくれる便利な心の装置です。

ただインプットされたプログラム通りに動くので、意識で制御できません。しかも無意識だからなかなか自分でも気づかないのです。それでは一体何がどのように自動化されているのでしょうか。

それは、行動、感情、思考の自動化です。

あなたの人生の大半は、この自動装置によって動いているのです。私たちはそれを「習慣」と呼んでいます。

「習慣」とは潜在意識に組み込まれたプログラムのことです。

自動化はある意味で便利ですが、ある意味では困りものです。なぜなら悪い習慣をプログラムしてしまつたら意識でいくら頑張つても上手く行きません。

自分の意識に関係なく車が自動的に暴走しているようなものです。

これは大変ですね！

止まれといくら叫んでも車は止まってくれません。あなたがどんなに成功を望んでも、自動的に失敗に向かってしまうのです。

誰がそんな危ない自動制御装置

を作ってしまったのか。他でも無い、あなた自身が長い年月を掛けて自分の手で作り上げたのです。

反対に良い習慣をプログラムした人は、勝手に自動的に成功に向かうようになっていくのです。

◆超能力は誰にでも備わっている

もうひとつ潜在意識は自動制御装置の他に驚くべき力を持っています。潜在意識を開発するとは、この驚くべき能力が発揮される状態にすることです。

それは「超意識」と呼ばれるもので、人生に奇跡すらもたらすことの出来る能力です。

「超意識」とは通常の能力を超えた信じられない4つの能力です。

- 1 念力
- 2 透視
- 3 予知
- 4 テレパシー

この4つの能力です。

以前、IBMが世界一級といわれる人々の能力資質を調査したことがありました。

何と、この4つの超能力を全員が有していたという結果ができました。

この超能力は誰にでも備わって

いるということです。ただその能力を開発したかどうかで結果が違ってくるのです。

もちろん、あなたもこの驚くべき能力を有しています。ただ少し訓練が必要です。

先日NHKで「超常現象」の一番が2回にわたり放映されています。

人生成功の秘密は無意識で動いている95%の習慣を変えることです。そのためには「潜在意識」にアクセスして自分の習慣というプログラムを変えてやることです。

☆ ☆

潜在意識と超意識を改めて感じ

た。

当日の参加者は会員11名、非会員12名、合計23名でした。

講演記録テープは20000円（送料込み）。事務局（0797・222・6425）まで。

◆ ◆

河野 明夫

（関西日本サイ科学会会長

本部例会ビデオ映像販売のお知らせ

ハイビジョン映像・音声ファイル（約3時間）を記録したUSBメモリーでお送りしますので、ほとんどのデスクトップあるいはノート型のウインドウズ・パソコンで見ることが出来ます。

価格 1本につき 三五〇〇円（送料含む）

以下のビデオ映像から、御注文願います。

◎2013年4月本部例会

講師 大野百合子氏

「宇宙図書館（アカシックレコード）から見た世界の仕組みと私たち―あなたは誰なのか―」

◎2013年5月本部例会

講師 浪平博人氏

◎2013年6月本部例会

「イメージによる瞬間教育」

◎2013年7月本部例会

講師 酒向猛氏

◎2013年9月本部例会

「千鳥学説を知るために」

性質はない(デコヒーレンス、量子状態の破壊)。他方、検討したところ、不思議なことに、巨視物体(物質)に生起させたサイ(気)の実験結果にはこの性質(素粒子の性質)が現れている。

最近になると、科学の進歩の結果として、デジタル・カメラが発明されて、オーブ(たまゆら)が登場してきた。条件さえ選べば、誰にでも撮れる。しかも安価に、手軽に撮れる。精神の世界の大衆化が開始されたのであろう。オーブは巨視図形でありながら、素粒子の性格を色濃く所有している。さらに意識に反応し、生命の成長を助ける(サイの性質、別報参照)性質を持っている。つまり、これは、サイ(気)そのものである、と言える。こんな不思議な性質を持つ物質(たまゆら)は、今までに、見た事も、聞いたこともない。これは、換言すると、サイ(気)現象の定義(評価)の新認識である、と言えるかも知れない。

他方、我々が居住する物質の世界では、素粒子を制御して、実用化を果たしたものに半導体がある。半導体は電気通信情報産業界の米と言われる程に重要な物質(製品)である。一方、サイ(気)は、素粒子でありながら、物質の半導体とは異なり、意識と生命を持った存在である。サイ(気)の制御と性質は、現在のところ、詳しくは判らない。多くの困難は推定出来るが、条件設定を実施し、環境条件を整備することによってサイ(気)を制御して(半導体と同様に)、再現性と因果律を確定化して、実用化を進めて、人々の生活に役立てたいと念願している。また、これは、心(意識、無意識)の科学的な究明であるとも言える。

開発の手始めは、既に、開始されているといえる。問題は、いかにして再現性と因果律を高めるかにあると言えよう。オーブは手軽に、しかも大量に得られるので、きわめて有望である。

-
- 講師 奥野節子氏
「ブラジルの奇跡のヒーロー
ジョン・オブ・ゴッド」
◎2013年10月第23回全国大会
シンポジウムテーマ
「サイと自然治癒力」
◎2013年11月本部例会
講師 小久保秀之氏
「生体センサによるサイ研究
―超能力研究の最前線―」
◎2014年1月本部例会
講師 小川博章氏
「魂の発見」
◎2014年4月本部例会
講師 西川真知子氏
「生命の智慧 アーユルヴェーダ
―アーユルヴェーダから見る生命
のすばらしさ―」
◎2014年5月本部例会
講師 岩根和郎氏
「般若心経とサイ科学」
◎2014年6月本部例会
講師 秦西平氏
「気超科学と宇宙生命哲学
新病気学」
◎2014年7月本部例会
講師 小林信正氏
「ラップ現象の究明―オーブとの
関連性について―」
◎2014年9月本部例会
講師 石川允朗氏
- 「死後の世界と輪廻転生について
の一考察」
◎2014年10月第24回全国大会
シンポジウムテーマ
「サイと天変地異」
◎2014年11月本部例会
講師 坂井洋一氏
「日本人は知らない！縄文日本の
驚くべき真実」
◎2015年1月本部例会
講師 トレイシー・アッシュ氏
THE SOURCE CODES
「ソースコードは何ですか？」
◎2015年2月本部例会
講師 安部賢司氏
「物質化現象無から有は生じる」
メールまたはFAXで左記に掲載のメールアドレス(またはFAX番号)に、「2010年〇月〇〇氏ビデオ購入希望」と記して、郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、御注文願います。
2週間以内に発送致します。
- E-mail office21@psjmail-box.ne.jp
FAX 047・330・4091
お支払いは、到着後同封の郵便
振替用紙で8日以内にお振り込み
いただければ、結構です。

空間の制限を超越する事が出来るので、念は能力者の肉体を離れて活動することが出来る。さらに、(7) 念の諸性質を研究することにより、霊の本体が次第に明らかになるであろう、と述べている(サイジャーナル、PSIJ、2008年4月号参照)。上の(1)は、サイ(気)現象に意識が関係している。(2)・(3)は素粒子の性質が顕われたと考えれば、不思議では無く、至極当然のことである。(4)は変性意識状態(ASC)が関与している。(5)・(6)・(7)は、仲介する物質として素粒子状のサイ・エネルギー(情報)がある、と判断する事により、都合良く説明ができる。

3. 「オーブ」の実験・検討結果

一例として、オーブ(たまゆら)の実測・検討結果をみる(「オーブ」は「パワースポット」にいる、岩波ブックセンタ刊参照)。オーブの特徴は、誰にでも撮れる(大衆化、多量化)にある。(1) 写真撮影の記憶媒体がフィルムから半導体(CCD)に移行するに伴って、乳白色小円形状のオーブがノイズとして撮影画面上に写り込んできた。その位置や種類、大きさ等はランダムであり、また非局所的に広く、拡散して写る(素粒子類似の性質)。(2) 空気成分が電離した湿度が高い状態の薄暗い空間に向けて、近赤外線領域の撮影が可能なデジタル・カメラを用いてフラッシュ撮影すると、写り易い。(3) 空気中の近赤外線量(気の活性化エネルギー、約1.3eVと同じ)が閾値に達した時に写りやすい。(4) 写されたオーブ(たまゆら)は、核を持ち、小円形状で、輪郭は鮮明であり、円の周辺には放射線状のヘイロー(Halo)を伴っている。また内部には非対称の干渉縞状模様やマンダラ状模様を伴っている。(5) 小雨の降り始めに写り易い。つまり水との親和性が高い。これは大気陰、陽イオン・ボール(プラズマ・ボール)の形成に関係する為である。(6) オーブには親オーブと子オーブとがあり、子オーブは大気陽イオンと大気陰イオンの組み合わせから形成されており巴型の回転を伴う、核(エアゾール等)を内蔵している。これに

「変性意識要素」が加算されたものを「たまゆら」と呼んでいる。(7)「変性意識要素」としては素粒子群(PSI-pair群:陰、陽電子、オーラ)を仮定している。さらに、(8) 社寺、仏閣等の聖地やパワースポット等。お祭りの行事など。人々の関心が関与した特定の場所や行事の際に、写り易い。(9) 何時も写るとは限らない。一般には、再現性に乏しい(意識の状態に関係する為)。(10) 雑念を取り去り、無心で、熱心に撮影すると、写り易い。つまり変性意識状態(ASC)に近づく事が必要である。この反面、意識的努力はむしろ、出現抑制に働く傾向がある。(11) 呼吸法などを用いて、意識の自由度を極力狭めると(物体化する)写り易い。(12) 意識に反応し、応答する等の情報交換が可能である(マクロPK)。(13) 瞑想法などの訓練を経て、脳波(EEG)をデルター波などの低周波数域にまで下げる事が出来る人の場合に写り易くなる傾向がある(自由度を下げて物体化する)。(14) 撮影者のASC(変性意識状態)と「たまゆら」は同調している、と判断できる。

上の(1)から、オーブが素粒子の性質を持つ事がわかる。(2)・(3)は撮影条件、(4)~(6)はオーブの性質、(7)は「たまゆら」の性質、(9)~(12)はオーブの性質、(13)・(14)は写り易さ、を示している。

4. 検討並びに考察

我々は縦、横、高さ(空間)に時間を加えた4次元の時空間で生活しており、視覚や聴覚などの五感で認識できる巨視的な物質(物体)世界のみが認知の対象としている。物質(物体)の基礎には分子や原子、素粒子等から構成される微視的な世界がある。素粒子は非局所的であり、空間に広く拡散して、形態が決まらない(未形成)、不安定な、分割要素の重ね合わせの状態で存在している。あいまいな状態で、不確定性、相補性、観測問題、絡み合い、遠隔作用、等の性質を持っている。これらは、居住空間に住む人間からは想像することも出来ない様な不思議な世界である。しかし巨視的な物体には、これらの

サイ(気)の啓蒙を進めるオーブ(たまゆら)

佐々木 茂美

1. はしがき

自然科学は19世紀の錬金術師の希望や方法、妄想の技法を元にし、超心理学はシャーマンの幻想や奇跡、魔術の基盤の上に形成されてきたという。時間が経過して21世紀となり、自然科学は現代の科学万能の世界を構築する事ができた。一方、超心理学の進歩は誠に遅々たるものがある。この原因は何かというと、現象がまれにしか起こらず、超心理学が扱う現象の中に人の心(意識)が入り込んでいるので、因果律や再現性が損なわれること、ならびに、生起する現象があまりにも奇抜すぎて、常識的に理解され難い事にあるのだろう。

筆者らは、長年月にわたって、サイ(気)科学の実験研究を実施してきた。いまの段階で言える事として、(1)巨視的なサイ(気)現象の結果には、素粒子の性質が現れており、これが奇抜さの原因である、と考えられる。(2)最近になり、サイ(気)現象として、素粒子の性質を持つオーブ(巨視的図形)が多量に出現してきた。奇妙な事に、意識に反応し、誰にでも撮れる(大衆化)と言う。(3)意識ならびサイ(気)を物体(物質)化して、素粒子の性質が現れ難くする、などの条件設定を行う事により、再現性や因果律が現れやすくなってくと判断している。

2. サイ(気)の検討結果

2-1) 従来からの批判

総合誌(imago.3.1990、マーチン・エボン、pp.80-98)によると、超心理学の功績は、19世紀には靈魂の働きであると考えられていたサイを、靈魂側から人間側にとりもどすことが出来たことにあるという。しかしサイはあまりにも不安定で微弱なので、ラインは、サイには「ヒョウタンでナマズを捕える」的な性質がある、と表現したという。つまり、あまりにも超常的で、時間・空間

の枠組みを超えている、という。同書のなかで大谷宗司は、——サイは、意識によって指向されて一時的には検出されるが、その効果は微弱で、僅かしか変化しない。総ての存在と微弱的な接触をしており、我々は、それを多量に取り出す方法を持っていない——と述べている。筆者らは主張したい。奇抜さの原因は、サイ(気)現象の結果に素粒子の性質が現れた為に起きた現象・評価であり、条件設定をすれば、ある程度の再現性と因果律が保証され、また、ある程度は集積出来る(半導体と同様に)、と考えている(後述)。

2-2) サイ(気)の存在実験

一例として、福来友吉(1930年代)の念写の場合をみる。念写とは、「念じた画像を、意念によってフィルム上に写し出す」というもので、マクロPK(念力)の一種であり、能力者を対象に実施された。これは常識では考え難い出来事であったので、発見当初から話題にのぼり、様々の批評や真偽論争が続いた。福来の実験・研究資料は、約200枚の念写真乾板として(財)福来心理学研究所に保管されて、白川勇記(東北大)らによって「念写実験の吟味」(1961年)として公表されている。

結果として、(1)念写は、「念ずる」ことによって起きる。つまり能力者の心理条件が因子になっているので、いつも成功するとは限らない。(2)念写像は、ネガ像として現れる事もあり、またポジ像として現れる事もある。(3)能力者から遠くに離して置いた場合でも、念写は可能である。(4)実在の物体や図形と類似しているが、僅かに異なった形の像が念写される場合がある。福来は、(5)念写の際の念(意識)は、乾板を感光する作用をもち、形や像を形成するという要求を持ったエネルギーである。(6)念の作用は、

スが減らした可能性も考えられております。

「なぜホモ・サピエンスは殺し合うのか?」、「ホモ・サピエンスはこの先もずっと殺し合うのか?」の質問に対して、私は「ノー」と言いたいのです。21世紀の人類はまだ未熟で、自分自身が何であるか、何のために地球上で知能を発達させて進化しているのか分かっていないのです。21世紀の人類は、物質の原理はある程度分かってきたのに、生命と精神・魂・霊の原理はほとんど分かっていないという、大変アンバランスで不幸な過渡期にあります。比喻で言えば、知能の未熟な幼児が、銃を手に入れて、自分のエゴのため撃ち合いをしているようなものです。

残念ながら、人類はあと数百年は科学技術を進歩させながらも、争い、戦争、殺し合いを続け、テロリストによる小型核の使用もありえます。ただ、これから生命と脳、心、精神そして魂・霊の研究も少しずつ進んで行くでしょう。石器時代から戦いの歴史であるホモ・サピエンスの中でも、時に非常に希ですが、宇宙の構造、生命・精神・魂・霊の原理を高度のESP能力で体感する先覚者が現れます。約2500年前の仏陀、2000年前のイエス・キリスト、日本では1200年前の空海、近代では20世紀前半のパラマハンサ・ヨガナンダ等がいますし、もちろん悟りや体感まではいきませんが、知識として、直感として、それらの原理をある程度理解している宗教的修行者、信仰者、そしてサイ科学に関わる人々が、現代でも少数派ですがおります。

なぜ人類は戦い、殺し合うのか? その理由は簡単です。自分のエゴと無知から来るプライドを満足させるためです。そのためには他人はどうなってもいい、と思っている人々が多いからです。1番公德心の強い人間になるべき政治家や官僚、電力等の独占企業が自ら役得を作り、エゴで動いているケースがかなりあるのは、国民にとっても不幸でしょう。100人の村にひとりでも不幸で恵まれない人間がいるとき、その1人が怨みをもっておれば、他の99人は本当に安全で幸福な生活は送れないはずなのに、です。もち

ろんホモ・サピエンスは、困っている他人を助けようとする、また皆と協力して何かを為すという、社会性、善性ももっております。日本の古代から江戸時代までの、武力で国を支配しようという社会から、選挙によって、政権を選択できる社会になったことは社会システムの進歩といえます。

1000年前の平安時代の人間が、現代の日本社会、科学技術文明を想像もできなかったように、現代の我々が1000年後の人類の未来を予測することは、科学技術が指数関数的に進歩することからも、より難しいことです。しかし、敢えて予測するならば、少なくとも1000年後には、やはり宇宙の構造、生命・精神・魂・霊の原理の研究が進み、大半の宗教があまり説明も無く説いている「殺すな、奪うな、人を愛せよ、人のために働け!」の行動原理がなぜ大切なのか、の科学的理由が解明されているはずで、宗教は現代においてまだ“教え”の段階ですが、その説く内容は1000年後には誰もが納得する“常識”になっているでしょう。自分のためだけのエゴは自分と社会に不幸をもたらし、皆が人のため、社会のために行動することが、理想的な社会を形成することをすべての人々が知っているでしょう。すべて人の上に立つ人々も、より徳性が高い人々もなっており、社会システムを大きく進歩させます。

人類の進化は、その行動できる範囲から純粋に診断できますが、現代は一般人が航空機で世界中を動けるようになりましたが、1000年後は近くても天の川銀河内、より進化が早ければ他の銀河まで、一般人が旅行できるようになっているでしょう。そのときは地球より進化の遅い他の惑星の住人からは、UFOが来たと思われるでしょう。そして1000年後の未来から、現代の人類を眺めたら、科学技術だけはいびつに発達させて、自分たちの生命の本質が分かっていない、非常に幼くて危うい時代だったな、と思うに違いありません。1000年後において、人類の進化レベルは比喻として「大学院生」までいっていると思います。

以上

から始まる二千数百年間の「水瓶座の時代」＝「アクエリアスの時代」に興味と関心を持ちました。

元々自分の「ESP能力」の対象として未来がどうなるのだろうか、という関心を常に持っていましたので、これから2000年にわたる地球と人類の未来について、当時手に入る資料も使いながら、自分の直感による予想を本にしたのが「来たるべきアクエリアスの時代」(1985 潮文社)です。この私にとっての最初の著作は、爆発的に売れたわけではないのですが、ロングテールの売れ方を続け、実は昨年まで30年近く、アマゾン等で新刊本が手に入りました。インターネットを見ると、現在でも中古本がプレミアムがついて売られていて、うれしくなります。自分でもこんなに寿命があるとは思いませんでしたが、息が長かったのは、そこに紹介した近未来についての予測が、かなりの的を射ており、また人類の遠い未来までを警告も入れながら楽観的に描いたからだと思います。

例えば「二酸化炭素増加による温室効果の脅威」、「化石燃料等による環境破壊」、「大脳生理学、遺伝子工学の発展」、「コンピュータ、エレクトロニクス社会の発展によるインターネットの予測」⇒「(文章)エレクトロニクスは、いわば世界という大きな『身体』の『脊髄』と『神経』を形成し、21世紀は地球全体が1つの村のような身近な世界になるだろう。」、「自動車の自動航行装置」、「21世紀は感情も表現でき個性もを持ったヒューマノイド(人間型ロボット)が家族や社員にもなり、また危険な現場でも活躍する」、そして1番言いたかったことは「人間のもつESP能力やPK能力、超常現象の研究が進み、『水瓶座の時代』には、意識と物質とエネルギーの間をつなぐ統一理論が打ち立てられるであろう。さらに、次元の違う世界との関連も明らかにされるであろう。」という事です。

前置きが長くなって申し訳ありませんが、「1000年後の未来から」のテーマは、この最後の

主張につながることになります。「1000年後の未来」を語るためには、過去の考察もしなければなりません。地球は誕生したのが46億年前で、12億年前の多細胞生物の登場から途方もない時間が経って、猿人が現れたのが700万年前、そして我々ホモ・サピエンスが現れたのはつい最近の20万年前なのです。6550万年前に小惑星の地球衝突で恐竜が滅びた(有力説)のですが、それまでの約2億年間は地球上は恐竜の天下だったわけで、それを考えると、ホモ・サピエンスの生息期間は圧倒的に短いのです。約5000年前に文字が使われるようになってから、知識の蓄積が始まり、文明の進歩が始まりました。幾何学の父、ユークリッドが活躍したのが約2300年前、物理学の父、アイザック・ニュートンが活躍したのが約300年前なのです。

従って、自然科学・技術文明の歴史はたかだか数百年しかなく、学校の段階で例えれば、現代人類は“小学校低学年”のレベルなのです。それでも数百年で物質の究極と宇宙の構造をある程度まで説明できるようになったのは、たいしたものです。しかしまだ、物質と宇宙についても探求が始まったばかりであり、分かっていないことのほうが大部分です。それ以上に生命と精神と魂と霊について、あるいは多次元世界については、研究の端緒についたばかりと言っていいでしょう。

実はホモ・サピエンスは霊長類の中でも、非常に攻撃的で野蛮な方の種だと思います。それは人類は遠い昔から個人や部族、国家間の争い、戦争が絶えず、同種の中で殺し合いをしてきました。これだけ傷つけ合い、殺し合って、数え切れないくらい多くの人々が嘆き悲しんだにも関わらず、我々ホモ・サピエンスは何も学ばずに現在でも、むごい殺し合いをしています。近代の研究で分かってきたことなのですが、知能を発達させたヒト科ヒト族は、他に「ホモ・ネアンデルターレンシス」が数万年前までヨーロッパ、中東、中央アジアで生息していました。そして約2万7000年前に姿を消したのは、ホモ・サピエン



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

1000年後の未来から

瀬尾 泰範

タレントのタモリ氏が、自分のことをよく“妄想族”と表現しておりましたが、その言葉をお借りすると、私も“妄想族”の1人です。その“妄想”もどちらかという、サイに関わる人が多いのですが、例えば「自分が守護霊の立場になったとき、1人の人間にずっと付き添って、四六時中その人を見守っているのか? (もし守護霊が人間と同じような個霊であるならば自由を拘束(?) されているので、それも大変なことではないか?)、本人に何かを伝えたいときはどういう方法を取るのか?」、「自分が地球人より1万年程進化した他の惑星の高等生物として、宇宙船で地球に来たとき、どういう行動を取るだろうか? もし科学者ならば、どういう研究をしたいだろうか?」、「自分が宇宙創造神であるならば、どういう宇宙を創りたいだろうか?」そもそも何のために宇宙を創りたいのだろうか?」そして、「今の地球が1000年後にはどうなっているのだろうか? 我々人類は存在しているのだろうか? 1000年後の未来から現代の人類を顧みたととき、どういうふうに見えるのだろうか?」等々、なかなか現実離れした、現時点の人類の知識レベルではとうてい結論が出せないテーマなのですが、そういう観点から今の地球人類や自分の問題についても冷静に考えると、いろいろ示唆されることが多いのです。

今回は上記の最後のテーマに関して考察して

みたいのですが、その前になぜその事を考えてみたいのか、自分とサイとの関連も含めて、少し自己紹介をさせていただきます。人間のタイプを大きく2つに分けると、「PKタイプ(発信型人間)」と「ESPタイプ(受信型人間)」になると思いますが、私はどちらかという「ESPタイプ」です。中学生の頃から、テレパシーと思われる体験を度々したり、地震が起こる1、2日前に「何か地震が起こりそうだな。」という予感を感じたことが数回ありました。今でも、しばらくご無沙汰していた人のことが頭に浮かぶと、その日に本人から電話がかかってくることはよくあります。

そのような体験から大人になるまでずっと、人間にとってテレパシーは誰にも起こることであり、PK現象も霊的存在である人間がもっている創造力として、当たり前の能力だと思っていましたので、これらの研究が今後重要になると信じておりました。従って1976年に日本サイ科学会が創立されたときにすぐに入会すると、当時は私のような20代の若い会員が沢山いて、本部例会や年次大会など大いに盛り上がったのを覚えております。

私は日本サイ科学会に入会する数年前から、西洋占星学にも興味をもち、人間のパーソナリティ診断や運勢の波の診断に大いに参考になることが分かっておりましたが、その中で知った、キリスト出現以降の「魚座の時代」、そしてこれ